

前 金	部 分 払
有	5 回

令 和 4 年 度
水 工 補 継 第 1 号

殿村及び野田地内配水管布設工事設計書

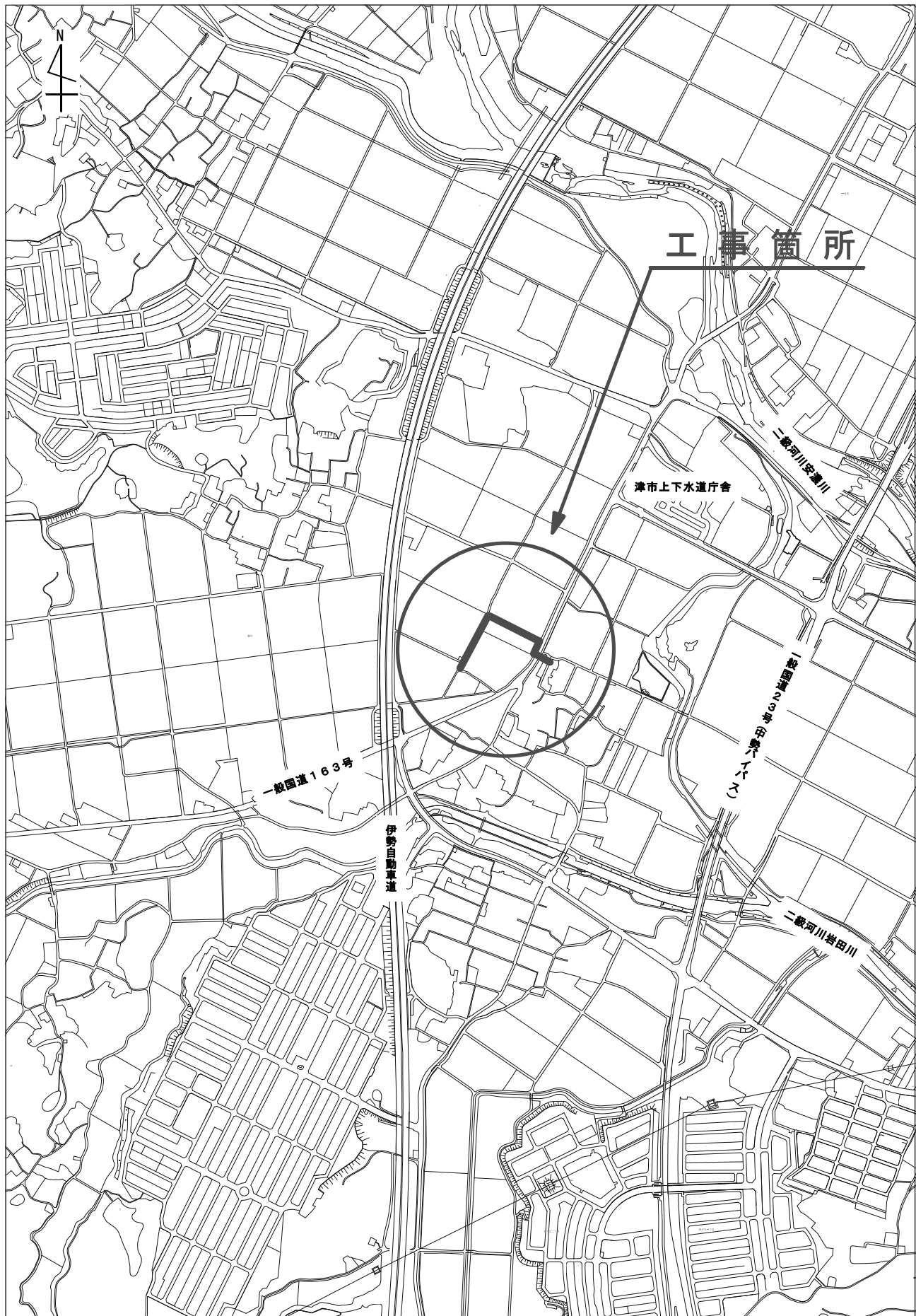
工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書
及 び 工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る。

津市上下水道事業局
水 道 工 務 課

令和4年度	水工補継 第1号	工 事 設 計 書			
施工場所	津市 殿村及び野田 地内		局 長		
			次 長		
工 事 名	殿村及び野田地内配水管布設工事		担当参事兼課長		
			検 算 者		
設 計 額	(うち消費税等相当額 ￥)		調整担当主幹		
			担当主幹		
工 期	令和 6年 1月31日限り		主 査		
			設 計 者		
支出科目	款	資本的支出			
	項	建設改良費			
	目	建設改良費			
工 事 の 大 要					
1 管推進工 HP φ 1100mm 22.0 m 2 管挿入工 DIP φ 900mm 23.2 m 3 配水管布設工 DIP φ 900mm 278.0 m DIP φ 800mm 11.3 m DIP φ 600mm 6.3 m DIP φ 500mm 40.2 m 4 バタフライ弁設置工 φ 800mm～φ 600mm 2 箇所 5 不断水仕切弁設置工 φ 800mm～φ 600mm 2 箇所 6 不断水切替弁設置工 φ 500mm 2 箇所					

位置図

令和4年度水工補修第1号
殿村及び野田地内配水管布設工事



0 100 200 300 400 500m

1:10,000

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
本工事費			式		1				
中大口径推進工（管径HP φ 1100mm、泥濃式推進工）			式		1				
泥濃推進工			式		1				
材料(推進用鉄筋コンクリート管)			式		1				
切羽作業工			m		22				
坑内作業工			m		22				
坑外作業工			m		22				
機械器具損料			式		1				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
裏込め				m		22			
管目地				箇所		9			
発生土処分工				式		1			
トラッククレーン作業				式		1			
仮設備工				式		1			
支圧壁				箇所		1			
坑口工				箇所		1			
鏡切り工				箇所		1			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	本工事費	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量			数量増減	摘要	
現場発生品及び支給品運搬			スクラップ	回		1					
推進用機器据付撤去工				箇所		1					
掘進機発進用受台工				箇所		1					
掘進機引上用受台工			(夜間)	箇所		1					
掘進機据付工				台		1					
掘進機搬出工			(夜間)	台		1					
掘進組立・整備工				台		1					
発進立坑基礎工				箇所		1					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
						工事区分	工事区分	本工事費	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要			
坑外コンクリート塊搬出工		式		1					
コンクリート塊処分		式		1					
立坑内仮設階段工		式		1					
通信・換気設備工		式		1					
通信配線設備		式		1					
送排泥設備工		式		1					
高濃度泥水注入設備設置撤去		箇所		1					
吸泥排土設備設置撤去		箇所		1					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事			当初		事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	数量増減	本工事費	
		工事区分・工種・種別・細別 排土貯留槽設置撤去			箇所		1				摘要
		管内設備撤去工			式		1				
		注入設備工			式		1				
		注入設備(裏込)			箇所		1				
		推進水替工			式		1				
		推進用水替			式		1				
		管清掃工			式		1				
		管清掃			式		1				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
立坑工(N0.1発進立坑)				式		1			
立坑土工				式		1			
立坑掘削			20m2<A≤50m2	m3		160			
埋戻し			購入土 1m≤WI<4m	m3		80			
埋戻し			埋戻し用砂 WI<1m	m3		50			
発生土処理				m3		160			
基面整正				m2		27			
コンクリート				m3		12			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事					当初	事業区分		水道工事	
									工事区分	工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量				数量増減	摘要	
型 枠				m2		24						
土留工				式		1						
鋼矢板圧入工			SP-Ⅲ型 L=9.00m 圧入長=8.50m N max≤25	枚		56						
鋼矢板引抜工			P-Ⅲ型 L=9.00m 引抜長=8.50m Nm ax≤25	枚		49						
鋼矢板引抜工			P-Ⅲ型 L=2.985m 引抜長=2.485m N max≤25	枚		7						
油圧式杭圧入引抜機据付・解体			圧入時 圧入(Nmax≤25)	回		1						
油圧式杭圧入引抜機据付・解体			引抜き時	回		1						
切梁・腹起し設置工				t		9.3						

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別			単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
切梁・腹起し撤去工			t		9.3			
ガス切断工			m		3			
発進立坑仮設材賃料			式		1			
発進立坑矢板購入			式		1			
現場発生品及び支給品運搬			回		1			
附帯工(発進立坑部)			式		1			
舗装撤去工			式		1			
アスファルト切断工			m		9			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分	工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
	アスファルト舗装版取壊し		m2		9			
	発生土処理		m3		0.5			
	舗装復旧工		式		1			
	路盤工	RC-40	式		1			
	表層工	再生密粒度アスコン(13)	m2		9			
	立坑工(N0.2到達立坑) (夜間)		式		1			
	立坑土工		式		1			
	機械掘削		m3		20			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	事業区分	水道工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋戻し	再生砕石RC-40 1m≦W1<4m	m3		30		
埋戻し	埋戻し用砂 W1<1m	m3		20		
発生土処理		m3		90		
コンクリート		m3		19		
型 枠		m2		6		
鋼製ケーシング 式土留工 φ 3500		式		1		
圧入掘削積み込み工	呼び径 φ 3500mm 砂質土 N≦30	m		7.8		
ケーシング組立工	呼び径 φ 3500mm 2.3m未満 二分割 型ボルト固定・溶接タイプ	回		4		

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	単位	当初		事業区分		摘要
				前回数量	今回数量	工事区分	水道工事 本工事費	
最終ケーシング立坑溶接工		規格 呼び径 φ 3500mm L (ケーシング長) = 1m	本		1			
ケーシング溶接工		呼び径 φ 3500mm	箇所		5			
ケーシング撤去工		呼び径 φ 3500mm	箇所		1			
底盤コンクリート		30- 18- 20(25)	m3		20			
機械設置・撤去工			回		1			
機械撤去・再設置工			回		7			
銅製ケーシング存置		呼び径 φ 3500mm	m		6. 8			
仮設ケーシング損料等		呼び径 φ 3500mm 仮設ケーシングダ 式	式		1			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
						工事区分		本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
	底盤固定リング取付工		厚さt=22mm 幅=150mm	式		1			
	うわ水排水工			箇所		1			
	泥水運搬処理			箇所		1			
	現場発生品及び支給品運搬		スクラップ	回		1			
	路面覆工			式		1			
	覆工板設置撤去工			m2		16			
	覆工板開閉工			回		16			
	覆工板賃料			式		1			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	事業区分		水道工事	
				工事区分	数量増減		
工事区分・工種・種別・細別			単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
覆工基礎工			箇所		1		
覆工基礎撤去工			箇所		1		
路面すりつけ工			m		13		
附帯工(到達立坑部) (夜間)			式		1		
舗装撤去工			式		1		
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下	m		7		
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下	m2		16		
発生土処理		As	m3		0.5		

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
舗装復旧工			式		1				
	路盤工	RC-40	m2		1				
	表層工	再生密粒度アスコン(13)	m2		16				
補助地盤改良工			式		1				
薬液注入工（昼間）			式		1				
二重管ストレーナ工法		T-N0.1発進立坑 坑口防護工	本		25				
二重管ストレーナ工法		T-N0.1発進立坑工 底盤改良	本		28				
注入設備据付・解体工（車上）			現場		1				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量			数量増減	摘要	
	薬液注入工（夜間）			式		1					
	二重管ストレーナ工法		T-N0. 2到達立坑 坑口防護工	本		15					
	注入設備据付・解体工（車上）			現場		1					
	配水管挿入工			式		1					
	材料			式		1					
	材料			式		1					
	管布設工			式		1					
	管据付費		P N形 φ 900	m		26. 2					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事			当初		事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	数量増減	本工事費	
	継手接合			P N形 φ 900	口		7				
	さや管内挿入工			さや管H P φ 1100 挿入管P N形 φ 90 0	m		23. 2				
	挿入設備工			設置	箇所		1				
	挿入設備工			撤去	箇所		1				
	充填工			エアミルク	m3		7				
	配水管工(国道163号) (夜間)				式		1				
	材料				式		1				
	材料				式		1				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	数量増減	本工事費	
管路上工											
					式		1				摘要
掘削				土砂	m3		150				
埋戻し				再生砕石RC-40	m3		90				
埋戻し				埋戻し用砂	m3		50				
発生土処理					m3		150				
管布設工					式		1				
ダクタイル鋳鉄管据付工				φ 900 NS形	m		27.2				
鋳鉄管継手接合 NS形				φ 900	口		7				

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ			φ 900	口		4		
挿口加工 NS形			リベットタイプ φ 900	口		2		
鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形			φ 900	口		2		
鋳鉄管切断 NS形			φ 900	口		2		
空気弁設置工			φ 100	基		1		
フランジ継手接合			φ 100	口		2		
ポリエチレンスリーブ被覆工			φ 900	m		24.9		
管表示テープ 埋設タイプ			W = 150mm	m		71.4		

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初		事業区分		水道工事		
					工事区分	工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	管明示テープ 年号入り	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
空気弁BOX設置工	天端明示のみ	50mm	m		23. 8				
	空気弁管		個		1				
	中間ブロック		個		3				
	スラブ		個		1				
			式		1				
土留工									
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3. 00m	m		23. 2				
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3. 50m	m		3. 7				
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=3. 00m	m		23. 2				

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	数量増減	水道工事 本工事費	摘要
軽量鋼矢板引抜き						m	Ⅲ型 巾333mm L=3. 50m		3. 7		
支保工設置・撤去						m	軽量金属支保＋水圧式サポート 2段		26. 8		
軽量鋼矢板賃料						式	L=3. 0m		1		
軽量鋼矢板賃料						式	L=3. 5m		1		
支保材賃料						式	腹起し		1		
支保材賃料						式	水圧式パイプサポート		1		
支保材賃料						式	水圧ポンプ		1		
附帯工(163号) (夜間)						式			1		

工事数量総括表

		工事名		殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分		水道工事	
								工事区分		本工事費	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位		前回数量		今回数量		数量増減	
舗装撤去工(管布設)				式				1			
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下		m				44			
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下		m2				71			
A s 塊運搬		As		m3				2			
建設廃棄物受入れ料金		As		m3				2			
舗装撤去工(本復旧) 歩道				式				1			
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下		m				7			
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下		m2				217			
										摘要	

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	本工事費
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
A s 塊運搬		As		m3		7		
建設廃棄物受入れ料金		As		m3		7		
舗装撤去工(駐車場)				式		1		
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下		m		8		
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下		m2		150		
A s 塊運搬		As		m3		8		
建設廃棄物受入れ料金		As		m3		8		
舗装復旧工(仮復旧) 歩道				式		1		

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
	路盤工		再生砕石RC- 40 t=10cm	m2		1			
	表層工		再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m2		71			
	舗装復旧工(本復旧)			式		1			
	切削オーバーレイ工		密粒度アスコン(20) 平均厚 t =5cm	式		1			
	般運搬(路面切削)			式		1			
	建設廃棄物受入れ料金		As	m3		11			
	舗装復旧工(本復旧) 歩道			式		1			
	不陸整正		再生砕石RC- 40 補足材2cm	m2		217			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分		水道工事			
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分		数量増減		本工事費		
	表層工	舗装復旧工(駐車場)		再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m2		217							摘要
				式			1							
	不陸整正			再生碎石RC- 40 補足材2cm	m2			1						
	表層工			再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2		150							
	区画線工				式		1							
	区画線設置			中央線 白色破線W=15cm	式		1							
	区画線設置			外側線 白色実線W=15cm	式		1							
	道路付属物撤去復旧工				式		1							

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
						工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
	歩車道境界ブロック(セパ)撤去	H-200 L=2265	m		1			
	歩車道境界ブロック撤去	片面B種 L=600	m		1			
	U型水路撤去	B600×H500 L=2000	m		1			
	ガードパイプ撤去	土中用 H-1100	m		1			
	ガードパイプ撤去	建込用 H-1100	m		1			
	歩車道境界ブロック(セパ)	H-200 L=2265	m		1			
	歩車道境界ブロック	片面B種 L=600	m		1			
	U型水路	B600×H500 L=2000	m		1			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減		摘要	
	ガードパイプ設置		土中用 H- 1100	m		1					
	ガードパイプ設置		建込用 H- 1100	m		2					
	看板撤去			基		1					
	配水管工(IP25～IP29)			式		1					
	材料			式		1					
	材料			式		1					
	管路土工			式		1					
	掘 削		バックホウ	m3		1, 000					

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	事業区分		水道工事	
				工事区分	数量増減	本工事費	
工事区分・工種・種別・細別			単位	前回数量	今回数量	摘要	
埋戻し		再生砕石RC- 40	m3		340		
埋戻し		購入土	m3		140		
埋戻し		埋戻し用砂	m3		360		
発生土処理			m3		1, 000		
道路土工			式		1		
耕土・溝畔除去			m3		66		
管理道路盛土		購入土	m3		210		
盛土法面整形			m2		140		

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	事業区分		水道工事	
									工事区分	数量増減		
管布設工									工事区分	数量増減	摘要	
						式			1			
	ダウタイル鋳鉄管据付工					m	φ 900 NS形		237.5			
	鋳鉄管継手接合 NS形					口	φ 900		42			
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ					口	φ 900		9			
	挿口加工 NS形					口	リベットタイプ φ 900		4			
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形					口	φ 900		4			
	鋳鉄管切断 NS形					口	φ 900		4			
	受口用栓取外し NS形					口	φ 900		1			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初		単位	前回数量	今回数量	事業区分		水道工事	
								工事区分	数量増減		
	工事区分・工種・種別・細別	規格									摘要
	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ 900	m			237.5					
	管表示テープ 埋設タイプ	W=150mm	m			711.9					
	管明示テープ 年号入り	天端明示のみ 50mm	m			237.3					
	土留工		式			1					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=2.50m	m			114					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m	m			119					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3.50m	m			4.7					
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=2.50m	m			114					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事			当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	本工事費	
	軽量鋼矢板引抜き			Ⅲ型 巾333mm L=3.00m	m		119		数量増減	摘要
	軽量鋼矢板引抜き			Ⅲ型 巾333mm L=3.50m	m		4.7			
	支保工設置・撤去			軽量金属支保＋水圧式サポート 2段	m		237.7			
	軽量鋼矢板賃料			L=2.5m	式		1			
	軽量鋼矢板賃料			L=3.0m	式		1			
	軽量鋼矢板賃料			L=3.5m	式		1			
	支保材賃料			腹起し	式		1			
	支保材賃料			水圧式パイプサポート	式		1			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	数量増減	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	支保材賃料		水圧ポンプ	式		1				摘要
	仮設工				式		1				
	敷鉄板設置・撤去工				m2		349				
	敷鉄板賃料				式		1				
	附帯工(1P25～1P29)				式		1				
	土工				式		1				
	掘削				m3		70				
	発生土処理				m3		70				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
舗装復旧工				式		1			
不陸整正			補足材なし	m2		1			
路盤工			再生砕石RC- 40 t=20cm	m2		1			
表層工			再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2		295			
路盤工			再生砕石RC- 40 t=10cm	m2		1			
配水管工(切回部) (夜間)				式		1			
材料				式		1			
材料				式		1			

工事数量総括表

		工事名		殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別				単位		工事区分		本工事費	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位		前回数量		今回数量		数量増減	
管路土工				式				1			
機械掘削				m3				100			
人力掘削				m3				5			
埋戻し		再生砕石RC- 40		m3				50			
埋戻し		埋戻し用砂		m3				40			
発生土処理				m3				100			
管布設工				式				1			
ダクタイル鋳鉄管据付工		φ 500 NS形		m				40. 2			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	事業区分		水道工事	
				工事区分	本工事費		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
鋳鉄管継手接合 NS形	φ 500	口		12			
鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 500	口		8			
鋳鉄管継手接合 NS形 継ぎ輪用特殊割 押輪	φ 500	口		2			
挿口加工 NS形	リベットタイプ φ 500	口		8			
鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 500	口		8			
鋳鉄管切断 NS形	φ 500	口		8			
不断水分岐工（夜間）	φ 500×φ 500（NS挿口）	箇所		2			
鋳鉄管継手接合 K形 特殊押輪	φ 500	口		2			

工事数量総括表

		工事名		殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分		水道工事	
								工事区分		本工事費	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位		前回数量		今回数量		数量増減	
既設管切断 K形		φ 500		□				2			
メカニカル継手		φ 500 FCD		□				2			
ダクタイル鋳鉄管据付工		φ 200 NS形		m				3.9			
鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ		φ 200		□				1			
鋳鉄管継手接合 NS形 異形管		φ 200		□				4			
挿口加工 NS形		φ 200		□				2			
鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形		φ 200		□				2			
鋳鉄管切断工 NS形		φ 200		□				2			
										摘要	

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	摘要
					工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減		
仕切弁設置工								
		φ 200 NS形	基		1			
鋼管据付		200A	m		2.5			
フランジ継手接合		φ 200	口		3			
仕切弁ブロック設置工		内寸250mm	個		4			
ポリエチレンスリーブ被覆工		φ 500	m		40.2			
ポリエチレンスリーブ被覆工		φ 200	m		4.6			
管表示テープ 埋設タイプ		W=150mm	m		84.7			
管明示テープ 年号入り		天端明示のみ 50mm	m		44.5			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
						工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別				規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
土留工					式		1		
軽量鋼矢板建込工				Ⅲ型 巾333mm L=2. 00m	m		40. 3		
軽量鋼矢板建込工				Ⅲ型 巾333mm L=2. 50m	m		6. 4		
軽量鋼矢板建込工				Ⅲ型 巾333mm L=3. 00m	m		6. 9		
軽量鋼矢板引抜工				Ⅲ型 巾333mm L=2. 00m	m		40. 3		
軽量鋼矢板引抜工				Ⅲ型 巾333mm L=2. 50m	m		6. 4		
軽量鋼矢板引抜工				Ⅲ型 巾333mm L=3. 00m	m		6. 9		
支保工設置・撤去				軽量金属支保＋水圧式サポート 1段	m		40. 3		

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事			当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	本工事費	
		支保工設置・撤去		軽量金属支保+水圧式サポート 2段	m		13.3		数量増減	摘要
		軽量鋼矢板賃料		L=2.0m	式		1			
		軽量鋼矢板賃料		L=2.5m	式		1			
		軽量鋼矢板賃料		L=3.0m	式		1			
		支保材賃料		腹起し	式		1			
		支保材賃料		水圧式パイプサポート	式		1			
		支保材賃料		水圧ポンプ	式		1			
		附帯工(切回部) (夜間)			式		1			

工事数量総括表

		工事名		殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分		水道工事	
								工事区分		本工事費	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減		摘要		
舗装撤去工				式		1					
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下		m		24					
アスファルト切断工		A s 厚=15cmを超え30cm以下		m		78					
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下		m2		12					
アスファルト舗装版取壊し		A s 厚=15cmを超え30cm以下		m2		86					
A s 塊運搬		As		m3		0. 4					
A s 塊運搬		As		m3		17					
建設廃棄物受入れ料金		As		m3		18					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
舗装復旧工				式		1			
下層路盤工			再生砕石RC- 40 t=12cm	m2		57			
上層路盤工			再生瀝青安定処理 (30) t=10cm	m2		86			
基層工			再生粗粒度アスコン (20) t=5cm	m2		86			
表層工			再生密粒度アスコン(20) t=5cm	m2		86			
路盤工			再生砕石RC- 40 t=10cm	式		1			
表層工			再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m2		12			
不断水立坑工(切回部) (夜間)				式		1			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	事業区分		水道工事 本工事費	摘要
									工事区分	数量増減		
立坑土工						式			1			
立坑掘削		20m2<A≤50m2		110		m3						
埋戻し		再生砕石RC- 40 1m≤W1<4m		30		m3						
埋戻し		埋戻し用砂 W1<1m		40		m3						
発生土処理				110		m3						
基面整正				31		m2						
基礎コンクリート		18- 8- 40BB		8		m3						
基礎砕石		RC- 40 t=15cm		31		m2						

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要				
	管防護コンクリート	18- 8- 40BB	m3		9						
型 枠		無筋構造物	m2		22						
差し筋		SD345 D16 L=800	Kg		22						
管固定コンクリート		18- 8- 40BB	m3		3						
型 枠		無筋構造物	m2		18						
差し筋		SD345 D16 L=800	Kg		15						
立坑構築工			式		1						
鋼矢板圧入工		SP- Ⅲ型 L=6. 00m 圧入長=5. 50m N max≤25	枚		68						

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位		前回数量	今回数量	工事区分	本工事費
	鋼矢板引抜工	鋼矢板引抜工		P-Ⅲ型 L=6.00m 引抜長=5.50m Nm ax≤25	枚		62		数量増減	摘要
	鋼矢板引抜工			P-Ⅲ型 L=1.70m 引抜長=1.20m Nm ax≤25	枚		6			
	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	油圧式杭圧入引抜機据付・解体		圧入時 圧入(Nmax≤25)	回		2			
	油圧式杭圧入引抜機据付・解体			引抜き時	回		2			
	横矢板設置・撤去工	横矢板設置・撤去工			m2		16			
	切梁・腹起し設置工				t		3.5			
	切梁・腹起し撤去工	切梁・腹起し撤去工			t		3.5			
	ガス切断工			鋼矢板Ⅲ型	m		3			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
支持台設置工		t		1.67				
支持台撤去工		t		1.67				
立坑仮設材質料		式		1				
立坑矢板購入		式		1				
現場発生品及び支給品運搬	スクラップ	回		2				
路面覆工		式		1				
覆工板設置撤去工		m2		48				
覆工板開閉工		回		32				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初	事業区分		水道工事	
								工事区分		本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量			数量増減	摘要	
覆工板賃料				式		1					
路面すりつけ工				m		41					
附帯工(不断水部) (夜間)				式		1					
舗装撤去工				式		1					
アスファルト切断工			As 厚=15cm以下	m		25					
アスファルト切断工			A s 厚=15cmを超え30cm以下	m		14					
アスファルト舗装版取壊し			As 厚=15cm以下	m2		38					
アスファルト舗装版取壊し			A s 厚=15cmを超え30cm以下	m2		7					

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	事業区分	水道工事	摘要
工事区分・工種・種別・細別	A s 塊運搬	As		2		m3					
舗装復旧工				1		式					
下層路盤工		再生砕石RC- 40 t=12cm		7		m2					
上層路盤工		再生瀝青安定処理 (30) t=10cm		7		m2					
基層工		再生粗粒度アスコン (20) t=5cm		7		m2					
表層工		再生密粒度アスコン(20) t=5cm		7		m2					
路盤工		再生砕石RC- 40 t=10cm		1		式					
表層工		再生密粒度アスコン(13) t=3cm		38		m2					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初	事業区分		水道工事	
								工事区分	工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要				
	既設管撤去工(国道歩道) (夜間)		式		1						
	管路土工		式		1						
	掘 削	バックホウ	m3		11						
	埋戻し	流用土	m3		12						
	埋戻し	再生砕石RC-40	m3		1						
	管布設工		式		1						
	既設管撤去切断	DC φ 500	口		9						
	既設管吊上げ積込み	φ 500	m		26						

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分		水道工事			
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分		数量増減		本工事費		
		現場発生品及び支給品運搬		スクラップ	回		4							摘要
	土留工				式		1							
	軽量鋼矢板建込工			Ⅲ型 巾333mm L=2. 00m	m		6							
	軽量鋼矢板引抜工			Ⅲ型 巾333mm L=2. 00m	m		6							
	支保工設置・撤去			軽量金属支保＋水圧式サポート 1段	m		6							
	軽量鋼矢板賃料			L=2. 0m	式		1							
	支保材賃料			腹起し	式		1							
	支保材賃料			水圧式パイプサポート	式		1							

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要				
支保材賃料		水圧ポンプ	式		1						
附帯工(国道歩道) (夜間)			式		1						
舗装撤去工			式		1						
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下	m		14						
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下	m2		7						
A s 塊運搬		As	m3		0.2						
建設廃棄物受入れ料金		As	m3		0.2						
舗装復旧工			式		1						

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事			当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	本工事費	
									数量増減	摘要
	路盤工			再生砕石RC- 40 t=10cm	m2		1			
	表層工			再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m2		7			
	配水管工(発進側)				式		1			
	材料				式		1			
	材料				式		1			
	管路土工				式		1			
	掘 削			バックホウ	m3		20			
	管路掘削			バックホウ	m3		430			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	事業区分		水道工事	摘要
									工事区分	数量増減	本工事費	
埋戻し				230		m3	再生砕石RC- 40					
埋戻し				130		m3	埋戻し用砂					
発生土処理				430		m3						
基面整正				80		m2						
基礎コンクリート				22		m3	18- 8- 40BB					
型 枠				1		m2	無筋構造物					
基礎砕石				80		m2	RC- 40 t=15cm					
管防護コンクリート				12		m3	18- 8- 40BB					

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	事業区分	水道工事	
型 枠		無筋構造物				m2					
差し筋		SD345 D16 L=800 1.56kg/m		34		本					
管固定コンクリート		18- 8- 40BB		3		m3					
型 枠		無筋構造物		18		m2					
差し筋		SD345 D16 L=800 1.56kg/m		12		本					
管布設工				1		式					
ダクタイル鋳鉄管据付工		φ 900 NS形		13.3		m					
鋳鉄管継手接合 NS形		φ 900		7		口					

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初		単位	規格	今回数量		前回数量	今回数量	事業区分		水道工事	
											工事区分	数量増減	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別													摘要
鋳鉄管継手接合	NS形 ライナ	φ 900			□					1				
鋳鉄管継手接合	NS形 継ぎ輪用特殊割 押輪	φ 900			□					2				
挿口加工	NS形	リベットタイプ φ 900			□					3				
鋳鉄管切断・溝切り加工	NS形	φ 900			□					3				
鋳鉄管切断	NS形	φ 900			□					3				
ダクタイル鋳鉄管据付工		φ 800 NS形			m					11.3				
鋳鉄管継手接合	NS形	φ 800			□					3				
鋳鉄管継手接合	NS形 ライナ	φ 800			□					1				

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
鋳鉄管継手接合 NS形 継ぎ輪用特殊割押輪	φ 800	口	2					
挿口加工 NS形	リベットタイプ φ 800	口	2					
鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 800	口	2					
鋳鉄管切断 NS形	φ 800	口	2					
フランジ継手接合	φ 800	口	1					
不断水分岐工	φ 800×φ 800	箇所	1					
不断水工	不断水切替弁 φ 800	箇所	1					
ダクタイル鋳鉄管据付工	φ 600 NS形	m	6.3					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
	鋳鉄管継手接合 NS形		φ 600	□		3			
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ		φ 600	□		1			
	挿口加工 NS形		リベットタイプ φ 600	□		1			
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形		φ 600	□		1			
	鋳鉄管切断 NS形		φ 600	□		1			
	フランジ継手接合		φ 600	□		1			
	不断水分岐工		φ 600×φ 600	箇所		1			
	不断水工		不断水切替弁 φ 600	箇所		1			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	事業区分		水道工事	
				工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別			単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
仕切弁BOX設置工							
					4		
ダクタイル鋳鉄管据付工			m		6.7		
鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ			口		1		
鋳鉄管継手接合 NS形 異形管			口		5		
挿口加工 NS形			口		1		
鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形			口		1		
鋳鉄管切断 NS形			口		1		
仕切弁設置工			基		1		

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		工事区分	本工事費	
		ダクタイル鋳鉄管据付工		φ 300 K形	m		12.7			数量増減	摘要
		鋳鉄管継手接合 K形		φ 300	口		6				
		鋳鉄管切断加工 K形		φ 300	口		2				
		銅管据付		300A	m		3.7				
		フランジ継手接合		φ 300	口		4				
		仕切弁ブロック設置工			個		5				
		ポリエチレンスリーブ被覆工		φ 900	m		11.7				
		ポリエチレンスリーブ被覆工		φ 800	m		11.7				

工事数量総括表

		工事名			殿村及び野田地内配水管布設工事			当初		事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別						単位		今回数量		数量増減	
		工事区分		種別・細別		規格						工事区分	
		ポリエチレンスリーブ被覆工		φ 600		m				6. 8			摘要
		ポリエチレンスリーブ被覆工		φ 300		m				20. 2			
		管表示テープ 埋設タイプ		W = 150mm		m				124. 5			
		管明示テープ 年号入り		天端明示のみ 50mm		m				47. 9			
		土留工				式				1			
		鋼矢板圧入工		SP-Ⅲ型 L=5. 50m 圧入長=5. 00m N max≦25		枚				38			
		鋼矢板圧入工		SP-Ⅲ型 L=6. 00m 圧入長=5. 50m N max≦25		枚				48			
		鋼矢板圧入工		SP-Ⅲ型 L=6. 50m 圧入長=6. 00m N max≦25		枚				48			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	工事区分	数量増減	本工事費	
	鋼矢板引抜工	鋼矢板引抜工		P-Ⅲ型 ax≤25	L=5. 50m 引抜長=5. 00m Nm	枚		38				摘要
	鋼矢板引抜工			P-Ⅲ型 ax≤25	L=6. 00m 引抜長=5. 50m Nm	枚		48				
	鋼矢板引抜工			P-Ⅲ型 ax≤25	L=6. 50m 引抜長=6. 00m Nm	枚		48				
	油圧圧入工(H刑鋼)			H- 250×250 Nmax≤25	L=5. 50m 圧入長=5. 00m	本		2				
	油圧圧入工(H刑鋼)			H- 250×250 Nmax≤25	L=6. 00m 圧入長=5. 5m	本		2				
	油圧圧入工(H刑鋼)			H- 250×250 Nmax≤25	L=6. 50m 圧入長=6. 0m	本		2				
	油圧引抜工(H刑鋼)			H- 250×250 Nmax≤25	L=5. 50m 圧入長=5. 00m	本		2				
	油圧引抜工(H刑鋼)			H- 250×250 Nmax≤25	L=6. 00m 圧入長=5. 50m	本		2				

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分		本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
	油圧引抜き工(H形鋼)	H- 250×250 L=6. 50m 圧入長=6. 00m Nmax≤25	本		2			
	油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	圧入時 圧入(Nmax≤25)	回		1			
	油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	引抜き時	回		1			
	油圧式杭圧入引抜き機設置・撤去		回		1			
	H鋼チャック取付け・取外し		回		1			
	横矢板設置撤去工		m2		90			
	切梁・腹起し設置工		t		22			
	切梁・腹起し撤去工		t		22			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	立坑仮設材賃料	事業区分	水道工事	摘要
				1		式						
	軽量鋼矢板建込工			17.8		m	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m					
	軽量鋼矢板引抜き			17.8		m	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m					
	支保工設置・撤去			17.8		m	設置 軽量金属支保＋水圧式サポート 1段					
	軽量鋼矢板賃料			1		式	L=2.0m					
	支保材賃料			1		式	腹起し					
	支保材賃料			1		式	水圧式パイプサポート					
	支保材賃料			1		式	水圧ポンプ					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
仮設工			式		1				
桁材・桁受け材設置・撤去			t2		349				
桁材・桁受け材賃料			式		1				
吊り金具取付撤去		φ 600用	箇所		6				
吊り金具取付撤去		φ 800用	箇所		6				
材料(保護)			式		1				
材料			式		1				
管路土工			式		1				

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
機械掘削			m3		40			
人力掘削			m3		30			
埋戻し	再生砕石RC- 40		m3		50			
埋戻し	埋戻し用砂		m3		30			
発生土処理			m3		70			
管布設工(保護)			式		1			
メカニカル継手	φ 600 FCD		口		9			
メカニカル継手	φ 800 FCD		口		7			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	土留工(保護)	事業区分	水道工事	摘要
				1		式						
	軽量鋼矢板建込工			34.4		m	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m					
	軽量鋼矢板引抜き工			34.4		m	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m					
	支保工設置・撤去	設置 軽量金属支保＋水圧式サポート 2段		34.4		m						
	軽量鋼矢板賃料	L=3.0m		1		式						
	支保材賃料	腹起し		1		式						
	支保材賃料	水圧式パイプサポート		1		式						
	支保材賃料	水圧ポンプ		1		式						

工事数量総括表

		工事名		殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分		水道工事			
										工事区分		数量増減			
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位		前回数量		今回数量				数量増減		摘要	
付帯工				式				1							
既設HP管撤去		HP φ 600		式				1							
仮設排水管		コルゲートパイプ φ 600 t=1.6mm		m				10							
道路横断暗渠工		台付HP管 φ 600 L=2500		m				5							
附帯工(発進側)				式				1							
舗装撤去工				式				1							
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下		m				28							
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下		m2				36							

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
As 塊運搬		As		m3		2			
建設廃棄物受入れ料金		As		m3		2			
舗装復旧工				式		1			
上層路盤工		再生砕石RC- 40	t =20cm	m2		1			
表層工		再生密粒度アスコン(13)	t =5cm	m2		36			
舗装撤去工（本復旧）				式		1			
アスファルト切断工		As 厚=15cm以下		m		7			
アスファルト舗装版取壊し		As 厚=15cm以下		m2		122			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事	当初	今回数量	前回数量	単位	規格	工事区分・工種・種別・細別	As	m3	6	今回数量	事業区分 工事区分	水道工事 本工事費	摘要	
																数量増減
	As 塊運搬															
	舗装復旧工（本復旧）															
	不陸整正								補足材 再生砕石RC- 40 t=2cm	m2		122				
	表層工								再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2		122				
	仮設工															
	地下水位低下工															
	ウエルポイント工															
	電力設備工															

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事			当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	本工事費	
		低圧受電設備設置撤去工			箇所		1		数量増減	摘要
排水管工					式		1			
管路土工					式		1			
機械掘削					m3		310			
埋戻し				再生砕石RC-40	m3		190			
発生土処理					m3		310			
排水管布設工					式		1			
塩化ビニル管布設工					m		132			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量		数量増減	摘要
	石綿管継手取外し			口		2			
	管表示テープ 埋設タイプ		W=150mm	m		132			
	材料			式		1			
	マンホール工			式		1			
	1号組立マンホール			式		1			
	管基礎工			式		1			
	管基礎工			m3		114			
	土留工			式		1			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初	事業区分		水道工事	
		工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	工事区分	数量増減	本工事費	
	軽量鋼矢板建込工			Ⅲ型 巾333mm L=2.00m	m		136.4				摘要
	軽量鋼矢板引抜工			Ⅲ型 巾333mm L=2.00m	m		136.4				
	支保工設置・撤去			設置 軽量金属支保＋水圧式サポート 1段	m		136.4				
	軽量鋼矢板賃料			L=2.0m	式		1				
	支保材賃料			腹起し	式		1				
	支保材賃料			水圧式パイプサポート	式		1				
	支保材賃料			水圧ポンプ	式		1				
	既設管撤去工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事					当初			事業区分		水道工事			
		工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量		工事区分		数量増減		本工事費		
		既設石綿管取外し			φ 350mm	口		35							摘要	
		既設石綿管吊り上げ積み込み			φ 350mm	m		136								
		現場発生品及び支給品運搬				回		31								
		建設廃棄物受入れ料金			石綿管	t		12								
		仮設工				式		1								
		開削水替工				式		1								
		開削水替			口径50mm	日		33								
		ポンプ据付・撤去工				現場		1								

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	本工事費	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減		摘要
附帯工				式		1			
舗装撤去工				式		1			
アスファルト切断工			As 厚=15cm以下	m		12			
アスファルト舗装版取壊し			As 厚=15cm以下	m2		295			
A s 塊運搬			As	m3		15			
仮設工				式		1			
交通管理工				式		1			
交通誘導警備員 B				式		1			

工事数量総括表

	工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初	事業区分		水道工事	
					工事区分		本工事費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
	交通誘導警備員 A (夜間)		式		1			
	交通誘導警備員 B (夜間)		式		1			
直接工事費			式		1			
共通仮設			式		1			
共通仮設費			式		1			
運搬費			式		1			
仮設材等運搬(往復)		鋼矢板・支保材等	式		1			
仮設材等積込み取卸し(往復)		鋼矢板・支保材等	式		1			

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	共通仮設費	
	工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量			数量増減	摘要	
	仮設材等運搬(往復)		軽量鋼矢板	式		1					
	仮設材等積込み取卸し(往復)		軽量鋼矢板	式		1					
	仮設材等運搬(往復)		覆工板等	式		1					
	仮設材等積込み取卸し(往復)		覆工板等	式		1					
	仮設材等運搬(往復)		敷鉄板等	式		1					
	仮設材等積込み取卸し(往復)		敷鉄板等	式		1					
	建設機械運搬（往復）			式		1					
	機械回送費（往復）			式		1					

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分	水道工事	
									工事区分	共通仮設費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要				
建設機械組立解体費			式		1						
事業損失防止施設費			式		1						
地下水観測費			式		1						
試掘工(昼間)			式		1						
試掘工(夜間)			式		1						
安全費			式		1						
呼吸用保護具			式		1						
保護メガネ			式		1						

工事数量総括表

		工事名			殿村及び野田地内配水管布設工事				当初		事業区分		水道工事				
		工事区分・工種・種別・細別		規格		単位		前回数量		今回数量		工事区分		数量増減		摘要	
保護衣		工事区分・工種・種別・細別		規格		単位		前回数量		今回数量		工事区分		数量増減		摘要	
シューズカバー						式				1							
						式				1							
役務費						式				1							
借地料						式				1							
コンクリートポンプ・ナイト夜間基本料						回				6							
基本電力料金						式				1							
技術管理費						式				1							
通水試験費						日				0.04							

工事数量総括表

		工事名	殿村及び野田地内配水管布設工事		当初		事業区分	水道工事	
							工事区分	共通仮設費	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
	水圧試験費		口		56				
	マーカー反応検査費(探知機賃料)		式		1				
	材料検査費(チェッカー賃料)		式		1				
	共通仮設費(率計上)		式		1				
	純工事費		式		1				
	現場管理費		式		1				
	工事原価		式		1				
	一般管理費等		式		1				

工事数量総括表

		工事名			殿村及び野田地内配水管布設工事			当初		事業区分		水道工事			
										工事区分		共通仮設費			
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量		今回数量		数量増減	
		工事区分・工種・種別・細別			規格			単位		前回数量					

推進工 数量集計表

1

工 種	種 別 細 別	規 格	単位	数 量 区 分	合 計	摘 要
中大口径推進工法(管径HP φ 1100)泥濃式推進工			式		1	
	(材料)推進用鉄筋コンクリート管		式		1	
	推進管 標準管(2.43m)	φ 1100mm 1種(A-2) 50N/mm2 JA継手	本		9	
	推進管 半管(1.20m)	φ 1100mm 1種(A-2) 50N/mm2 JA継手	本		1	カラーなし
	切羽作業工	φ 1100mm	m		22.02	
	坑内作業工	φ 1100mm	m		22.02	
	滑材(一次注入)		L		1827.7	
	滑材(二次注入)		L		—	L=250m以上に適用
	高濃度泥水		式		1	
	坑外作業工	φ 1100mm	m		22.02	
	機械器具損料	φ 1100mm	式		1	
	裏込め	φ 1100mm	m		22.02	
	裏込め注入量		L		1827.7	
	管目地	モルタル工	箇所		9	
	発生土処分工		式		1	
	泥水運搬工	汚泥吸排車8t	m3		47.79	
	泥水処分費		m3		47.79	

推進工数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	発生土処理工				—	
	トラッククレーン作業	油圧式10～11t	式		1	
	仮設備工		式		1	
	支圧壁		箇所		1	
	コンクリート	18-8-40BB	m3		3.13	
	型 枠	無筋	m2		7.50	
	コンクリート取壊し工	無筋	m3		3.13	
	クレーン設備組立撤去	定置式クレーン設置不可能。			—	
	支圧壁		箇所		1	
	坑口工		箇所		1	
	発進坑口止め輪	ゴムリング枠共 呼び径φ1100mm	組		1	
	鋼材溶接工		m		5.3	
	コンクリート	18-8-40BB	m3		1.78	
	型 枠	無筋	m2		5.83	
	到達坑口工		箇所		1	
	到達坑口止め輪	ゴムリング枠共 呼び径φ1100mm	組		1	
	鋼材溶接工		m		5.6	
	鏡切り工		箇所		1	
	発進鏡切	鋼矢板Ⅲ型	m		10.0	
	到達鏡切	鋼製ケーシング	m		6.0	

推進工数量集計表

3

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分		合 計	摘 要
	現場発生産品支給品運搬		回			1	
	推進用機器据付撤去工		箇所			1	
	床板材		m3			0.50	
	掘進機発達用受台工		箇所			1	
	鋼材設置撤去		t			1.35	
	掘進機引上用受台工		箇所			1	
	鋼材設置撤去		t			1.34	
	掘進機据付工	呼び径 φ 1100mm	台			1	
	掘進機搬出工	呼び径 φ 1100mm	台			1	
	掘進組立・整備工	呼び径 φ 1100mm	台			1	
	発達立坑基礎工		箇所			1	
	基礎コンクリート	18-8-40BB	m3			5.47	
	基礎砕石	RC-40 t=20cm	m2			27.36	
	坑外コンクリート塊搬出工		式			1	
	支圧壁コンクリート		m3			3.13	
	コンクリート塊処分		式			1	
	コンクリート塊処分		m3			3.13	
	立坑内仮設階段工		式			1	
	仮設階段設置材料費		m			5.00	
	仮設階段設置工		m			5.00	

推進工 数量集計表

4

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	通信・換気設備工		式		1	
	通信配線設備		式		1	
	電話機		個		3	
	通信用ビニール電線		m		114	
	換気設備工				—	
	送排泥設備工		式		1	
	高濃度泥水注入設備設置撤去		箇所		1	
	吸泥排土設備設置撤去		箇所		1	
	排土貯留槽設置撤去		箇所		1	
	管内設備撤去工		式		1	
	注入設備工		式		1	
	注入設備(裏込)		箇所		1	
	推進水替工		式		1	
	推進用水替	口径150×1台(7.5kw)揚程10m以下	式		1	
	管清掃工		式		1	
	管清掃		式		1	

推進工 数量計算書

1

名 称	計 算 式	数 量																																							
延 長	路線延長 L = 27.62 = 27.620 m 管渠延長 L = 27.62 - 3.190 - 1.270 = 23.160 m 推進延長 L = 27.62 - 3.800 - 1.800 = 22.020 m 日進量 8時間作業 ※ 別途算出	27.62 m 23.16 m 22.02 m																																							
泥濃式推進工	・呼び径 ϕ 1100mm 1) 推進用鉄筋コンクリート管 ・標準管(2.43m) ϕ 1100mm 1種(A-2) 50N/mm ² JA継手 ・半管(1.20m) ϕ 1100mm 1種(A-2) 50N/mm ² JA継手 カラーなし 推進力伝達材 ・シーリング材・クッション材 標準管付属品 2) 切羽作業工 ϕ 1100mm 3) 坑内作業工 ϕ 1100mm ・掘削土量 基本オーバーカット量(Tp) Tp = 35 mm 掘削断面積 掘削断面積 = (管外径+Tp×2) ² ×π/4 = (1.310+0.035×2) ² ×π/4 = 1.496 m ³ /m 管外径 = 1310 mm 総掘削量 = 掘削断面積×推進延長 = 1.496×22.02 = 32.942 m ³ ・滑材 一次注入滑材量 標準として管外径より片側40mmの範囲の50%を滑材とする。 ただし、砂礫土、巨礫・転石土の場合は、標準の50%増とする。 (1m当り注入量) <table border="1"><thead><tr><th>ボーリングNo.</th><th>摘要延長</th><th>土質名</th><th>面積比率</th><th>土質別注入量</th><th>平均注入量</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">Bor No.5(H25/9)</td><td rowspan="2">22.02</td><td>普通土</td><td>100.0</td><td>83</td><td rowspan="2">83.0</td></tr><tr><td>砂礫土</td><td>0.0</td><td>125</td></tr><tr><td>計</td><td>22.02</td><td></td><td></td><td></td><td>83.0</td></tr></tbody></table> 総注入量 = 22.02 × 83.0 = 1827.7 L ・滑材 二次注入滑材量 (L=250m以上に適用) ・高濃度泥水 <table border="1"><thead><tr><th>ボーリングNo.</th><th>摘要延長</th><th>礫率 G</th><th>G×L</th><th>平均礫率</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>Bor No.5(H25/9)</td><td>22.02</td><td>27.6</td><td>607.75</td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>22.02</td><td></td><td>607.8</td><td>27.6</td><td></td></tr></tbody></table>	ボーリングNo.	摘要延長	土質名	面積比率	土質別注入量	平均注入量	Bor No.5(H25/9)	22.02	普通土	100.0	83	83.0	砂礫土	0.0	125	計	22.02				83.0	ボーリングNo.	摘要延長	礫率 G	G×L	平均礫率	備考	Bor No.5(H25/9)	22.02	27.6	607.75			計	22.02		607.8	27.6		9 本 1 本 <
ボーリングNo.	摘要延長	土質名	面積比率	土質別注入量	平均注入量																																				
Bor No.5(H25/9)	22.02	普通土	100.0	83	83.0																																				
		砂礫土	0.0	125																																					
計	22.02				83.0																																				
ボーリングNo.	摘要延長	礫率 G	G×L	平均礫率	備考																																				
Bor No.5(H25/9)	22.02	27.6	607.75																																						
計	22.02		607.8	27.6																																					

名 称	計 算 式		数 量																					
	注入率 = { 0.3+0.3×(G/100)+0.7×(G/100) ² }×100 = { 0.3+0.3×(27.6/100)+0.7×(27.6/100) ² }×100 = 43.6 % ※50%未満は50%とする。																							
	1m当り注入量 = 1.496 × 50.0 / 100	= 0.748 m ³ /m	0.748 m ³ /m																					
	総注入量 32.942 × 50.0 / 100	= 16.471 m ³	16.471 m ³																					
4)	坑外作業工 φ 1100mm		22.02 m																					
5)	機械器具損料 φ 1100mm		1 式																					
6)	裏込注入工 φ 1100mm		22.02 m																					
	裏込注入量 管外径より片側40mm相当量の50%とする。 ただし、砂礫土、巨礫・転石土の場合は、ロス分を考慮し50%増とする。 ・裏込材																							
	(1m当り注入量)																							
	<table><tr><th>ボーリングNo.</th><th>摘要延長</th><th>土質名</th><th>面積比率</th><th>土質別注入量</th><th>平均注入量</th></tr><tr><td rowspan="2">Bor No.5(H25/9)</td><td rowspan="2">22.02</td><td>普通土</td><td>100.0</td><td>83</td><td rowspan="2">83.0</td></tr><tr><td>砂礫土</td><td>0.0</td><td>125</td></tr><tr><td>計</td><td>22.02</td><td></td><td></td><td></td><td>83.0</td></tr></table>			ボーリングNo.	摘要延長	土質名	面積比率	土質別注入量	平均注入量	Bor No.5(H25/9)	22.02	普通土	100.0	83	83.0	砂礫土	0.0	125	計	22.02				83.0
ボーリングNo.	摘要延長	土質名	面積比率	土質別注入量	平均注入量																			
Bor No.5(H25/9)	22.02	普通土	100.0	83	83.0																			
		砂礫土	0.0	125																				
計	22.02				83.0																			
	総裏込注入量 = 22.02 × 83.0	= 1827.7 L	1827.7 L																					
7)	管目地 φ 1100mm																							
	直線区間 モルタル工 N= 9 箇所	= 9 箇所	9 箇所																					
	・モルタル工 (100箇所当り) 目地及び注入工2箇所ですべて1箇所。	= 0.14 m ³																						
8)	発生土処分工																							
	発生土処理量は、掘削土砂と高濃度泥水の使用量を合計したものからテールボイド残量の50%を差し引いた量とする。																							
	・排泥処理量 = 掘削土量+高濃度泥水注入量-オーバーカット部の50%相当量																							
	= 32.942 + 16.471 - 1.628	= 47.785 m ³	47.785 m ³																					
	オーバーカット部の50%相当量																							
	= (掘削断面積-管外径断面積)×50%×推進延長																							
	= 1/4×π×(1.380 ² -1.310 ²)×50%×22.02	= 1.628 m ³																						
	掘削径 = 管外径+オーバーカット量Tp×2																							
	= 1310+35×2 = 1380 mm																							
	・泥水処分費	= 47.785 m ³	47.785 m ³																					
9)	発生土処理工																							
	・固化処理工		—																					
2)	トラッククレーン作業																							
	・トラッククレーン 油圧式10～11t		1 式																					

推進工 数量計算書

3

名 称	計 算 式	数 量
仮設備工		
1) 支圧壁工		1 箇所
	支圧壁平面積	
	$A = 2.500 \times 0.625 = 1.563 \text{ m}^2$	
	・コンクリート工 (18-8-40BB)	
	$V = 1.563 \times 2.000 = 3.126 \text{ m}^3$	3.13 m3
	・型枠工 (無筋)	
	$A = 2.500 \times 2.000 = 5.000$	
	$A = 0.625 \times 2.000 \times 2 = 2.500$	
	計 = 7.500 m2	7.50 m2
	・鉄筋工	
	※ 構造計算より無筋となる。	— t
	・コンクリート取壊し工 無筋	
	= 3.126 m3	3.13 m3
3) クレーン設備組立撤去	定置式クレーン設置不可能。	—
4) 発進坑口工		1 箇所
	坑口平面積	
	$A = 2.470 \times 0.475 = 1.173 \text{ m}^2$	
	・発進坑口止め輪 (ゴムリング枠共) 呼び径 φ1100mm	1 組
	・鋼材溶接工	5.3 m
	・コンクリート工 (18-8-40BB)	
	$V = 1.173 \times 2.200 = 2.581$	
	控除= $\pi/4 \times 1.470^2 \times 0.475 = -0.806$	
	計 = 1.775 m3	1.78 m3
	・型枠工 (無筋)	
	$A = 2.470 \times 2.200 = 5.434$	
	$A = 0.475 \times 2.200 \times 2 = 2.090$	
	控除= $\pi/4 \times 1.470^2 = -1.697$	
	計 = 5.827 m2	5.83 m2
	・コンクリート取壊し工 ※ 取壊さず残置する。	—
5) 到達坑口工		
	・到達坑口止め輪 (ゴムリング枠共) 呼び径 φ1100mm	1 組

推進工 数量計算書

4

名 称	計 算 式	数 量						
	・ 鋼材溶接工	5.6 m						
6)	鏡切り工	2 箇所						
	発進坑口切断延長(m) 鋼矢板Ⅲ型 = 10.0 m 到達坑口切断延長(m) 鋼製ケーシング = 6.0 m	10.0 m 6.0 m						
	スクラップ $W = \pi / 4 \times 1.470^2 \times 150.0 \text{kg/m}^2$ $W = \pi / 4 \times 1.470^2 \times 172.7 \text{kg/m}^2$ = 254.58 = 293.10							
	計 = 547.68 kg	0.548 t						
7)	推進用機器据付撤去工 ※ 推進台、推進ジャッキ、ジャッキ台、推進反力装置、等元押し推進作業に関するすべての設備の装置および撤去。 ・ 床板材 呼び径 φ 1100mm = 0.50 m3	1 箇所 0.50 m3						
8)	掘進機発進用受台工	1 箇所						
	・ 鋼材設置撤去 = 1.35 t	1.35 t						
	発進用受台設置質量 (1箇所当り) <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th><th>部 材</th><th>重 量 (t)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ 1100mm</td><td>定規 H-250×250 枕木 H-300×300</td><td>1.35</td></tr> </tbody> </table>	呼び径	部 材	重 量 (t)	φ 1100mm	定規 H-250×250 枕木 H-300×300	1.35	
呼び径	部 材	重 量 (t)						
φ 1100mm	定規 H-250×250 枕木 H-300×300	1.35						
9)	掘進機引上用受台工	1 箇所						
	・ 鋼材設置撤去 = 1.34 t	1.34 t						
	引上用受台設置質量 (1箇所当り) <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th><th>部 材</th><th>重 量 (t)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ 1100mm</td><td>定規 H-300×300</td><td>1.34</td></tr> </tbody> </table>	呼び径	部 材	重 量 (t)	φ 1100mm	定規 H-300×300	1.34	
呼び径	部 材	重 量 (t)						
φ 1100mm	定規 H-300×300	1.34						
10)	掘進機据付工 呼び径 φ 1100mm	1 台						
11)	掘進機搬出工 呼び径 φ 1100mm	1 台						
12)	掘進組立・整備工 呼び径 φ 1100mm	1 台						
13)	発進立坑基礎工 ・ 基礎コンクリート工 (18-8-40BB) $V = 7.600 \times 3.600 \times 0.200 = 5.472 \text{ m}^3$ ・ 基礎碎石 (RC-40 t=20cm) $A = 7.600 \times 3.600 = 27.360 \text{ m}^2$	5.47 m3 27.36 m2						

推進工 数量計算書

5

名 称	計 算 式	数 量
14)	坑外コンクリート塊搬出工	1 箇所
	・支圧壁コンクリート $V = 3.126 \text{ m}^3$ $= 3.126 \text{ m}^3$	3.13 m^3
15)	コンクリート塊処分	
	・コンクリート塊処分 $V = 3.126 \text{ m}^3$ $= 3.126 \text{ m}^3$	3.13 m^3
16)	立坑内仮設階段工	
	・仮設階段設置用材料 $= 5.000 \text{ m}$	5.00 m
	・仮設階段設置工 $= 5.000 \text{ m}$	5.00 m
通信・換気設備工		1 式
1)	通信配線設備	
	・電話機 $= 3 \text{ 個}$	3 個
	・通信用ビニール電線 $L = (L1 + H + \text{推進延長}) \times 2 \text{ 回線}$ $= (30.00 + 4.800 + 22.02) \times 2 = 113.640 \text{ m}$ L1 : 発生土処理設備より立坑上までの延長 (標準30m) H : 立坑上から推進管底までの延長 4.800 m	114 m
2)	換気設備工 ・必要に応じて計上。	—
送排泥設備工		
1)	高濃度泥水注入設備設置撤去	1 箇所
2)	吸泥排土設備設置撤去	1 箇所
3)	排土貯留槽設置撤去	1 箇所
4)	管内設備撤去工	1 式
注入設備工		
1)	注入設備工 (裏込)	1 箇所
推進水替工		
1)	推進用水替 口径150×1台 (7.5kw) 揚程10m以下	1 式
管清掃工		
1)	管清掃 呼び径 $\phi 1100\text{mm}$	1 式

NO.1発進立坑工 数量集計表

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
立坑工(No.1発進立坑)	立坑寸法				7600×3600	
	立坑土工					
	立坑掘削	バックホウ0.6m ³	m ³		160.2	
	埋戻し	購入土 最大埋戻幅 1m≦W1<4m	m ³		82.1	
	埋戻し	埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1<1m	m ³		47.5	
	発生土処理		m ³		160.2	
	基面整正	人力	m ²		27.4	
	コンクリート	18-8-40BB	m ³		12.2	
	型枠		m ²		24.4	
	土留工					
	鋼矢板工法					
	(鋼矢板圧入・引抜き)					
	鋼矢板圧入工	SP-III型 L=9.00m 圧入長=8.50m Nmax≦25	枚		56	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=9.00m 引抜き長=8.50m Nmax≦25	枚		49	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=2.985m 引抜き長=2.485m Nmax≦25	枚		7	
	(機械据付・解体)					
	油圧式抗圧入引抜き機据付・解体	圧入時 圧入(Nmax≦25)	回		1	
	油圧式抗圧入引抜き機据付・解体	引抜き時	回		1	
	(鋼製支保工設置・撤去)					
	切梁・腹起し設置工		t		9.299	

NO.1発進立坑工 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	切梁・腹起し撤去工		t		9.299	
	ガス切断工 (賃料)	鋼矢板Ⅲ型	m		2.8	
	普通鋼矢板	SP-Ⅲ型 L=9.00m	枚		56	
		全質量	kg		30240	
		(内訳) 撤去数量 L	kg		26460	
		撤去数量 L1=スクラップ長未満	kg		1254	
	残置(購入)	残置数量 L2=スクラップ長以上	kg		2526	
	(鋼製支保工) (賃料)					
	H形鋼 山留主部材 腹起し	H-350×350×12×19	kg		3000	
	H形鋼 山留主部材 腹起し	H-400×400×13×21	kg		3960	
	H形鋼 山留主部材 切 梁	H-300×300×10×15	kg		420	
	副部材(A)		kg		1624	
	副部材(B)		kg		295	
	現場発生品支給品運搬 (附帯工)		回		1	
	舗装撤去工		式		1	
	アスファルト切断工	As 厚=15cm以下	m		8.7	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cm以下	m2		9.3	
	発生土処理	As	m3		0.5	
	舗装復旧工		式		1	
	路盤工	再生砕石RC-40 t=20cm	m2		9.3	
	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2		9.3	

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.1発進立坑工 数量計算書 -1	(1箇所当り)
立坑寸法	長さ×幅 7600×3600 立坑深 H= 5.185m 掘削深 H= 5.585m 立坑面積 A= 7.60×3.60= 27.360m ²	
(立坑土工)		
一次掘削	一次 H≤0.5m バックホウ0.6m ³ 20m ² <A≤50m ²	
立坑掘削	掘削深 布掘り深 H= 0.50 = 0.500 m 体積 V= 8.80×4.80×0.500 = 21.120	21.1 m ³
立坑掘削	A領域 0.5m<H≤1.8m バックホウ0.6m ³ 20m ² <A≤50m ² 掘削深 掘削深-一次掘削深 H= 1.80-0.50 = 1.300 m 体積 V= 27.360×1.300 = 35.568	35.6 m ³
立坑掘削	B領域 1.8m<H≤5.0m バックホウ0.6m ³ 20m ² <A≤50m ² 掘削深 掘削深-A領域 H= 5.585-1.80 = 3.785 m 体積 V= 27.360×3.785 = 103.558	103.6 m ³
	<u>立坑掘削土 合計</u> 合計 = 160.246	160.2 m ³
(立坑埋戻し)		
埋戻し①	購入土 最大埋戻幅 1m≤W1<4m 埋戻高 H= 2.730m = 2.730 m 体積 V= 8.800×4.800×0.500 = 21.120 V= 7.600×3.600×2.230 = 61.013 計 = 82.133 m ³	82.1 m ³

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.1発進立坑工 数量計算書 - 2	(1箇所当り)
埋戻し②	埋戻し用砂 配管天端+0.20m 最大埋戻幅 W1<1m 埋戻高 埋戻し高 $H= 2.455m = 2.455 m$ 体積 $V= 27.360 \times 2.455 = 67.169$ 控除坑口コン $V= -2.470 \times 0.475 \times 2.200 = -2.581$ 控除防コン $V= -1.700 \times 4.000 \times 2.200 = -14.960$ 控除配管 $V= -\pi/4 \times 0.939^2 \times 3.125 = -2.164$ 計 = 47.464 m3	47.5 m3
	埋戻し土 合計 発生土 合計 = 0.000 購入土 合計 = 82.133 埋戻し用砂 合計 = 47.464	0.0 m3 82.1 m3 47.5 m3
(残 土) 残土処分	体積 掘削土 - 埋戻し発生土×土量換算係数C=1.11 $V= 160.2 - 0.00 \times 1.11 = 160.200$	160.2 m3
(基面整正) 基面整正	人力 面積 $A= 27.360 m2 = 27.360$	27.4 m2
(附帯工) アスファルト 切断工	As 厚=15cm以下 延長 $L= 4.80 + 1.94 \times 2 = 8.680$	8.7 m
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 面積 $A= 4.80 \times 1.94 = 9.312$	9.3 m2
発生土運搬	As $V= 9.312 \times 0.05 = 0.466$	0.5 m3

名 称	計 算 式	数 量
鋼矢板土留工 立坑寸法	T-NO.1発進立坑工 数量計算書 -3 長さ×幅 7600×3600 立坑深 H= 5.185m	(1箇所当り)
(鋼矢板圧入・引抜き)		
鋼矢板圧入工	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=9.00m 圧入長=8.50m $N_{max} \leq 25$ 枚数 N= 56 枚 = 56	56 枚
鋼矢板引抜工	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=9.00m 引抜長=8.50m $N_{max} \leq 25$ 枚数 N= 49 枚 = 49 SP-Ⅲ型 幅=400mm L1=2.985m 引抜長=2.485m $N_{max} \leq 25$ 枚数 N= 7 枚 = 7	49 枚 7 枚
(機械据付・解体)		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入時 圧入($N_{max} \leq 25$) = 1	1 回
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き時 = 1	1 回
(支保工設置・撤去)		
切梁・腹起し 設置工	支保工全質量 質量 W= 9299 kg = 9299 kg	9299 kg
撤去工	質量 W= 9299 kg = 9299 kg	9299 kg
(基礎工)		
基礎コンクリート	18-8-40BB 体積 V= 7.60×3.60×0.20 = 5.472	5.47 m3
基礎碎石	RC-40 t=20cm 面積 A= 7.60×3.60 = 27.360	27.36 m2
(鋼矢板切断)		
ガス切断工	鋼矢板Ⅲ型 箇所数 N= 7箇所 0.4×7 = 2.8	3 m
(賃 料)		
普通鋼矢板	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=9.00m 延長 L= 7.60×2+3.60×2 = 22.40 m 枚数 N= 22.40÷0.40 = 56 枚	
全体数量	質量 W= 56枚×9.00m×60.0kg/m = 30240 kg	30240 kg
[内訳]		
撤去数量	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=9.00m 延長 L= 7.60×2+3.60+0.80 = 19.60 m 枚数 N= 19.60÷0.40 = 49 枚 質量 W= 49枚×9.00m×60.0kg/m = 26460 kg	26460 kg

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.1発進立坑工 数量計算書 -4	(1箇所当り)
撤去数量	L1スクラップ長未満 L1=2.985m	
L1	延長 L= 2.80 = 2.80 m	
	枚数 N= 2.80÷0.40 = 7 枚	
	質量 W= 7枚×2.985m×60.0kg/m = 1254 kg	1254 kg
残置数量	L2スクラップ長以上 L1=6.015m	
L2	延長 L= 2.80 = 2.80 m	
	枚数 N= 2.80÷0.40 = 7 枚	
	質量 W= 7枚×6.015m×60.0kg/m = 2526 kg	2526 kg
	内訳計 = 30240 kg	
(賃料)		
鋼製支保工	H形鋼 山留主部材	
腹起し	H-350×350×12×19	
	延長 L= (7.35+2.65)×2 = 20.00 m	
	質量 W= 20.00m×150.0kg/m = 3000 kg	3000 kg
腹起し	H-400×400×13×21	
	延長 L= (7.35+2.55)×2 = 19.80 m	
	質量 W= 19.80m×200.0kg/m = 3960 kg	3960 kg
切 梁	H-300×300×10×15	
	延長 L= 2.65ーキリンジャッキ0.50 = 2.15 m	
	L= 2.55ーキリンジャッキ0.50 = 2.05 m	
	ΣL= 2.15+2.05 = 4.20 m	
	質量 W= 4.20×100.0kg/m = 420 kg	420 kg
	主部材計 ΣW= 3000+3960+420 計 = 7380 kg	7380 kg
副部材(A)	質量 W= 7380×0.22 = 1624 kg	1624 kg
副部材(B)	質量 W= 7380×0.04 = 295 kg	295 kg
	支保工合計 ΣW= 7380+1624+295 計 = 9299 kg	9299 kg

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.1発進立坑工 仮舗装工 数量計算書 -5	(1箇所当り)
道路種別	市道	
(仮舗装工)	車道部	
路盤工	再生砕石RC-40 t=20cm	
	面積 $A = 4.80 \times 1.94$ = 9.312	9.3 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm	
	面積 $A = 4.80 \times 1.94$ = 9.312	9.3 m2

名 称	計 算 式	数 量
(発進立坑部)	防護コンクリート 数量計算書	(1式当り)
コンクリート	18-8-40BB	
	体積 $V = 1.700 \times 4.000 \times 2.200$ = 14.960	
	管控除DIP $V = -\pi/4 \times 0.939^2 \times 4.000$ = -2.770	
	計 = 12.190	12.19 m3
型 枠	無筋構造物	
	面積 $A = 1.700 \times 2.200$ = 3.740	
	$A = 4.000 \times 2.200 \times 2$ = 17.600	
	管閉鎖時 $A = 1.700 \times 2.200$ = 3.740	
	管控除DIP $A = -\pi/4 \times 0.939^2$ = -0.693	
	計 = 24.387	24.39 m2

T-NO.2到達立坑 数量集計表

1

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
立坑工(No.2到達立坑)	鋼製ケーシング式土留工及び土工	ケーシング呼び径 呼び径 φ 3500mm				
	揺動圧入方式	立坑深 H= 6.105 m				
	2分割ケーシング組立式	掘削深 H= 8.105 m				
		ケーシング長 H= 8.000 m				
	(立坑土工)					
	機械掘削 路面覆工部	バックホウ0.6m3	m3		18.8	
	圧入掘削		m3		71.9	圧入掘削工にて計上
	埋戻し	再生砕石RC-40 最大埋戻幅 1m≦W1<4m	m3		28.6	
	埋戻し	埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1<1m	m3		15.0	
	発生土処理		m3		90.7	
	コンクリート	18-8-40BB	m3		19.0	
	型枠		m2		5.5	
	(鋼製ケーシング式土留工)					
	圧入掘削積み込み工	呼び径 φ 3500mm 適用区分 N値50以下				
		土質別掘削深 H2 H2≦9.0m				
		砂質土 N≦30	m		7.800	
	ケーシング組立式	2.3m未満 二分割型ボルト固定・溶接タイプ	回		4	
	最終ケーシング立坑溶接工	呼び径 φ 3500mm	本		1	
	ケーシング溶接工	呼び径 φ 3500mm	箇所		5	

T-NO.2到達立坑 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	ケーシング撤去工		箇所		1	
	ケーシング切断工	呼び径 φ 3500mm	m		21.8	
	底盤コンクリート	30-18-20(25)	m3		19.7	
	機械設置・撤去工		回		1	
	機械退避・再設置工		回		7	
	鋼製ケーシング存置	鋼製ケーシング φ 3500 t=22mm SS400	m		6.8	
	ケーシング2分割接合部材	幅200mm t=22mm 加工・接合・BN込み	m		11.2	
	仮設ケーシング損料等	呼び径 φ 3500mm L-1.50m	式		1	
	底盤固定リング	底盤固定リング取付工	箇所		1	
	"	底盤固定リング 厚さt=22mm 幅=150mm	個		1	
	うわ水排水工	立坑水替	箇所		1	
	泥水運搬処理	スライム処理工	箇所		1	
	"	泥水処分工	m3		7.9	
	"	泥水処分費	m3		7.9	
	現場発生品支給品運搬		回		1.0	
	(路面覆工)					
	(賃料)					
	覆工板	1000×2000×200 T-25 枚数	枚		8	
	"	面積	m2		16.0	
	覆工受桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15	kg		1200	

T-NO.2到達立坑数量集計表

3

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	桁受材 (損料)	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15	kg		800	
	スレ止め材	溝形鋼 [-200×80×7.5×11]	kg		401	
	(路面工設置・撤去)					
	覆工板・覆工板受桁 設置・撤去工	立坑 設置面積50m ² 以下	m ²		16.0	
	覆工板開閉工		回		16.0	
	(覆工基礎工)					
	基礎コンクリート	18-8-40	m ³		0.70	
	型 枠	無筋構造物	m ²		3.84	
	基面整正	人力	m ²		3.52	
	(覆工基礎撤去)					
	コンクリート取壊し	無筋	m ³		0.70	
	コンクリート処分	無筋	m ³		0.70	
	(路面工)					
	路面すりつけ工		m		13.2	
	国道163号 歩道					
	(付帯工)					
	舗装撤去工		式		1.0	
	アスファルト切断工		m		7.2	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cm以下	m ²		15.8	
	発生土処理	As	m ³		0.48	
	舗装復旧工		式		1.0	
	路盤工	再生砕石RC-40 t=10cm	m ²		15.8	
	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m ²		15.8	

名 称	計 算 式	数 量
(立坑土工)	T-NO.2 到達立坑工 計算書 -1	(1箇所当り)
立坑寸法	立坑呼び径 鋼製ケーシング φ 3500mm 立坑内径 I.D.= φ 3546mm 立坑外径 O.D.= φ 3590mm 立坑深 H= 6.105 m 掘削深 H= 8.105 m 立坑内面積 $A = \pi / 4 \times 3.546^2 = 9.876 \text{ m}^2$ 立坑外面積 $A = \pi / 4 \times 3.590^2 = 10.122 \text{ m}^2$	
(立坑掘削)		
機械掘削	路面覆工部 バックホウ0.6m3 掘削深 H= 1.00 - As厚0.03 = 0.970 m 掘削土量 $V = 4.40 \times 4.40 \times 0.97 = 18.779$	18.8 m3
圧入掘削	鋼製ケーシング圧入掘削にて計上。 掘削深 H= 8.105 - 1.00 = 7.105 m 掘削土量 $V = 10.122 \times 7.105 = 71.917$	71.9 m3
	掘削土 合計 合計 = 90.696	90.7 m3
(立坑埋戻し)		
埋戻し①	再生砕石RC-40 最大埋戻幅 $1\text{m} \leq W1 < 4\text{m}$ 埋戻高 H= 2.060m = 2.060 m 埋戻し土量 $V = 4.40 \times 4.40 \times (1.00 - \text{舗装厚}0.13) = 16.843$ $V = 9.876 \times 1.190 = 11.752$ 計 = 28.595	28.6 m3
埋戻し②	埋戻し用砂 配管天端 +0.20m 最大埋戻幅 $W1 < 1\text{m}$ 埋戻高 H= 1.715m = 1.715 m 埋戻し土量 $V = 9.876 \times 1.715 = 16.937$ 控除配管 $V = -\pi / 4 \times 0.939^2 \times (1.045 + 1.773) = -1.951$ 計 = 14.986	15.0 m3
(残土)		
残土処分	体積 掘削土 - 埋戻し発生土 × 土量換算係数 $C=1.11$ $V = 90.696 - 0.00 \times 1.11 = 90.696$	90.7 m3
(付帯工)		
アスファルト 切断工	As 厚=15cm以下 延長 L= 3.60 × 2 = 7.200	7.2 m
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 面積 A= 3.60 × 4.40 = 15.840	15.8 m2
アスファルト 舗装塊処分	As $V = 15.840 \times 0.03 = 0.475$	0.48 m3

名 称	計 算 式				数 量			
	T-NO.2 到達立坑工 計算書 -2				(1箇所当り)			
鋼製ケーシング 揺動圧入方式	立坑呼び径 鋼製ケーシング φ 3500mm							
ケーシング寸法	立坑内径	I.D.=	φ 3546mm	2分割ケーシング組立式				
	立坑外径	O.D.=	φ 3590mm					
	刃先径	D=	φ 3622mm					
	厚さ	t=	22mm					
立坑寸法	立坑深	H1=	6.105	m				
	掘削深	H2=	8.105	m				
	ケーシング長	H3=	8.000	m				
	先掘深(As)	H4=	0.030	m				
	施工余裕	H5=	0.305	m				
	圧入根入れ長	H6=	0.200	m				
	底盤コンクリート厚	t=	2.000	m				
鋼製ケーシング 圧入掘削	圧入掘削積込み工 呼び径 φ 3500mm 土質別掘削深 (掘削深 H2≤9.0m)							
	覆工部		0.305	m	(別途計上)	=	0.305	m
	粘性土	N≤5	0.000	m		=	0.000	m
	砂質土	N≤30	7.800	m		=	7.800	m
	礫質土 (礫径200mm以下)	N≤30	0.000	m		=	0.000	m
ケーシング 組立工	2.3m未満 二分割型ボルト固定・溶接タイプ							
	L=1.5m	N=	4 回	=	4	4	回	
最終ケーシング 立坑溶接工	1.5m以下の場合	L= 最終ケーシング長 × 4						
	立坑溶接延長	L=	1.000×4	=	4.000 m/本			
	本数	N=	1 本	=	1	1	本	
ケーシング 溶接工	溶接延長	L=	11.20 m/箇所	11.2×5	=	5.6	56.00	m
	箇所数	N=	5 箇所	=	5	5	箇所	
ケーシング 撤去工	箇所数	N=	1 箇所	=	1	1	箇所	
	ケーシング切断長	L= 呼び径×π+ケーシング撤去長×4						
	4分割切断	L=	3.568×π+1.195×4	=	15.989			
	国道163号区間	5.8m	=	5.8	21.79	m		
	スクラップ	質量 鏡切部	W= 推進工・開削工にて計上				=	
撤去部		W= 1.195×1936kg/m×1/1000				=	2.314	
国道163号区間		0.266	=	0.266				
計		=	2.58	2.580	t			
底盤コンクリート	30-18-20(25)							
	体積	V=	π/4×3.546 ² ×2.000	=	19.751	19.7	m3	
圧入掘削設備 機械設置撤去工	回数	N=	1 回	=	1	1	回	

名 称	計 算 式			数 量
	T-NO.2 到達立坑工 計算書 -3			(1箇所当り)
機械退避再設置工	回数	N= 7 回	= 7	7 回
鋼製ケーシング 存置	呼び径 φ 3500mm			
	刃先	N= 1 個 L=8.0-1.195	= 1 = 6.805	1 個 6.805 m
鋼製ケーシング	先頭ケーシング	L= 1.500 m × 1本	= 1.500	
	中間ケーシング	L= 1.500 m × 3本	= 4.500	
	中間ケーシング	L= 1.000 m × 1本	= 1.000	
	最終ケーシング	L= 1.000 m × 1本	= 1.000	
		計	= 8.000	8.0 m
ケーシング二分割 接合部材	幅200mm t=22mm	加工・接合・BN込み		
	接合延長	L= { 8.00 - (1.20 + 0.20 × 6本) } × 2	= 11.200	11.2 m
仮設ケーシング 損料等	呼び径 φ 3500mm	L= 1.50 m		
		N= 1 式	= 1	1 式
底盤固定リング	呼び径 φ 3500mm			
底盤固定リング 取付工	箇所数	N= 1 箇所	= 1	1 箇所
底盤固定リング	外径 φ 3546 内径 φ 3502	厚さt=22mm 幅=150mm		
	個数	N= 1 個	= 1	1 個
立坑水替	呼び径 φ 3500mm			
うわ水排水工	箇所数	N= 1 箇所	= 1	1 箇所
泥水運搬処理	呼び径 φ 3500mm			
スライム処理工	箇所数	N= 1 箇所	= 1	1 箇所
泥水処分工	呼び径 φ 3500mm			
	泥水処分量	V= 7.90 m3/箇所 (標準:砂質土)	= 7.900	7.9 m3
泥水処分費	泥水処分量	V= 7.90 m3/箇所	= 7.900	7.9 m3

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.2到達立坑 路面覆工 数量計算書 -4	(1箇所当り)
路面覆工 覆工寸法 (賃 料) 覆工板	長さ × 幅 4000 × 4000 1000×2000×200 T-25 枚数 N= 8枚 = 8 面積 A= 1.00×2.00×8 = 16.00	8 枚 16.00 m2
覆工受桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 4.30×3 = 12.90 m 質量 W= 12.90×93.0kg/m = 1200	1200 kg
桁受材	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 4.30×2 = 8.60 m 質量 W= 8.60×93.0kg/m = 800 桁材計 ΣW= 1200+800 計 = 2000	800 kg 2000 kg
ズレ止め材	溝形鋼 [-200×80×7.5×11 延長 L= 4.08×4 = 16.32 m 質量 W= 16.32×24.6kg/m = 401	401 kg
(路面工設置・撤去) 覆工板・覆工板受桁 設置撤去工	推進立坑 設置面積50m ² 以下 面積 A= 4.00×4.00 = 16.00	16.00 m2
覆工板開閉工	推進立坑 設置面積50m ² 以下 面積 A= 4.00×4.00 = 16.00 回数 N= 回 別紙計算書参照 = 16 回	16.00 m2 16 回

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.2到達立坑 路面覆工 数量計算書 -5	(1箇所当り)
(覆工基礎工) 基礎コンクリート	18-8-40	
	体積 $V = 0.40 \times 0.20 \times 4.40 \times 2$	= 0.704 0.70 m3
型 枠	無筋構造物	
	面積 $A = (4.40 + 0.40) \times 0.20 \times 4$	= 3.840 3.84 m2
基面整正	面積 $A = 0.40 \times 4.40 \times 2$	= 3.520 3.52 m2
(覆工基礎撤去) コンクリート 取壊し	無筋 体積 $V = 0.704 \text{ m3}$	= 0.704 0.70 m3
コンクリート 殻処分	無筋 体積 $V = 0.704 \text{ m3}$	= 0.704 0.70 m3
(路面工) 路面すりつけ工	延長 $L = 4.40 \times 3$	= 13.200 13.20 m

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.2到達立坑工 仮舗装工 数量計算書 -6	(1箇所当り)
道路種別	国道163号	
(仮舗装工)	歩道部	
路盤工	再生碎石RC-40 t=10cm	
	面積 $A = 4.40 \times 3.60$ = 15.840	15.8 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	
	面積 $A = 4.40 \times 3.60$ = 15.840	15.8 m2

名 称	計 算 式	数 量
(到達立坑部)	防護コンクリート 数量計算書	(1式当り)
コンクリート	18-8-40BB	
	体積 $V = \pi / 4 \times 3.546^2 \times 2.200$ = 21.727 管控除HP $V = -\pi / 4 \times 1.310^2 \times 0.500$ = -0.674 管控除DIP $V = -\pi / 4 \times 0.939^2 \times (1.655 + 1.315)$ = -2.057 計 = 18.996	19.00 m3
型 枠	無筋構造物 面積 管閉鎖時 $A = 2.820 \times 2.200$ = 6.204 管控除DIP $A = -\pi / 4 \times 0.939^2$ = -0.693 計 = 5.511	5.51 m2

補助地盤改良工数量集計表

1

[illegible]

1

[illegible]

薬液注入工 二重管ストレーナ工法 (複相式)

注入平面積	$A=4.400 \times 5.500=$	24.200	(m^2)	
注入本数 n		25	(本)	
セット数		2	(セット)	

(1)土質別の削孔長と注入高

土 質	削 孔 長		注 入 高			土被り長	摘 要
	標高 (TP▽+m)	削孔層厚 L(m)	平均N値	標高 (TP▽+m)	注入層厚 L ₁ (m)	L ₂ (m)	
	7.400						地盤標高=1/2×(7.80+7.00)=7.40
砂質土	4.995	2.405		4.995			(参考) Bor No.5 H25/9
砂質土	1.095	3.900	14	1.095	3.900		
計		6.305		計	3.900	2.405	

(2)注入量

土 質	N 値		注入層厚 L ₁ (m)	注入面積 A (m ²)	対象土量 V (m ³)	注 入 率			注入量 Q (kL)
						瞬結材:緩結材	瞬結材 (%)	緩結材 (%)	
							一次注入	二次注入	
粘性土	ゆるい～中位	0～4							
	中位～締った	4～8							
砂質土	ゆるい	0～10							
	中 位	10～30	3.900	24.200	94.380	1:3	10.1	30.4	38.224
	締った	30以上							
砂礫土① (細粒分少)	ゆるい	0～50							
	締った	50以上							
砂礫土② (細粒分多)	ゆるい	0～50							
	締った	50以上							
合 計			3.900		94.380		9.532kL	28.692kL	38.224kL

1本当りの注入量(Qs)

$$QS = (Q \times 1000) / n \quad 25 = 1529 \quad (L/本)$$

単位時間当り注入量(qs) 複相式

$$qs = 16 \quad (L/分)$$

(3)削孔時間

土 質	削孔長 L(m)	1m当り 削孔時間 (分/m)	T ₂ 削孔時間 (分)	摘 要
粘性土		4		複相式
砂質土	6.305	5	31.53	複相式
砂礫土		8		複相式
計	6.305		31.53	

T-NO.1發進立坑工 底盤改良

薬液注入工 二重管ストレーナ工法 (複相式)

注入平面積	$A = 7.600 \times 3.600 =$	27.360	(m^2)	
注入本数 n		28	(本)	
セット数		2	(セット)	

(1)土質別の削孔長と注入高

土 質	削 孔 長		注 入 高			土被り長	摘 要
	標高 (TP▽+m)	削孔層厚 L(m)	平均N値	標高 (TP▽+m)	注入層厚 L ₁ (m)	L ₂ (m)	
	7.000						(参考) Bor No.5 H25/9
砂質土	1.415	5.585		1.415			
砂質土	-0.800	2.215	6	-0.800	2.215		
砂質土	-1.585	0.785	21	-1.585	0.785		
計		8.585		計	3.000	5.585	

(2) 注入量

土 質	N 値		注入層厚 L _i (m)	注入面積 A (m ²)	対象土量 V (m ³)	注 入 率			注 入 量 Q (kL)
						瞬結材:緩結材	瞬結材 (%)	緩結材 (%)	
							一次注入	二次注入	
粘性土	ゆるい～中位	0～4							
	中位～締った	4～8							
砂質土	ゆるい	0～10	2.215	27.360	60.602	1:2	13.5	27.0	24.544
	中 位	10～30	0.785	27.360	21.478	1:3	10.1	30.4	8.698
	締った	30以上							
砂礫土① (細粒分少)	ゆるい	0～50							
	締った	50以上							
砂礫土② (細粒分多)	ゆるい	0～50							
	締った	50以上							
合 計			3.000		82.080		10.350kL	22.892kL	33.242kL

1本当りの注入量(Qs) $QS = (Q \times 1000) / n_{28} = 1187 \quad (L/\text{本})$

単位時間当り注入量(qs) 複相式 $q_s =$ 16 (L/分)

(3) 削孔時間

土 質	削孔長 L(m)	1m当り 削孔時間 (分/m)	T ₂ 削孔時間 (分)	摘 要
粘性土		4		複相式
砂質土	8.585	5	42.93	複相式
砂礫土		8		複相式
計	8.585		42.93	

薬液注入工 二重管ストレナ工法 (複相式)

注入平面積	$A=4.400 \times 3.600 - 1/2 \times \{ \pi / 180 \times (96.52) - \sin(96.52) \} \times 1.795^2 =$	14.727	(m^2)	
注入本数 n		15	(本)	
セット数		2	(セット)	

(1) 土質別の削孔長と注入高

土 質	削 孔 長		注 入 高			土被り長	摘 要
	標高 (TP▽+m)	削孔層厚 L(m)	平均N値	標高 (TP▽+m)	注入層厚 L ₁ (m)	L ₂ (m)	
	7.920						(参考) Bor No.5 H25/9
砂質土	4.995	2.925		4.995			
砂質土	1.095	3.900	14	1.095	3.900		
	計	6.825		計	3.900	2.925	

(2) 注入量

土 質	N 値		注入層厚 L ₁ (m)	注入面積 A (m^2)	対象土量 V (m^3)	注 入 率			注入量 Q (kL)
						瞬結材:緩結材	瞬結材 (%)	緩結材 (%)	
							一次注入	二次注入	
粘性土	ゆるい～中位	0～4							
	中位～締った	4～8							
砂質土	ゆるい	0～10							
	中 位	10～30	3.900	14.727	57.435	1:3	10.1	30.4	23.261
	締った	30以上							
砂礫土① (細粒分少)	ゆるい	0～50							
	締った	50以上							
砂礫土② (細粒分多)	ゆるい	0～50							
	締った	50以上							
合 計			3.900		57.435		5.801kL	17.460kL	23.261kL

1本当りの注入量(Qs) $QS = (Q \times 1000) / n \quad 15 = 1551 \quad (L/本)$ 単位時間当り注入量(qs) 複相式 $qs = 16 \quad (L/分)$

(3) 削孔時間

土 質	削孔長 L(m)	1m当り 削孔時間 (分/m)	T ₂ 削孔時間 (分)	摘 要
粘性土		4		複相式
砂質土	6.825	5	34.13	複相式
砂礫土		8		複相式
計	6.825		34.13	

配水管挿入工 数量集計表

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
				水道管 挿入工	発進立坑	到達立坑		
配水管挿入工	さや管内配管挿入工							
	(材 料)							
	ダクタイル鋳鉄管直管	PN形標準管 φ900×L4000 4種管	本	5			5	
	ダクタイル鋳鉄管乙切管	PN形標準管 φ900×L4200 4種管	本	1			1	乙切管L=4200
	PN形受挿し短管	PN形 φ900×L1000 PN-NS	本	2			2	
	接合材料 PN形	PN形 φ900	個	7			7	
	ラチ・スパーサー	PN管用 φ900	個	13			13	
	ラチ・スパーサー用Δシート	PN管用 φ900 180×2530×t2	枚	13			13	
	(労 務)							
	管据付費	PN形 φ900	m	26.20			26.20	
	継手接合	PN形 φ900	口	7			7	
	さや管内挿入工	さや管HP φ1100 挿入管PN形 φ900	m	23.16			23.16	
	挿入設備工	設置	箇所	1			1	
	挿入設備工	撤去	箇所	1			1	
	充填工	エアミルク	m3	6.81			6.81	
	充填用管閉鎖工	防護コンクリートにて計上。						

名 称	計 算 式				数 量
	配水管挿入工 数量計算書				(1式当り)
(材 料) ダクタイル鋳鉄管 直管	PN形φ900×L4000	標準タイプ 4種管			
	本数	N= 5 本	=	5	5 本
ダクタイル鋳鉄管 乙切管	PN形φ900×L6000	標準タイプ 4種管	乙切管L=4200		
	本数	N= 1 本	=	1	1 本
PN形受挿し短管	PN形φ900×L1000 (PN-NS)				
	本数	N= 2 本	=	2	2 本
接合材料 PN形	PN形φ900				
	本数		=	7	7 個
(挿入管保護用 スペーサー)					
(材 料) ラチ・スペーサー	PN管用φ900				
	個数	N= 13 個	=	13	13 個
ラチ・スペーサー用 ゴムシート	PN管用φ900 180×2530×t2				
	個数	N= 13枚	=	13	13 枚
(労 務) 管据付費	PN形φ900				
	延長	L= 20.000+4.200+1.000+1.000	=	26.200	26.20 m
継手接合	PN形φ900				
	口数	N= 7 口	=	7	7 口
さや管内挿入工	さや管HPφ1100-挿入管PN形φ900				
	延長	L= 23.160 m	=	23.160	23.16 m
挿入設備工	PN形φ900				
	スパン数	N= 1 スパン	=	1	1 スパン
充填工	エアミルク				
	体積	$V= \pi/4 \times (1.100^2 - 0.914^2) \times 23.160$	=	6.814	6.81 m3
充填用管閉鎖 コンクリート	防護コンクリートにて計上。				

配水管工 数量集計表

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	区 分	合 計	摘 要
配水管工 国道163号区間								
	(材 料)							
▶	ダクタイル鋳鉄管 直管		φ 900×L6000	本			2	
	NS形 S種							
	ダクタイル鋳鉄管 直管		φ 900×L6000 切管用	本			2	
	NS形 S種							
	ダクタイル鋳鉄管 曲管		φ 900	本			2	
	90° NS形							
	ダクタイル鋳鉄管 曲管		φ 900	本			3	
	11° 1/4 NS形							
	ダクタイル鋳鉄管 両受曲管		φ 900	個			1	
	90° NS形							
	ダクタイル鋳鉄管 F付T字管		φ 900×φ 100 空気弁用	本			1	
	NS形							
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ		φ 900	個			4	
	NS形							
	ダクタイル鋳鉄管 切管用挿口リング		φ 900 リベットタイプ	個			2	
	NS形							
	急速空気弁		φ 100	基			1	
	補修弁		φ 100 H=200	基			1	
	両フランジ短管		φ 100	個			1	
	フランジ接合材		φ 100	組			2	
	空気弁BOX							
	空気弁 篋		D 35×55 H=200	個			1	
	空気弁ブロック		B-20 35×55 H=200	個			2	
	空気弁ブロック		C-20 35×55 H=200	個			1	
	空気弁スラブ		90 H=80	組			1	
	管表示テープ 埋設タイプ		150mm	m			71.4	

配水管工 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	管明示テープ 年号入り	50mm	m		23.8	
	メーカー MK-IW		本		3.00	
	(管路土工)					
	掘削	バックホウ	m3		154.5	
	埋戻し	再生砕石RC-40	m3		86.1	
	埋戻し	埋戻し用砂	m3		52.0	
	発生日処理		m3		154.5	
	(管布設工)					
▶	ダクタイトル 鋳鉄管据付工	φ 900 NS形	m		27.2	
	鋳鉄管継手接合 NS形	φ 900	口		7	
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 900	口		4	
	挿口加工 NS形	φ 900 リベットタイプ	口		2	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 900	口		2	
	鋳鉄管切断 NS形	φ 900	口		2	
	空気弁設置工	φ 100	基		1	
	フランジ継手接合	φ 100	口		2	
▶	ポリエチレンスリーブ被覆工	φ 900	m		24.9	
	管表示テープ 埋設タイプ	150mm	m		71.4	3条分
	管明示テープ 年号入り	50mm	m		23.8	

配水管工 数量集計表

3

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
▶	空気弁BOX設置工					
	空気弁管	D 35×55 H=200	個		1	
	中間ブロック	B-20 35×55 H=200	個		2	
	中間ブロック	C 35×55 H=200	個		1	
	スラブ	90 H=80	個		1	
▶						
	ケーシング撤去		箇所		1	
	ケーシング切断		m		5.8	立坑工(NO.2到達立坑)へ
	(土留工)					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m 両側分	m		23.17	
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3.50m 両側分	m		3.67	
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m 両側分	m		23.17	
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=3.50m 両側分	m		3.67	
	支保工設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート2段	m		26.84	調整長2000～2700(程度)
	軽量鋼矢板賃料	L=3.0m	式		1.00	
	軽量鋼矢板賃料	L=3.5m	式		1.00	
	支保材賃料	腹起し	式		1.00	
	支保材賃料	水圧式サポート	式		1.00	
	支保材賃料	水圧ポンプ	式		1.00	
(附帯工)						

配水管NS形φ900 土工数量表

国道163号区間

No.1

管 径	測 点	土工延長	土 被 り	掘削深	掘削幅	舗装切斷			舗装取壊し		舗装塊処分		掘 削	埋戻し①			埋戻し②		備 考
						厚	箇所数	切斷延長	幅	取壊し面積	体積	掘削土量	舗装厚	埋戻し高	埋戻し高	埋戻し砕石	埋戻し高	埋戻し用砂	
(mm)	No.	L (m)	Dp (m)	H (m)	W (m)	(m)	(箇所)	(m)	(m)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(m)	(m)	(m)	(m ³)	(m)	(m ³)	
900	+0.000											—既設500							TNO2到達立坑
	+0.955	0.955																	
	+0.955																		
	+2.705	1.750																	TNO2到達立坑
	+2.705																		
	+6.374	3.669	2.020	2.959	2.250	0.03	2	7.3	2.65	9.7	0.29	23.4	0.13	1.690	1.139	14.0	1.139	6.9	
	+6.374																		
	+22.605	16.231	1.710	2.649	2.250	0.03	2	32.5	2.65	43.0	1.29	92.1	0.13	1.380	1.139	50.4	1.139	30.4	
	+22.605																		
	+24.748	2.143	1.730	2.669	2.250	0.03	2	4.3	2.65	5.7	0.17	12.3	0.13	1.400	1.139	6.8	1.139	4.0	
再掘削																			
	3 箇所					0.03				12.7	0.39	26.7				14.9		10.7	
計																			
		22.043						44.1		71.1	2.14	154.5				86.1		52.0	
		24.748																	

[illegible]

測 点	区間延長	追加延長	実延長	追加延長	ダクタイル	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	フランジ	ポリエチレン	管明示	識別	管表示	備 考
	(平面) m	(平面) m	m	m	NS形 φ 900	継手接合 NS形 φ 900	継手接合 NS形 φ 900	挿口加工 NS形 φ 900	切断・溝切 NS形 φ 900	切断 NS形 φ 900	空気弁 設置 φ 100	鋳鉄管 据付 φ 100	フランジ 継手接合 φ 100	φ 900	巾15cm	幅50mm	m	個	m	
TNO2到達工	0.955	0.955	0.955	0.955	0.955	1														
TNO2到達工	0.000	0.955	2.360	3.315	2.360	2										1.045		1		
	5.419	6.374	5.487	8.802	5.487	1	1	1	1	1						5.487	5.419	1	5.419	
	16.231	22.605	16.231	25.033	16.231	2	3	1	1	1	1				2	16.231	16.231	1	16.231	
	2.143	24.748	2.180	27.213	2.180	1										2.180	2.143		2.143	
計	24.748	m	27.213	m	27.213	7	4	2	2	2			2			24.943	23.793 × 3 条	3	23.793	

[illegible]

土留工数量計算書

軽量鋼矢板建て込み工 国道163号区間

No.1

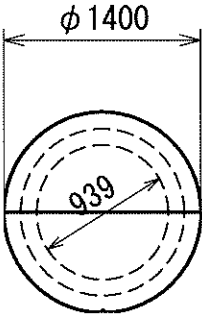
施工箇所	管 径	土工延長	掘削幅	掘削深	軽量鋼矢板					支 保 工			備 考	
					矢板長L					1段	2段	3段		
					2.00 (m)	2.50 (m)	3.00 (m)	3.50 (m)	4.00 (m)					H=2.0m以下 (m)
	(mm)	L (m)	W (m)	H(m)										
配水本管	φ 900	0.955												TNO2到達立坑
		1.750												TNO2到達立坑
		3.669	2.250	2.959				3.67			3.67			
		16.231	2.250	2.649			16.23				16.23			
		2.143	2.250	2.669			2.14				2.14			
再掘削	3 箇所	4.800	2.250	2.649			4.80				4.80			
合 計		26.843 29.548					23.17	3.67				26.84		

NS形 φ 900 仮舗装工数量表

国道163号区間

No.1

管 径		測 点	土工延長	掘削幅	国道車道												国道歩道						備 考
呼心径	外径				下層路盤工(t=12cm)			上層路盤工(t=10cm)			表層工・基層工(各t=5cm)			路盤工(t=10cm)			表層工(t=3cm)						
(mm)	(mm)	No.	L (m)	W (m)	影響幅 (m)	施工幅 (m)	面積 (m2)	影響幅 (m)	施工幅 (m)	面積 (m2)	影響幅 (m)	施工幅 (m)	面積 (m2)	影響幅 (m)	施工幅 (m)	面積 (m2)	影響幅 (m)	施工幅 (m)	面積 (m2)				
900	939	+0.000																			TNO2到達立坑		
		+0.955	0.955																			TNO2到達立坑	
		+0.955																					
		+2.705	1.750																				
		+2.705																					
		+6.374	3.669	2.250								0.20	2.65	9.7	0.20	2.65	2.65	9.7					
		+6.374																					
		+22.605	16.231	2.250								0.20	2.65	43.0	0.20	2.65	2.65	43.0					
		+22.605																					
		+24.748	2.143	2.250								0.20	2.65	5.7	0.20	2.65	2.65	5.7					
再掘削																							
		3 箇所	4.800	2.250								0.20	2.65	12.7	0.20	2.65	2.65	12.7					
計			26.843																				
			29.548																		71.1		

名 称	計 算 式			数 量
	ケーシング撤去工 計算書			(1箇所当り)
鋼製ケーシング 揺動圧入方式	立坑呼び径	鋼製ケーシング ϕ 3500mm		
ケーシング寸法	立坑内径	I.D.= ϕ 3546mm		
	立坑外径	O.D.= ϕ 3590mm		
(開削工施工時)				
ケーシング 撤去工	箇所数	N= 1 箇所	= 1	1 箇所
ケーシング切断	ケーシング切断長	L= 切断径 $\times \pi$ + 切断径 $\times 1$		
		L= $1.400 \times \pi + 1.400 \times 1$	= 5.798	5.8 m
スクラップ	質量 撤去部	W= $\pi/4 \times 1.400^2 \times 172.7\text{kg/m}^2$	= 0.266	0.266 t
切断図 				

本舗装工 数量集計表

1

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
附帯工						
	国道 歩道部					
	(舗装撤去工)本復旧					
	舗装版切断	As 厚=15cm以下	m		7.0	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cm以下	m ²		217.0	
	As塊運搬	As	m ³		6.51	
	駐車場					
	(舗装取壊し)					
	舗装版切断	As 厚=15cm以下	m		8.4	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cm以下	m ²		150.0	
	As塊運搬	As	m ³		7.50	
	国道 車道部					
	(舗装復旧工)本復旧					
	切削オーバーレイ工	平均厚t=5cm 密粒度アスコン(20)	m ²		210.0	
	穀運搬(路面切削)		m ³		10.5	
	(舗装復旧工)					
	不陸整正	補足材2cm 再生砕石RC-40	m ²		217.0	
	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m ²		217.0	

名 称	計 算 式				数 量
	国道163号区間 本舗装工 数量計算書-1				(1式当り)
道路種別	国道163号				
(舗装工)	車道部				
切削オーバーレイ工	施工厚さ	平均厚さ t= 5 cm	密粒度アスコン(20)		
	面積	A= 210.00 m2	図面参照	= 210.000	210.0 m2
殻運搬(路面切削)		V=210×0.05		= 10.5	10.50 m3
建設廃棄物受入れ料金		V=210×0.05		= 10.5	10.50 m3
(舗装取壊し)	As 厚=15cm以下				
アスファルト切斷工	延長	L= 3.50+3.50		= 7.000	7.0 m
アスファルト舗装版取壊し	面積	A= 217.00 m2	図面参照	= 217.000	217.0 m2
アスファルト舗装塊処分	As 厚=3cm 体積	V= 217.00×0.03		= 6.510	6.51 m3
(舗装工)	補足材 2cm 再生碎石RC-40				
不陸整正	面積	A= 217.00 m2	図面参照	= 217.000	217.0 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm				
	面積	A= 217.00 m2	図面参照	= 217.000	217.0 m2
(区画線復旧)	中央線 白色破線W=15cm				
区画線設置	塗布延長	L= 63.00×1/2		= 31.500	31.5 m
区画線設置	外側線 白色実線W=15cm				
	塗布延長	L= 62.00		= 62.000	62.0 m

名 称	計 算 式	数 量
	駐車場舗装工 数量計算書-1	(1式当り)
駐車場舗装		
(舗装取壊し)		
アスファルト 切断工	As 厚=15cm以下 延長 $L= 8.40$ $= 8.400$	8.4 m
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 面積 $A= 150.00 \text{ m}^2$ 図面参照 $= 150.000$	150.0 m ²
アスファルト 舗装塊処分	As 厚=5cm 体積 $V= 150.00 \times 0.05$ $= 7.500$	7.50 m ³
(舗装工)		
不陸整正	補足材 3cm 再生碎石RC-40 面積 $A= 150.00 \text{ m}^2$ 図面参照 $= 150.000$	150.0 m ²
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm 面積 $A= 150.00 \text{ m}^2$ 図面参照 $= 150.000$	150.0 m ²

1

[illegible]

名 称	計 算 式	単位当り数量	数 量
	歩車道境界ブロック(セパ) 撤去・復旧 数量計算書	(10.0m当り)	(1式当り)
施工延長	延長 $L = 62.00 \text{ m}$ = 62.00		62.0 m
(取壊し工) 舗装切断工	As厚=15cm以下 国道歩道 延長 $L = 10.00$ = 10.000	10.00 m	62.0 m
舗装取壊し	As厚=15cm以下 国道歩道 面積 $A = 0.20 \times 10.00$ = 2.000	2.00 m ²	12.4 m ²
舗装塊処分	As 国道歩道 体積 $V = 2.00 \times 0.03$ = 0.060	0.06 m ³	0.37 m ³
歩車道境界 ブロック(セパ) 撤去	H-200 L=2265 撤去延長 $L = 10.00$ = 10.0	10.0 m	62.0 m
埋戻し	再生砕石RC-40 工事中 体積 $V = 1/2 \times (0.72 + 0.57) \times 0.29 \times 10.00$ = 1.871	1.87 m ³	11.6 m ³
(復旧工) 歩車道境界 ブロック(セパ)	H-200 L=2265 個数 $N = 10.00 / 2.271$ = 4.4	4.4 個	27.3 個
敷モルタル	1:3 体積 $V = 0.520 \times 0.02 \times 10.00$ = 0.104	0.10 m ³	0.62 m ³
基礎材	切込砕石RC-40 t=10cm 面積 $A = 0.570 \times 10.00$ = 5.700	5.70 m ²	35.3 m ²
機械掘削	体積 $V = 1/2 \times (0.72 + 0.57) \times 0.29 \times 10.00$ = 1.871	1.87 m ³	11.6 m ³

名 称	計 算 式			単位当り数量	数 量
	歩車道境界ブロック 撤去・復旧 数量計算書			(10.0m当り)	(1式当り)
施工延長	延長	$L = 18.00 \text{ m}$	$= 18.00$		18.0 m
(取壊し工) 歩車道境界 ブロック撤去	B種片面 L=600 撤去延長	$L = 10.00$	$= 10.0$	10.0 m	18.0 m
(復旧工) 歩車道境界 ブロック	B種片面 L=600 個数	$N = 10.00 / 0.605$	$= 16.5$	16.5 個	29.7 個
敷モルタル	1:3 体積	$V = 0.305 \times 0.01 \times 10.00$	$= 0.031$	0.03 m3	0.05 m3
コンクリート	18-8-25BB 体積	$V = 0.305 \times 0.11 \times 10.00$	$= 0.336$	0.34 m3	0.61 m3
型 枠	無筋 面積	$A = 0.11 \times 2 \times 10.00$	$= 2.200$	2.20 m2	3.96 m2
基礎材	切込碎石RC-40 t=10cm 面積	$A = 0.405 \times 10.00$	$= 4.050$	4.05 m2	7.3 m2
基面整正	人力 面積	$A = 0.405 \times 10.00$	$= 4.050$	4.05 m2	7.3 m2

名 称	計 算 式	単位当り数量	数 量
	U型水路工 撤去・復旧 数量計算書	(10.0m当り)	(1式当り)
施工延長	延長 L= 2.00 m = 2.00		2.0 m
(取壊し工) NSフリューム 撤去	B600×H500 L=2000 撤去延長 L= 10.00 = 10.0	10.0 m	2.0 m
(復旧工) NSフリューム	B600×H500 L=2000 個数 N= 10.00/2.000 = 5.0	5.0 個	1.0 個
敷モルタル	1:3 体積 V= 0.69×0.02×10.00 = 0.138	0.14 m3	0.03 m3
基礎材	切込碎石RC-40 t=10cm 面積 A= 0.830×10.00 = 8.300	8.30 m2	1.7 m2
基面整正	人力 面積 A= 0.830×10.00 = 8.300	8.30 m2	1.7 m2

名 称	計 算 式	数 量
	ガードパイプP種 撤去・復旧 数量計算書	(1式当り)
ガードパイプ 撤去・復旧	P種 土中用 施工延長 L= 18.00 m = 18.000	18.0 m
ガードパイプ 撤去・復旧	P種 コンクリート建込用 施工延長 L= 2.00 m = 2.000	2.0 m
スクラップ	= 0.09	0.09 t

配水管工 数量集計表

1

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分		合 計	摘 要
配水管工	IP25～IP29 開削工			その1	その2		
	(材 料)						
	ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 S種	φ 900×L6000	本	18	17	35	
	ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 S種	φ 900×L6000 切管用	本	1	1	2	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 45° NS形	φ 900	本		1	1	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 22° 1/2 NS形	φ 900	本	5		5	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 11° 1/4 NS形	φ 900	本	2	1	3	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 5° 5/8 NS形	φ 900	本		1	1	
	ダクタイル鋳鉄管 継ぎ輪 NS形	φ 900	本	1	1	2	
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ NS形	φ 900	個	4	5	9	
	ダクタイル鋳鉄管 切管用 挿口リング NS形	φ 900 リベットタイプ	個	2	2	4	
	管表示テープ 埋設タイプ	150mm	m	370.71	341.23	711.9	
	管表示テープ 年号入り	50mm	m	123.57	113.74	237.3	
	マーカ― MK-1W		本	5.00	1.00	6.0	
	(開削土工)						
	アスファルト舗装切断	As厚=15cm以下	m	汚水管布設替えにて計上			
	アスファルト舗装取壊し	As厚=15cm以下	m2	汚水管布設替えにて計上			
	アスファルト塊処分 (管路土工)	As	m3	汚水管布設替えにて計上			
	掘 削	バックホウ	m3	612.7	392.0	1004.7	

配水管工 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	埋戻し	再生砕石RC-40	その1	m3 338.1	338.1	
	埋戻し	購入土	その2	m3 138.9	138.9	
	埋戻し	埋戻し用砂		m3 189.0	174.1	363.1
	発生日処理 (道路土工)			m3 612.7	392.0	1004.7
	耕土・溝畔除去	自由処分	掘削+残土処分	m3 65.6	65.6	
	管理道路盛土	購入土	CBR6以上	m3 211.2	211.2	
	盛土法面整形 (管布設工)			m2 135.1	135.1	
▶	ダクト用鉄管据付工	φ 900 NS形		m 123.8	113.7	237.5
	鉄管継手接合 NS形	φ 900		□ 24	18	42
	鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 900		□ 4	5	9
	挿口加工 NS形	φ 900	リベットタイプ	□ 2	2	4
	鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 900		□ 2	2	4
	鉄管切断	φ 900		□ 2	2	4
	受口用栓取外し NS形	φ 900		□ 1	1	1
▶	ポリエチレンスリーブ被覆	φ 900		m 123.8	113.7	237.5
	管表示テープ 埋設タイプ	150mm		m 370.71	341.23	711.9
	管表示テープ 年号入り	50mm		m 123.57	113.74	237.3

No.1

140

(107)

IP25付近～IP27

DIP $\phi 900\text{mm}$ 勞務表

測 点	区間延長	追加延長	実延長	追加延長	ダクタイル	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	鋳鉄管	受口用				ポリエチレン	埋設標識	識別	管表示	備 考
	(平面)	(平面)	m	m	NS形 φ900	継手接合 NS形 φ900	継手接合 NS形ライナ φ900	継手接合 継ぎ輪用 φ900	挿口加工 NS形 φ900	切断・溝切 NS形 φ900	栓取外し φ900				スリーブ被覆 φ900	テープ 巾15cm	マーカ―	テープ 幅50mm		
(その1) NO.46 +23.63																				
	7.040	7.040	7.040	7.040	7.040	1	1				1				7.040	7.040		7.040		
	7.160	14.200	7.348	14.388	7.348	6			1	1					7.348	7.160	4	7.160		
	12.000	26.200	12.000	26.388	12.000	2	1		1	1					12.000	12.000		12.000		
	84.000	110.200	84.000	110.388	84.000	14									84.000	84.000		84.000		
IP.27.	13.370	123.570	13.370	123.758	13.370	1	2								13.370	13.370	1	13.370		
計	123.570	m	123.758	m	123.758	24	4		2	2	1				123.758	123.570 × 3 条	5	123.57		

土留工数量計算書

No.1

(その1)

IP25付近～IP27

軽量鋼矢板建て込み工

施工箇所	管 径	土工延長	掘削幅	掘削深	軽量鋼矢板					支 保 工			備 考	
					矢板長L					1段	2段	3段		
					2.00 (m)	2.50 (m)	3.00 (m)	3.50 (m)	4.00 (m)					H=2.0m以下 (m)
	(mm)	L (m)	W (m)	H(m)										
(その1)	φ 900	8.270	1.950	2.489			8.27					8.27		
		4.700	1.950	2.950				4.70				4.70		
		13.400	1.950	2.419			13.40					13.40		
		50.000	1.950	2.489			50.00					50.00		
		47.300	1.950	2.599			47.30					47.30		
合 計		123.670					118.97	4.70				123.67		

IP27～IP29付近 (その2)

No.1

[illegible]

1

145

土工計算書

2

測点	距離(m)	管理道路						摘　要
		盛土法面整形						
		断面積(m)	平均断面(m)	面積(m ²)	断面積(m)	平均断面(m)	面積(m ²)	
NO.49-0.80	0.00	0.0	—	—				
NO.49	0.80	2.0	1.00	0.8				
IP.28	12.57	1.0	1.50	18.9				
NO.50	37.43	1.2	1.10	41.2				
NO.51	50.00	1.3	1.25	62.5				
NO.51+9.00	9.00	1.3	1.30	11.7				
合　計	109.80	—	—	135.1				

DIP φ 900mm 材料表 IP27~IP29付近 (その2)

測 点	区間延長 (平面)		追加延長 (平面)		実延長	追加延長	直 管 NS形 φ900 (6,000)	切 管 NS形 φ900				曲 管 NS形						継ぎ輪 NS形 φ900 (0.305)	ライナ NS形 φ900 (0.070)	切管用 挿口リング NS形 φ900 タイプ	継ぎ輪用 特殊鋼輪 NS形 φ900	接合材 NS形 φ900	備 考			
	m	m	m	m				甲切	甲切 乙切	乙切	90° φ900 (2,360)	45° φ900 (1,340)	22° φ900			5° φ900 (1,225)	45° φ900 (0.890)							NS形 φ900		(0.510)
													1/2	1/4	5/8									1/2	1/4	
(その2)																										
IP-27	13,972	13,972	13,972	13,972	13,972		1 6,000	1 5,012		1 1,340	1 0.255	1 0.970	1 1,225	1 1,225			2 0.140	1 0.305	2 0.070	1						
	15,631	29,603	29,603	15,631	29,603		2 12,000	2,286																		
	72,000	101,603	72,000	101,603	101,603		12 72,000																			
	12,140	113,743	12,140	113,743	113,743		2 12,000										2 0.140									
IP-29	2,143	115,886		2,180	115,923		その3にて計上																			
計	115,886	m	m	m	m (本数)→	17	102,000	5,012	2,286	1	1,340	1,225	1,225			1	0.305	5	2							

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	ダクタイル 鋳鉄管部付 NS形 φ900	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ900	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ900	鋳鉄管 継手接合 継ぎ輪用 φ900	鋳鉄管 挿口加工 NS形 φ900	鋳鉄管 切断・溝切 NS形 φ900								ポリエチレン スリーブ埋設 φ900	埋設標識 テープ 巾15cm	識別 マーカ―	管表示 テープ 幅50mm	備 考
	m	m	m	m	m	□	□	□	□	□								m	m	個	m	
(その2)																						
IP-27	13.972	13.972	13.972	13.972	13.972	3	2		1	1								13.972	13.972	1	13.972	
	15.631	29.603	15.631	29.603	15.631	3	1		1	1								15.631	15.631		15.631	
	72.000	101.603	72.000	101.603	72.000	12												72.000	72.000		72.000	
	12.140	113.743	12.140	113.743	12.140		2											12.140	12.140		12.140	
IP-29	2.143	115.886	2.180	115.923	その3にて計上																	
計	115.886	m	m	m	113.743	18	5		2	2								113.743	113.743	1	113.74	
				(本数)→															113.743	341.229		
				115.923	(延長)→														× 3 条			

土留工数量計算書

No.1

(その2)

IP27~IP29付近

軽量鋼矢板建て込み工

施工箇所	管 径 (mm)	土工延長 L (m)	掘削幅 W (m)	土留深さ H(m)	軽量鋼矢板 矢板長L						支 保 工			備 考
											1段	2段	3段	
					2.00 (m)	2.50 (m)	3.00 (m)	3.50 (m)	4.00 (m)	H=2.0m以下 (m)	H=3.5m以下 (m)	H=4.0m未満 (m)		
(その2)	φ 900	15.270	1.950	2.139	15.27							15.27		
		37.430	1.950	2.139	37.43							37.43		
		50.000	1.950	2.139	50.00							50.00		
		11.277	1.950	2.139	11.28							11.28		
		2.143	1.950	2.669	その3にて計上									
合 計		116.120			113.98							113.98		

名 称	計 算 式				数 量
	敷鉄板設置・撤去工 数量計算書				(1式当り)
(仮設工)					
敷鉄板賃料	22×1524×3048 枚数	4.65 m ² /枚 N= 75 枚	802 kg/枚	= 75	75 枚
敷鉄板 設置・撤去工	22×1524×3048 面積	A= 75 枚× 4.65 m ² /枚		= 348.750	349 m ²
搬入・搬出 質量	22×1524×3048 質量	A= 75 枚× 802 kg枚		= 60150	60150 kg

1

[illegible]

名 称	計 算 式						数 量
	本舗装工 数量計算書						(1式当り)
舗装復旧	IP.25～IP.27 車道						
舗装面積	面積	IP.25～IP.26	A= 46.4 m2	図面参照	=	46.4	
		IP.26～No.47	A= 27.4 m2	図面参照	=	27.4	
		No.47～No.48	A= 99.6 m2	図面参照	=	99.6	
		No.48～IP.27	A= 93.1 m2	図面参照	=	93.1	
		IP.27～+7.3	A= 13.6 m2	図面参照	=	13.6	
		+8.1～+16.0	A= 14.4 m2	図面参照	=	14.4	
					計	=	294.5
(土工)							
路盤掘削	バックホウ						
	体積	A= 294.50×厚さ 0.25			=	73.625	73.6 m3
残土処分							
	体積	A= 73.625 m3			=	73.625	73.6 m3
(舗装工)							
不陸整正	補足材 なし						
	面積	A= 294.50 m2			=	294.500	294.5 m2
上層路盤工	再生碎石RC-40 t=20cm						
	面積	A= 294.50 m2			=	294.500	294.5 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm						
	面積	A= 294.50 m2			=	294.500	294.5 m2
路盤工	NO.49-0.8～NO.51+9.0						
	延長	L= 109.80 m					
	再生碎石RC-40 t=10cm		W=2.50m				
	面積	A= 109.80×2.50			=	274.500	274.5 m2

切回し移設配水管工 数量集計表

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
配水管工				本 管	排水工	漏水防止		
	本管 (材料)							
▶	ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 S種	φ 500×L6000	本				3	
	ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 S種	φ 500×L6000 切管用	本				5	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 45° NS形	φ 500	本				4	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 22° 1/2 NS形	φ 500	本				2	
	ダクタイル鋳鉄管 両受曲管 22° 1/2 NS形	φ 500	個				2	
	ダクタイル鋳鉄管 排水T字管 NS形	φ 500×φ 200 形式2	本				1	
	ダクタイル鋳鉄管 継ぎ輪 NS形	φ 500	本				1	接合部品は別途計上
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ NS形	φ 500	個				8	
	ダクタイル鋳鉄管 切管用 挿口リング NS形	φ 500 リベットタイプ	個				8	
	ダクタイル鋳鉄管 継ぎ輪用特殊割挿輪 NS形	φ 500	組				2	
	不斷水切替弁 ダクタイル鋳鉄管 メカ形帽 K形	φ 500×φ 500 (NS挿口)	基				2	
	ダクタイル鋳鉄管 特殊挿輪 K形	φ 500	個				2	
	漏水防止金具 ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 1種	φ 500 FCD	組				2	
▶	ダクタイル鋳鉄管 曲管 22° 1/2 NS形	φ 200×L5000 切管用	本				1	
	ダクタイル鋳鉄管 短管2号 NS形	φ 200	本				1	
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ NS形	φ 200	個				1	

切回し移設配水管工 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
	ダクタイル鋳鉄管 切管用 挿口リング NS形	φ 200 タップピンねじタイプ	個				2	
	ダクタイル鋳鉄管 接合材 NS形	φ 200	組				3	
	ソフトシール弁	φ 200 NS形(両受形)	基				1	
	片F短管鋼管	200A×L1300	本				1	
	両Fエールボ鋼管	200A	個				2	
	フランジ接合材	200A	組				3	
	仕切弁BOX							
	仕切弁筐	D32 H=200	組				1	
	仕切弁中間Cブロック	32C15凹 H=150	個				1	
	仕切弁最下段Cブロック	45C H=300	個				1	
	仕切弁スラブ	100 H=85	組				1	
	管表示テープ 埋設タイプ	150mm	m	80.45	4.25		84.7	
	管明示テープ 年号入り	50mm	m	40.23	4.25		44.5	
	マーカ― MK-1W		本	9			9.0	
	(管路土工)					2箇所		
	機械掘削	バックホウ	m3	92.5	3.2	4.2	99.9	
	人力掘削	人力	m3			4.5	4.5	
	埋戻し	再生砕石RC-40	m3	45.5	1.7	4.2	51.4	
	埋戻し	埋戻し用砂	m3	31.8	1.0	4.1	36.9	

切回し移設配水管工 数量集計表

3

工 種	種 別 細 別	規 格	単位	数 量 区 分			合 計	摘 要
	発生土処理		m3	92.5	3.2	8.7	104.4	
	本管 (管布設工)							
▶	ダクタイトル鋳鉄管据付工	φ 500 NS形	m				40.2	
	鋳鉄管継手接合 NS形	φ 500	□				12	
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 500	□				8	
	鋳鉄管継手接合 NS形 継ぎ輪用特殊割押輪	φ 500	□				2	
	挿口加工 NS形	φ 500 リベットタイプ	□				8	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 500	□				8	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 500	□				8	
	不断水分歧工	φ 500 × φ 500 (NS挿口)	基				2	
	鋳鉄管継手接合 K形 特殊押輪	φ 500	□				2	
	既設管切断 K形	φ 500	□				2	
	メカニカル継手	φ 500 FCD	□				2	
▶	ダクタイトル鋳鉄管据付工	φ 200 NS形	m				3.9	
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 200	□				1	
	鋳鉄管継手接合 NS形 異形管	φ 200	□				4	
	挿口加工 NS形	φ 200 タップピンねじタイプ	□				2	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 200	□				2	
	仕切弁設置工	φ 200 NS形	基				1	

切回し移設配水管工 数量集計表

4

工 種	種 別	種 別	規 格	単 位	数 量 区 分		合 計	摘 要
	鋼管据付		200A	m			2.5	
	フランジ継手接合		200A	口			3	
	仕切弁BOX							
	仕切弁筐		D32 H=200	組			1	
	中間Cブロック		32C15凹 H=150	個			1	
	最下段Cブロック		45C H=300	個			1	
	スラブ		100 H=85	個			1	
▲	ポリエチレンスリーブ被覆		φ 500	m	40.23		40.23	
▲	ポリエチレンスリーブ被覆		φ 200	m		4.61	4.61	
	管表示テープ 埋設タイプ		150mm	m	2条分 80.45	1条分 4.25	84.70	
	管明示テープ 年号入り		50mm	m	40.23	4.25	44.5	
	(土留工)							
	軽量鋼矢板建込工		Ⅲ型 巾333mm L=2.00m 両側分	m	40.26		40.26	
	軽量鋼矢板建込工		Ⅲ型 巾333mm L=2.50m 両側分	m		6.40	6.40	
	軽量鋼矢板建込工		Ⅲ型 巾333mm L=3.00m 両側分	m	6.90		6.90	
	軽量鋼矢板引抜工		Ⅲ型 巾333mm L=2.00m 両側分	m	40.26		40.26	
	軽量鋼矢板引抜工		Ⅲ型 巾333mm L=2.50m 両側分	m		6.40	6.40	
	軽量鋼矢板引抜工		Ⅲ型 巾333mm L=3.00m 両側分	m	6.90		6.90	
	支保工設置・撤去		軽量金属支保+水圧式サポート1段	m	40.26		40.26	調整長1100~1800(程度)
	支保工設置・撤去		軽量金属支保+水圧式サポート2段	m	6.90	6.40	13.30	調整長1100~1800(程度)

切回し移設配水管工 数量集計表

5

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
(附帯工)(切回部)								
	舗装撤去工							
	舗装版切断	As厚=15cm以下 国道歩道	m	7.7	16.0		23.7	
	舗装版切断	As厚=15cmを超え30cm以下 国道車道	m	75.7			77.5	
	アスファルト舗装取壊し	As厚=15cm以下 国道歩道	m2	4.4	7.7		12.1	
	アスファルト舗装取壊し	As厚=15cmを超え30cm以下 国道車道	m2	84.8			86.0	
	As塊運搬	As	m3	16.98	0.24		17.22	
	As塊運搬	As	m3	0.37			0.37	
	国道車道	N6交通						
	下層路盤工	再生砕石RC-40 t=12cm	m2	56.7	0.7		57.4	
(仮舗装工)	上層路盤工	再生瀝青安定処理(30) t=10cm	m2	84.8	1.2		86.0	
	基層工	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	m2	84.8	1.2		86.0	
	表層工	密粒度アスコン(20) t=5cm	m2	84.8	1.2		86.0	
	国道歩道							
	路盤工	再生砕石RC-40 t=10cm	m2		4.4	7.7	12.1	
	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m2		4.4	7.7	12.1	

管 径	測 点	土工延長	土被り	掘削深	掘削幅	鋪装切斷		鋪装取壊し		鋪装塊処分	掘 削	埋戻し①			埋戻し用砂②			備 考
						厚	箇所数	切斷延長	幅			取壊し面積	掘削土量	鋪装厚	埋戻し高	埋戻し碎石	埋戻し高	
呼び径	No.	L (m)	Dp (m)	H (m)	W (m)	(m)	(箇所)	(m)	(m)	(m2)	(m3)	(m)	(m)	(m3)	(m)	(m3)		
500																	TN03不斷水立坑	
		+0.000																
	528	+1.800	1.800	1.200														
		+1.800																
		+3.530	1.730	1.200	1.728	1.200	2	3.5	1.80	3.1	0.62	3.2	0.32	0.680	1.4	0.728		1.1
		+3.530															伏せ越し	
		+12.614	9.084	1.200	1.728	1.200	2	18.2	1.80	16.4	3.28	16.7	0.32	0.680	7.4	0.728		5.9
		+12.614																
		+19.510	6.896	2.040	2.568	1.200	2	13.8	1.80	12.4	2.48	19.6	0.32	1.520	12.6	0.728		4.5
		+38.482	18.972	1.200	1.728	1.200	2	37.9	1.80	34.1	6.82	34.8	0.32	0.680	15.5	0.728		12.4
		+38.482															TN03不斷水立坑	
		+39.652	1.170	1.200	1.728	1.200	2	2.3	1.80	2.1	0.42	2.1	0.32	0.680	1.0	0.728		0.8
		+39.652																
		+41.452	1.800	1.200														
再掘削																	別紙計算書	
		6 箇所							16.7	3.36	16.1				7.6			7.1
計																		
			41.452						75.7		84.8	16.98				45.5		

DIP φ 500mm 材料表

切回し移設配水管

No.1

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	直 管 NS形 φ 500 (6.000)	切 管 NS形 φ 500				曲 管 NS形				面受曲管 NS形		空気弁用 F付T字管 NS形 φ 500×φ 75 φ 500×φ 200	排水 T字管 NS形 φ 500	継ぎ輪 NS形 φ 500	ライナ NS形 φ 500	切管用 挿口リング NS形 φ 500	備 考
						甲切	乙切	甲切	乙切	90° φ 500 (1.360)	45° φ 500 (0.795)	22° φ 500 (0.785)	11° φ 500 (0.785)	5° φ 500 (0.785)	45° φ 500 (0.550)	22° φ 500 (0.340)					
不排水分岐	3.530	3.530	3.530	3.530	1	1.845		1			0.837								1	1	
					1	1		1			1								0.068	0.068	
伏せ越し	9.084	12.614	9.084	12.614	6.000	1.896		1			1.082	0.170							2	1	
						1		1				2				2			0.136	0.136	
不排水分岐	6.896	19.510	7.230	19.844		1.342	2.500	1.855				0.785				0.680			1	3	
					2														0.068	0.068	
不排水分岐	18.972	38.482	18.972	38.816	12.000	1	2.500	1.751			1.082	0.615					1	1	3	2	
						1					1						0.560	0.260	0.204	1	
不排水分岐	2.970	41.452	2.970	41.786		1.285					0.837								1	1	
																			0.068	0.068	
計	41.452				3	4	1				4	2				2	1	1	8	8	
					18.000	6.168	2.500	4.251	1.855		3.838	1.570				0.680	0.560	0.260	0.544		

[illegible]

土留工数量計算書

No.1

軽量鋼矢板建て込み工

施工箇所	管 径 (mm)	土工延長 L (m)	掘削幅 W (m)	掘削深 H(m)	軽量鋼矢板 矢板長L						支 保 工			備 考		
					2.00 (m)	2.50 (m)	3.00 (m)	3.50 (m)	4.00 (m)	1段			2段		3段 H=4.0m未満 (m)	
										H=2.0m以下 (m)	H=3.5m以下 (m)	H=4.0m未満 (m)				
切回し配水管	φ 500	1.800													TNO3不断水立坑	
		1.730	1.200	1.728	1.73						1.73					
		9.084	1.200	1.728	9.08						9.08					
		6.896	1.200	2.568			6.90					6.90			伏せ越し	
		18.972	1.200	1.728	18.97						18.97					
		1.170	1.200	1.728	1.17						1.17					
		1.800													TNO4不断水立坑	
再掘削	6箇所	9.300	1.200	1.728	9.30						9.30					
合 計		50.752			40.26		6.90				40.26		6.90			

[illegible]

DIP ϕ 200mm 材料表 排水工

排水工

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	直 管 NS形 φ 200	切 管 NS形 φ 200	曲 管 22° 1/2 φ 200	2号短管 NS形 φ 200	ライナ NS形 φ 200	切管用 楕ロリング NS形 φ 200	接合材 NS形 φ 200	ソフトシール 弁 NS形 φ 200	片F短管 鋼管 200A×L	両Fエルボ 鋼管 200A	フランジ 接合材 200A	備 考
	m	m	m	m	(5,000)	甲切 乙切	(0.450)	CF (0.400)	(0.041)	タッピン ねじタイプ		(0.300)				(有効長)
排水工	1.500	1.500	1.558	1.558		1.058	1			1						
	2.650	4.150	2.650	4.208		1.609	0.300	1 0.400	1 0.041	1	3	1 0.300				
	1.900	6.050	2.500	6.708									1 1.300	2 1.200	3	
計	m 6.050	m 6.050	m 6.708	m (本数)→ 6.708 (延長)→		1 1.609	1 0.450	1 0.400	1 0.041	2	3	1 0.300	1 1.300	2 1.200	3	

DIP φ 200mm 労務表 排水工

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	ダクタイル 鋳鉄管継付 NS形 φ 200	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ 200	鋳鉄管 継手接合 NS形ライナ φ 200	鋳鉄管 継手接合 NS形異形管 φ 200	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ 200	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ 200	鋳鉄管 切断・溝切 NS形 φ 200	仕切弁 設置工 NS形 φ 200	鋼管 据付 200A	フランジ 継手接合 200A	ポリエチレン スリーブ被覆 φ 200	埋設標識 テープ 巾15cm	識別 マーク	管表示 テープ 幅50mm	備 考
	m	m	m	m	m	□	□	□	□	□	□	基	m	□	m	m	個	m	
排水工	1.500	1.500	1.558	1.558	1.558		2	1	1	1	1				1.558	1.500		1.500	
	2.650	4.150	2.650	4.208	2.350		1	2	1	1	1	1			3.050	2.750		2.750	
	1.900	6.050	2.500	6.708									2.500	3					
計	m 6.050	m m (本数)→ 6.708 (延長)→	m 6.708 (延長)→	m 3.908			1	4	2	2	2	1	2.500	3	4.608	4.250 × 1 条 4.250		4.250	

土留工数量計算書

No.1

軽量鋼矢板建て込み工

施工箇所	管 径	土工延長	掘削幅	掘削深	軽量鋼矢板						支 保 工			備 考
					矢板長L						1段	2段	3段	
					2.00	2.50	3.00	3.50	4.00	H=2.0m以下				
	(mm)	L (m)	W (m)	H(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
排水工	φ 200	0.900	0.600	1.420										
		3.850	0.600	1.120										

名 称	計 算 式			箇所当り数量	数 量
	漏水防止金具取付 数量計算書 -1			(1箇所当り)	施工箇所数
呼び径	既設铸铁管	φ 500mm			2 箇所
施工寸法	掘削平面寸法	掘削幅1200 × 掘削延長2000			
	掘削深	掘削深= 土被り+管外径+継手掘り			
		H= 1.200+0.528+0.300 = 2.028 m			
(舗装取壊し)					
アスファルト 舗装切断	As厚=15cm以下	国道歩道			
	延長	L= (1.60+2.40)×2 = 8.000	8.00 m	16.0 m	
アスファルト 舗装取壊し	As厚=15cm以下				
	面積	A= 1.60×2.40 = 3.840	3.84 m2	7.7 m2	
アスファルト 塊処分	As	V= 3.840×0.03 = 0.115	0.12 m3	0.24 m3	
(土 工)					
機械掘削	BH	管天30cmまで			
	体積	V= 1.20×2.00×0.870 = 2.088	2.09 m3	4.2 m3	
人力掘削	人力				
	体積	V= 1.20×2.00×1.128 = 2.707			
	管控除	V= -π/4×0.528 ² ×2.00 = -0.438			
		計 = 2.269	2.27 m3	4.5 m3	
埋戻し①	再生碎石				
	体積	V= 1.20×2.00×0.870 = 2.088	2.09 m3	4.2 m3	
埋戻し②	埋戻し用砂	管天20cmまで			
	体積	V= 1.20×2.00×1.028 = 2.467			
	管控除	V= -π/4×0.528 ² ×2.000 = -0.438			
		計 = 2.029	2.03 m3	4.1 m3	
残土処分	体積	V= 2.088+2.269 = 4.357	4.36 m3	8.7 m3	
(材 料)					
漏水防止金具	FCD φ 500mm	N= 1 個 = 1	1 個	2 個	
(労 務)					
メカニカル継手	FCD φ 500mm	N= 1 口 = 1	1 口	2 口	
(土留工)					
軽量鋼矢板 建て込み工	Ⅱ型 巾250mm L=2.50m	両側分			
	延長	L= 2.00+1.20 = 3.200	3.20 m	6.40 m	
支保工 設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート 2段				
	延長	L= 2.00+1.20 = 3.200	3.20 m	6.40 m	

名 称	計 算 式	箇所当り数量	数 量
	漏水防止金具取付 数量計算書 -2	(1箇所当り)	施工箇所数 2 箇所
(仮舗装) 路盤工	舗装厚さH=130 国道歩道 再生碎石RC-40 t=10cm $A = 1.60 \times 2.40 = 3.840$	3.84 m2	7.7 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm $A = 1.60 \times 2.40 = 3.840$	3.84 m2	7.7 m2

不断水立坑工 数量集計表

工 種	種 別	種 別	規 格	単位	数 量 区 分		合 計	摘 要
					T-NO.3 不断水分岐工	T-NO.4 不断水分岐工		
不断水立坑工(切回部)(夜間)								
					φ 500	φ 500		
	(立坑土工)							
	立坑掘削		バックホウ0.6m3 覆工 H≤0.8m	m3	20.5	20.5	41.0	
	立坑掘削		バックホウ0.6m3 A領域 0.8m<H≤1.3m	m3	7.7	7.7	15.4	
	立坑掘削		バックホウ0.6m3 B領域 1.3m<H≤5.0m	m3	27.6	27.6	55.2	
	計			m3	55.8	55.8	111.6	
	埋戻し		再生砕石RC-40 最大埋戻幅 1m≤W1<4m	m3	17.2	17.2	34.4	
	埋戻し		埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1<1m	m3	22.2	22.2	44.4	
	発生土処理			m3	55.8	55.8	111.6	
	基面整正		人力	m2	15.4	15.4	30.8	
	基礎コンクリート		18-8-40BB	m3	3.84	3.84	7.68	
	基礎砕石		RC-40 t=15cm	m2	15.36	15.36	30.72	
	管防護コンクリート		18-8-40BB	m3	4.54	4.54	9.08	
	型 枠		無筋構造物	m2	11.12	11.12	22.24	
	差し筋		SD345 D16 L=800	kg	11.23	11.23	22.46	
	管固定コンクリート		18-8-40BB 2箇所分	m3	1.40	1.40	2.80	
	型 枠		無筋構造物 2箇所分	m2	8.98	8.98	17.96	
	差し筋		SD345 D16 L=800 2箇所分	kg	7.49	7.49	14.98	
	(立坑構築工)							

不断水立坑工 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	鋼矢板工法					
	(鋼矢板圧入・引抜き)					
	鋼矢板圧入工	SP-III型 L=6.00m 圧入長=5.50m Nmax≤25	枚	34	68	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=6.00m 引抜き長=5.50m	枚	31	62	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=1.70m 引抜き長=1.20m	枚	3	6	
	油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	圧入時 圧入(Nmax≤25)	回	1	2	
	油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	引抜き時	回	1	2	
				T-NO.3 不断水分歧工	T-NO.4 不断水分歧工	
	(横矢板設置・撤去)					
	横矢板設置工		m2	7.98	7.98	15.96
	横矢板撤去工		m2	7.98	7.98	15.96
	(支保工設置・撤去)					
	腹起し設置工		kg	1739	1739	3478
	腹起し撤去工		kg	1739	1739	3478
	(鋼矢板切断)					
	ガス切断工	鋼矢板III型	m	1.7	1.7	3.4
(仮設支持台)	(購入品)					
	仮設H形鋼	H-300×300×10×15	kg	837	837	1674
	支持台設置工		kg	837	837	1674
	支持台撤去工		kg	837	837	1674

不斷水立坑工 數量集計表

3

工 種	種 別 細 別	規 格	單位	數 量 区 分		合 計	摘 要
	(賃料) 普通鋼矢板	SP-III型 L=6.00m	枚	34	34	68	
		全質量	kg	12240	12240	24480	
		(内訳) 撤去數量 L	kg	11160	11160	22320	
		撤去數量 L1=スクラップ長未滿	kg	306	306	612	
	残置(購入)	残置數量 L2=スクラップ長未滿	kg	774	774	1548	
	(損料) 横矢板	松厚板 t=5cm	m3	0.40	0.40	0.80	
				T-NO.3 不斷水分歧工	T-NO.4 不斷水分歧工		
	(鋼製支保工)						
	(賃料) H形鋼 山留主部材 腹起し H-300×300×10×15		kg	1380	1380	2760	
	副部材(A)		kg	304	304	608	
	副部材(B)		kg	55	55	110	
	(機械据付・解体)						
	(基礎工)						
	(路面覆工)						
	(賃料) 覆工板	1000×2000×200 T-25 枚数	枚	12	12	24	
		面積	m2	24.00	24.00	48.00	
	覆工受桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15	kg	1548	1548	3096	
	桁受材	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15	kg	1146	1146	2292	

不断水立坑工 数量集計表

4

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分		合 計	摘 要
	(損料) ズレ止め材	溝形鋼 [-200×80×7.5×11]	kg	500	500	1000	
	(路面工設置・撤去) 覆工板・覆工板受桁 設置・撤去工	立坑 設置面積50m ² 以下	m ²	24.00	24.00	48.00	
	覆工板開閉工		回	16	16	32	別途計上
	路面すりつけ工		m	20.64	20.64	41.28	
(附帯工)				T-NO.3 不断水分歧工	T-NO.4 不断水分歧工		
	舗装撤去工						
	舗装版切断	As 厚=15cm以下 国道歩道	m	13.0	11.8	24.8	
	舗装版切断	As 厚=15cmを超え30cm以下 国道車道	m	6.6	7.8	14.4	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 国道歩道	m ²	20.9	17.4	38.3	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cmを超え30cm以下 国道車道	m ²	1.5	5.1	6.6	
	発生土処理	As	m ³	0.92	1.53	2.45	
	舗装復旧工						
	国道車道	N6交通					
	下層路盤工	再生砕石RC-40 t=12cm	m ²	1.5	5.1	6.6	
	上層路盤工	再生瀝青安定処理(30) t=10cm	m ²	1.5	5.1	6.6	
	基層工	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	m ²	1.5	5.1	6.6	
	表層工	密粒度アスコン(20) t=5cm	m ²	1.5	5.1	6.6	
	国道歩道						
	路盤工	再生砕石RC-40 t=10cm	m ²	20.9	17.4	38.3	
	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m ²	20.9	17.4	38.3	

名 称	計 算 式	数 量
(立坑土工)	T-NO.3不断水立坑工 数量計算書 -1	(1箇所当り)
立坑寸法	長さ × 幅 4800×3200 立坑深 H= 2.700m 掘削深 H= 3.100m 立坑面積 A= 4.80×3.20= 15.360m ² 覆工面積 A= 6.16×4.16= 25.626m ²	
(立坑掘削)		
立坑掘削	覆工 H≤0.8m バックホウ0.6m ³ A≤20m ² 掘削深 H= 0.80 = 0.800 m 体積 V= 25.626×0.800 = 20.501	20.5 m ³
立坑掘削	A領域 0.8m<H≤1.3m バックホウ0.6m ³ A≤20m ² 掘削深 H= 0.50 = 0.500 m 体積 V= 15.360×0.500 = 7.680	7.7 m ³
立坑掘削	B領域 1.3m<H≤5m バックホウ0.6m ³ A≤20m ² 掘削深 H= 3.100-1.300 = 1.800 m 体積 V= 15.360×1.800 = 27.648	27.6 m ³
	<u>立坑掘削土合計</u> V= 20.501+7.680+27.648 合計 = 55.829	55.8 m ³
(立坑埋戻し)		
埋戻し①	再生砕石RC-40 最大埋戻幅 1m≤W1<4m 埋戻高 H= 0.80- 舗装工0.13 = 0.670 m 体積 V= 25.626×0.670 = 17.169	17.2 m ³
埋戻し②	埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1<1m 埋戻高 H= 1.900 = 1.900 m 体積 V= 15.360×1.900 = 29.184 控除 防護コン V= -1.70×1.70×1.70 = -4.913 控除 固定コン V= -0.95×0.50×1.70×2 = -1.615 控除 配管 V= -π/4×0.528 ² ×2.100 = -0.460 計 = 22.196 m ³	22.2 m ³
(残土)		
残土処分	体積 掘削土 - 埋戻し発生土×土量換算係数C=1.11 V= 55.829-0.00×1.11 = 55.829	55.8 m ³

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.3不断水立坑工 数量計算書 -2	(1箇所当り)
(基面整正) 基面整正	人力 面積 $A = 15.360$ $= 15.360$	15.4 m2
(付帯工) アスファルト 切断工	As 厚=15cm以下 延長 $L = 6.16 + 3.40 \times 2$ $= 12.960$	13.0 m
アスファルト 切断工	As 厚=15cmを超え30cm以下 $L = 6.16 + 0.24 \times 2$ $= 6.640$	6.6 m
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 面積 $A = 6.16 \times 3.40$ $= 20.944$	20.9 m2
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cmを超え30cm以下 面積 $A = 6.16 \times 0.24$ $= 1.478$	1.5 m2
アスファルト 舗装塊処分	As歩道 $V = 20.944 \times 0.03$ $= 0.628$ As車道 $V = 1.478 \times 0.20$ $= 0.296$ 計 $= 0.924 \text{ m3}$	0.92 m3

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.3不斷水立坑工 数量計算書 -3	(1箇所当り)
鋼矢板土留工		
立坑寸法	長さ × 幅 4800×3200 立坑深 H= 2.700m	
(賃 料)		
普通鋼矢板	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m	
	延長 L= 4.80×2+1.20×2+0.80+2 = 13.60 m	
	枚数 N= 13.60÷0.40 = 34 枚	
全体数量	質量 W= 34枚×6.00×60.0kg/m = 12240 kg	12240 kg
[内訳]		
撤去数量	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m	
L	延長 L= 4.80+3.60+1.20×2+0.80+2 = 12.40 m	
	枚数 N= 12.40÷0.40 = 31 枚	
	質量 W= 31枚×6.00×60.0kg/m = 11160 kg	11160 kg
撤去数量	L1スクラップ長未満 L1=1.70m	
L1	延長 L= 1.20 = 1.20 m	
	枚数 N= 1.20÷0.40 = 3 枚	
	質量 W= 3枚×1.70×60.0kg/m = 306 kg	306 kg
残置数量	L2スクラップ長未満 L2=4.30m	
L2	延長 L= 1.20 = 1.20 m	
	枚数 N= 1.20÷0.40 = 3 枚	
	質量 W= 3枚×4.30×60.0kg/m = 774 kg	774 kg
(損 料)		
横矢板	松厚板 t=5cm	
	体積 V= 1.40×2.85×2×0.05 = 0.399	0.40 m3
(賃 料)		
鋼製支保工	H形鋼 山留主部材	
腹起し	H-300×300×10×15	
	延長 L= (4.55+2.35)×2 = 13.80 m	
	質量 W= 13.80×100.0kg/m = 1380 kg	1380 kg
	主部材計 ΣW= 1380 計 = 1380 kg	1380 kg
副部材(A)	質量 W= 1380×0.22 = 304 kg	304 kg
副部材(B)	質量 W= 1380×0.04 = 55 kg	55 kg
	支保工合計 ΣW= 1380+304+55 計 = 1739 kg	1739 kg

名 称	計 算 式				数 量
	T-NO.3不斷水立坑工 数量計算書 -4				(1箇所当り)
(鋼矢板圧入・引抜き)					
鋼矢板圧入工	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m 圧入長=5.50m $N_{max} \leq 25$				
	枚数 $N = 34$ 枚	=	34		34 枚
鋼矢板引抜き工	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m 引抜き長=5.50m				
	枚数 $N = 31$ 枚	=	31		31 枚
鋼矢板引抜き工	質量 L=1.70m 引抜き長=1.20m				
	枚数 $N = 3$ 枚	=	3		3 枚
(機械据付・解体)					
油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	圧入時 圧入($N_{max} \leq 25$)	=	1		1 回
油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	引抜き時	=	1		1 回
(鋼矢板切断)					
ガス切断工	鋼矢板Ⅲ型				
	箇所数 $N = 3$ 箇所 $(0.4 \times 3) + 0.5$	=	1.7		1.7 m
(横矢板設置・撤去)					
横矢板設置工	面積 $A = 1.40 \times 2.85 \times 2$	=	7.980		7.98 m ²
横矢板撤去工	面積 $A = 1.40 \times 2.85 \times 2$	=	7.980		7.98 m ²
(支保工設置・撤去)	支保工全質量				
腹起し設置工	質量 $W = 1739$ kg	=	1739 kg		1739 kg
腹起し撤去工	質量 $W = 1739$ kg	=	1739 kg		1739 kg
(基礎工)					
基礎コンクリート	18-8-40BB				
	体積 $V = 4.80 \times 3.20 \times 0.25$	=	3.840		3.84 m ³
基礎碎石	RC-40 t=15cm				
	面積 $A = 4.80 \times 3.20$	=	15.360		15.36 m ²
(仮設支持台)					
仮設H形鋼	H形鋼 (購入品)				
	H-300×300×10×15				
	延長 $L = 1.50 \times 6$	=	9.00 m		
	質量 $W = 9.00 \times 93.0$ kg/m	=	837 kg		837 kg
支持台設置工	質量 $W = 837$ kg	=	837 kg		837 kg
支持台撤去工	質量 $W = 837$ kg	=	837 kg		837 kg

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.3不断水立坑 路面覆工 数量計算書 -5	(1箇所当り)
路面覆工 覆工寸法 (賃 料) 覆工板	長さ × 幅 6000 × 4000 1000×2000×200 T-25 枚数 N= 12枚 = 12 面積 A= 1.00×2.00×12.00 = 24.00	12 枚 24.00 m2
覆工受桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 4.16×4 = 16.64 m 質量 W= 16.64×93.0kg/m = 1548	1548 kg
桁受材	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 6.16×2 = 12.32 m 質量 W= 12.32×93.0kg/m = 1146 桁材計 ΣW= 1548+1146 計 = 2694	1146 kg 2694 kg
ズレ止め材	溝形鋼 [-200×80×7.5×11 延長 L= (6.08+4.08)×2 = 20.32 m 質量 W= 20.32×24.6kg/m = 500	500 kg
(路面工設置・撤去) 覆工板・覆工板受桁 設置撤去工	立坑 設置面積50m ² 以下 面積 A= 6.00×4.00 = 24.00	24.00 m2
覆工板開閉工	立坑 設置面積50m ² 以下 面積 A= 6.00×4.00 = 24.00 回数 N= 回 別紙計算書参照 別途計上 16	24.00 m2 16 回
(路面工) 路面すりつけ工	延長 L= (6.16+4.16)×2 = 20.64 m	20.64 m

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.3管防護・管固定コンクリート 数量計算書 -6	(1箇所当り)
(防護工) 管防護 コンクリート	18-8-40BB 体積 $V = 1.70 \times 1.70 \times 1.70 = 4.913$ 控除 $\phi 500$ $V = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 1.70 = -0.372$ 計 = 4.541	4.54 m3
型 枠	無筋構造物 面積 $A = 1.70 \times 1.70 \times 4 = 11.560$ 控除 $\phi 500$ $A = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 2 = -0.438$ 計 = 11.122	11.12 m2
差し筋	SD345 D16 L=800 $W = 0.80 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.248 \text{kg/本}$ $N = 9 \text{本} = 9.000$ $9 \times 1.248 \text{kg/本} = 11.232$	9 本 11.23 kg
(管固定) 管固定 コンクリート	2箇所当り 18-8-40BB 体積 $V = 0.95 \times 0.50 \times 1.70 = 0.808$ 控除 $\phi 500$ $V = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 0.50 = -0.109$ 計 = 0.699	
	2箇所当り $V = 0.699 \times 2 \text{箇所} = 1.398$	1.40 m3
型 枠	無筋構造物 面積 $A = 0.95 \times 1.70 \times 2 = 3.230$ $A = 0.50 \times 1.70 \times 2 = 1.700$ 控除 $\phi 500$ $A = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 2 = -0.438$ 計 = 4.492	
	2箇所当り $A = 4.492 \times 2 \text{箇所} = 8.984$	8.98 m3
差し筋	SD345 D16 L=800 $W = 0.80 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.248 \text{kg/本}$ 2箇所当り $N = 3 \times 2 \text{箇所} = 6.000$ $6 \times 1.248 \text{kg/本} = 7.488$	6 本 7.49 kg

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.3不断水立坑工 仮舗装工 数量計算書 -7	(1箇所当り)
道路種別	国道163号	
(仮舗装工)	(車道部) N6交通	
下層路盤工	再生碎石RC-40 t=12cm 面積 $A = 6.16 \times 0.24$ = 1.478	1.5 m2
上層路盤工	再生瀝青安定処理(30) t=10cm 面積 $A = 6.16 \times 0.24$ = 1.478	1.5 m2
基層工	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm 面積 $A = 6.16 \times 0.24$ = 1.478	1.5 m2
表層工	密粒度アスコン(20) t=5cm 面積 $A = 6.16 \times 0.24$ = 1.478	1.5 m2
路盤工	(歩道部) 再生碎石RC-40 t=10cm 面積 $A = 6.16 \times 3.40$ = 20.944	20.9 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm 面積 $A = 6.16 \times 3.40$ = 20.944	20.9 m2

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.4不断水立坑工 数量計算書 -1	(1箇所当り)
(立坑土工)		
立坑寸法	長さ × 幅 4800×3200 立坑深 H= 2.700m 掘削深 H= 3.100m 立坑面積 A= 4.80×3.20= 15.360m ² 覆工面積 A= 6.16×4.16= 25.626m ²	
(立坑掘削)		
立坑掘削	覆工 H≤0.8m バックホウ0.6m ³ A≤20m ² 掘削深 H= 0.80 = 0.800 m 体積 V= 25.626×0.800 = 20.501	20.5 m ³
立坑掘削	A領域 0.8m<H≤1.3m バックホウ0.6m ³ A≤20m ² 掘削深 H= 0.50 = 0.500 m 体積 V= 15.360×0.500 = 7.680	7.7 m ³
立坑掘削	B領域 1.3m<H≤5m バックホウ0.6m ³ A≤20m ² 掘削深 H= 3.100-1.300 = 1.800 m 体積 V= 15.360×1.800 = 27.648	27.6 m ³
	<u>立坑掘削土合計</u> V= 20.501+7.680+27.648 合計 = 55.829	55.8 m ³
(立坑埋戻し)		
埋戻し①	再生碎石RC-40 最大埋戻幅 1m≤W1<4m 埋戻高 H= 0.80-舗装工0.13 = 0.670 m 体積 V= 25.626×0.670 = 17.169	17.2 m ³
埋戻し②	埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1<1m 埋戻高 H= 1.900 = 1.900 m 体積 V= 15.360×1.900 = 29.184 控除 防護コン V= -1.70×1.70×1.70 = -4.913 控除 固定コン V= -0.95×0.50×1.70×2 = -1.615 控除 配管 V= -π/4×0.528 ² ×2.100 = -0.460 計 = 22.196 m ³	22.2 m ³
(残土)		
残土処分	体積 掘削土 - 埋戻し発生土×土量換算係数C=1.11 V= 55.829-0.00×1.11 = 55.829	55.8 m ³

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.4不断水立坑工 数量計算書 -2	(1箇所当り)
(基面整正) 基面整正	人力 面積 $A = 15.360$ $= 15.360$	15.4 m2
(舗装取壊し) アスファルト 切断工	As 厚=15cm以下 延長 $L = 6.16 + 2.82 \times 2$ $= 11.800$	11.8 m
アスファルト 切断工	As 厚=15cmを超え30cm以下 $L = 6.16 + 0.82 \times 2$ $= 7.800$	7.8 m
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 面積 $A = 6.16 \times 2.82$ $= 17.371$	17.4 m2
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cmを超え30cm以下 面積 $A = 6.16 \times 0.82$ $= 5.051$	5.1 m2
アスファルト 舗装塊処分	As歩道 $V = 17.371 \times 0.03$ $= 0.521$ As車道 $V = 5.051 \times 0.20$ $= 1.010$ 計 $= 1.531 \text{ m}^3$	1.53 m3

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.4不断水立坑工 数量計算書 -3	(1箇所当り)
鋼矢板土留工 立坑寸法	長さ × 幅 4800×3200 立坑深 H= 2.700m	
(賃 料) 普通鋼矢板	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m	
	延長 L= 4.80×2+1.20×2+0.80+2 = 13.60 m	
	枚数 N= 13.60÷0.40 = 34 枚	
全体数量	質量 W= 34枚×6.00×60.0kg/m = 12240 kg	12240 kg
[内訳]		
撤去数量	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m	
L	延長 L= 4.80+3.60+1.20×2+0.80+2 = 12.40 m	
	枚数 N= 12.40÷0.40 = 31 枚	
	質量 W= 31枚×6.00×60.0kg/m = 11160 kg	11160 kg
撤去数量	L1スクラップ長未満 L1=1.70m	
L1	延長 L= 1.20 = 1.20 m	
	枚数 N= 1.20÷0.40 = 3 枚	
	質量 W= 3枚×1.70×60.0kg/m = 306 kg	306 kg
残置数量	L2スクラップ長未満 L2=4.30m	
L2	延長 L= 1.20 = 1.20 m	
	枚数 N= 1.20÷0.40 = 3 枚	
	質量 W= 3枚×4.30×60.0kg/m = 774 kg	774 kg
(損 料)		
横矢板	松厚板 t=5cm	
	体積 V= 1.40×2.85×2×0.05 = 0.399	0.40 m3
(賃 料)		
鋼製支保工 腹起し	H形鋼 山留主部材 H-300×300×10×15	
	延長 L= (4.55+2.35)×2 = 13.80 m	
	質量 W= 13.80×100.0kg/m = 1380 kg	1380 kg
	主部材計 ΣW= 1380 計 = 1380 kg	1380 kg
副部材(A)	質量 W= 1380×0.22 = 304 kg	304 kg
副部材(B)	質量 W= 1380×0.04 = 55 kg	55 kg
	支保工合計 ΣW= 1380+304+55 計 = 1739 kg	1739 kg

名 称	計 算 式				数 量
	T-NO.4不斷水立坑工 数量計算書 -4				(1箇所当り)
(鋼矢板圧入・引抜き)					
鋼矢板圧入工	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m 圧入長=5.50m $N_{max} \leq 25$				
	枚数 $N = 34$ 枚	=	34		34 枚
鋼矢板引抜き工	SP-Ⅲ型 幅=400mm L=6.00m 引抜き長=5.50m				
	枚数 $N = 31$ 枚	=	31		31 枚
鋼矢板引抜き工	質量 L=1.70m 引抜き長=1.20m				
	枚数 $N = 3$ 枚	=	3		3 枚
(機械据付・解体)					
油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	圧入時 圧入($N_{max} \leq 25$)	=	1		1 回
油圧式杭圧入引抜き機据付・解体	引抜き時	=	1		1 回
(鋼矢板切断)					
ガス切断工	鋼矢板Ⅲ型				
	箇所数 $N = 3$ 箇所 $(0.4 \times 3) + 0.5$	=	1.7		1.7 m
(横矢板設置・撤去)					
横矢板設置工	面積 $A = 1.40 \times 2.85 \times 2$	=	7.980		7.98 m ²
横矢板撤去工	面積 $A = 1.40 \times 2.85 \times 2$	=	7.980		7.98 m ²
(支保工設置・撤去)	支保工全質量				
腹起し設置工	質量 $W = 1739$ kg	=	1739 kg		1739 kg
腹起し撤去工	質量 $W = 1739$ kg	=	1739 kg		1739 kg
(基礎工)					
基礎コンクリート	18-8-40BB				
	体積 $V = 4.80 \times 3.20 \times 0.25$	=	3.840		3.84 m ³
基礎碎石	RC-40 t=15cm				
	面積 $A = 4.80 \times 3.20$	=	15.360		15.36 m ²
(仮設支持台)					
仮設H形鋼	H形鋼 (購入品)				
	H-300×300×10×15				
	延長 $L = 1.50 \times 6$	=	9.00 m		
	質量 $W = 9.00 \times 93.0$ kg/m	=	837 kg		837 kg
支持台設置工	質量 $W = 837$ kg	=	837 kg		837 kg
支持台撤去工	質量 $W = 837$ kg	=	837 kg		837 kg

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.4不断水立坑 路面覆工 数量計算書 -5	(1箇所当り)
路面覆工 覆工寸法 (賃 料) 覆工板	長さ × 幅 6000 × 4000 1000×2000×200 T-25 枚数 N= 12枚 = 12 面積 A= 1.00×2.00×12.00 = 24.00	12 枚 24.00 m2
覆工受桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 4.16×4 = 16.64 m 質量 W= 16.64×93.0kg/m = 1548	1548 kg
桁受材	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 6.16×2 = 12.32 m 質量 W= 12.32×93.0kg/m = 1146 桁材計 ΣW= 1548+1146 計 = 2694	1146 kg 2694 kg
(損 料) ズレ止め材	溝形鋼 [-200×80×7.5×11 延長 L= (6.08+4.08)×2 = 20.32 m 質量 W= 20.32×24.6kg/m = 500	500 kg
(路面工設置・撤去) 覆工板・覆工板受桁 設置撤去工	立坑 設置面積50m ² 以下 面積 A= 6.00×4.00 = 24.00	24.00 m2
覆工板開閉工	立坑 設置面積50m ² 以下 面積 A= 6.00×4.00 = 24.00 回数 N= 回 別紙計算書参照 別途計上 16	24.00 m2 16 回
(路面工) 路面すりつけ工	延長 L= (6.16+4.16)×2 = 20.64 m	20.64 m

名 称	計 算 式			数 量
(防護工) 管防護 コンクリート	T-NO.4管防護・管固定コンクリート 数量計算書 -6			(1箇所当り)
	18-8-40BB			
	体積	$V = 1.70 \times 1.70 \times 1.70$	= 4.913	
	控除 $\phi 500$	$V = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 1.70$	= -0.372	
		計	= 4.541	4.54 m3
	型 枠	無筋構造物		
	面積	$A = 1.70 \times 1.70 \times 4$	= 11.560	
	控除 $\phi 500$	$A = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 2$	= -0.438	
		計	= 11.122	11.12 m2
	差し筋	SD345 D16 L=800	$W = 0.80 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.248 \text{kg/本}$	
(管固定) 管固定 コンクリート		N= 9 本	= 9.000	9 本
		9 $\times$ 1.248kg/本	= 11.232	11.23 kg
	2箇所当り			
	18-8-40BB			
	体積	$V = 0.95 \times 0.50 \times 1.70$	= 0.808	
	控除 $\phi 500$	$V = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 0.50$	= -0.109	
		計	= 0.699	
	2箇所当り	$V = 0.699 \times 2 \text{箇所}$	= 1.398	1.40 m3
	型 枠	無筋構造物		
	面積	$A = 0.95 \times 1.70 \times 2$	= 3.230	
		$A = 0.50 \times 1.70 \times 2$	= 1.700	
	控除 $\phi 500$	$A = -\pi/4 \times 0.528^2 \times 2$	= -0.438	
		計	= 4.492	
	2箇所当り	$A = 4.492 \times 2 \text{箇所}$	= 8.984	8.98 m3
	差し筋	SD345 D16 L=800	$W = 0.80 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.248 \text{kg/本}$	
	2箇所当り	N= 3 $\times$ 2 箇所	= 6.000	6 本
		6 $\times$ 1.248kg/本	= 7.488	7.49 kg

名 称	計 算 式	数 量
	T-NO.4不断水立坑工 仮舗装工 数量計算書 -7	(1箇所当り)
道路種別	国道163号	
(仮舗装工)	(車道部) N6交通	
下層路盤工	再生碎石RC-40 t=12cm 面積 $A = 6.16 \times 0.82$ = 5.051	5.1 m2
上層路盤工	再生瀝青安定処理(30) t=10cm 面積 $A = 6.16 \times 0.82$ = 5.051	5.1 m2
基層工	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm 面積 $A = 6.16 \times 0.82$ = 5.051	5.1 m2
表層工	密粒度アスコン(20) t=5cm 面積 $A = 6.16 \times 0.82$ = 5.051	5.1 m2
路盤工	(歩道部) 再生碎石RC-40 t=10cm 面積 $A = 6.16 \times 2.82$ = 17.371	17.4 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm 面積 $A = 6.16 \times 2.82$ = 17.371	17.4 m2

既設管撤去工 数量集計表

1

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
既設管撤去工	国道歩道			(1) (2)		
	施工延長		m	6.0	26.0	
	(管路土工)					
	機械掘削	バックホウ	m3	10.9	10.9	
	埋戻し	流用土	m3	11.5	11.5	
	埋戻し	RC-40(不足分)	m3	0.6	0.6	
	(管布設工)					
	既設管撤去切断	DCφ500	口	2	9	
	既設管吊上げ積込み	DCφ500	m	0.0	0.0	
	現場発生品及び支給品運搬	スクラップ	回	4.0	4.0	
	(土留工)					
	軽量鋼矢板建込工	III型 巾333mm L=2.00m 両側分	m	6.0	6.0	
	軽量鋼矢板引抜工	III型 巾333mm L=2.00m 両側分	m	6.0	6.0	
	支保工設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート1段	m	6.0	6.0	調整長1100~1800(程度)
	軽量鋼矢板賃料	L=2.0m	式	1.0	1.0	
	支保材賃料	腹起し	式	1.0	1.0	
	支保材賃料	水圧式サポート	式	1.0	1.0	
	支保材賃料	水圧ポンプ	式	1.0	1.0	

名 称	計 算 式			数 量
	既設管撤去工 数量計算書 ー1			(1式当り)
施工延長	延長 (1)	L= 6.00	= 6.000	6.0 m
	延長 (2)	L= 20.00	= 20.000	20.0 m
			計 = 26.000	26.0 m
	延長 (1) :	到達立坑施工前に撤去		
	延長 (2) :	本管布設時に撤去		
(土工)	延長 (1)	国道歩道		
アスファルト 舗装切斷	As厚=15cm以下			
	延長	L= (6.00+1.20)×2	= 14.400	14.4 m
アスファルト 舗装取壊し	As厚=15cm以下			
	面積	A= 1.20×6.00	= 7.200	7.2 m2
アスファルト 塊処分	As			
	体積	V= 7.200×0.030	= 0.216	0.22 m3
機械掘削	バックホウ			
	体積	V= (1.20×1.698－ $\pi/4\times0.528^2$)×6.00	= 10.912	10.9 m3
埋戻し	在来土			
	体積	V= 1.20×1.598×6.00	= 11.506	11.5 m3
埋戻し不足土	流用土			
	体積	V= 11.506－10.912	= 0.594	0.6 m3
(既設管撤去工)				
既設管撤去 切斷	DC φ 500			
	延長 (1)	N= 2	= 2	
	延長 (2)	N= 7	= 7	
			計 = 9	9 口
既設管吊り上げ 積込み	DC φ 500			
	延長 (1)	L= 6.00	= 6.000	
	延長 (2)	L= 20.00	= 20.000	
			計 = 26.000	26.0 m
(土留工)				
軽量鋼矢板 建込工	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m 両側分			
	延長 (1)	L= 6.00	= 6.000	6.0 m
軽量鋼矢板 引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m 両側分			
	延長 (1)	L= 6.00	= 6.000	6.0 m
支保工 設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート1段			
	延長 (1)	L= 6.00	= 6.000	6.0 m

名 称	計 算 式	数 量
	既設管撤去工 数量計算書 -2	(1式当り)
(仮舗装工) 路盤工	延長 (1) 国道歩道 再生碎石RC-40 t=10cm 面積 $A = 1.20 \times 6.00$ = 7.200	7.2 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm 面積 $A = 1.20 \times 6.00$ = 7.200	7.2 m2

配水管工(発進側) 数量集計表

1

工種	種別細別	規格	単位	数量区分				合計	摘要
				φ900	φ800	φ600	排水工 φ300		
配水管工	(発進側)	φ900 φ800 φ600 排水工 φ300							
	(材料) φ900								
	ダクタイル鋳鉄管 直管								
	NS形 S種	φ900×L6000 切管用	本					2	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管		本					1	
	90° NS形	φ900							
	ダクタイル鋳鉄管 曲管		本					1	
	22° 1/2 NS形	φ900							
	ダクタイル鋳鉄管 両受曲管		個					1	
	22° 1/2 NS形	φ900							
	ダクタイル鋳鉄管		本					1	
	二受T字管 NS形	φ900×φ800							
	ダクタイル鋳鉄管		本					1	
	排水T字管 NS形	φ900×φ300							
	ダクタイル鋳鉄管 継ぎ輪		本					1	接合部品は別途計上
	NS形	φ900							
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ		個					1	
	NS形	φ900							
	ダクタイル鋳鉄管 切管用		組					3	
	挿ロリング NS形	リベットタイプ							
	ダクタイル鋳鉄管		組					2	
	継ぎ輪用特殊割押輪 NS形	φ900							
	(材料) φ800								
	ダクタイル鋳鉄管 直管								
	NS形 S種	φ800×L6000 切管用	本					2	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管		本					1	
	90° NS形	φ800							
	ダクタイル鋳鉄管 曲管		本					1	
	22° 1/2 NS形	φ800							
	ダクタイル鋳鉄管 継ぎ輪		本					1	接合部品は別途計上
	NS形	φ800							
	ダクタイル鋳鉄管		本					1	
	短管2号 NS形	GF形							
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ		個					1	
	NS形	φ800							
	ダクタイル鋳鉄管 切管用		組					2	
	挿ロリング NS形	リベットタイプ							

配水管工(発進側) 数量集計表

2

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分				合 計	摘 要
	ダクタイル鋳鉄管 継ぎ輪用特殊割押輪 NS形	φ 800	組					2	
	鋼板製割T字管メカ型	φ 800×φ 800	基					1	
	バタフライ弁	φ 800弁体離脱型	基					1	
	不斷水切替弁	φ 800	基					1	
	(材 料) φ 600								
▶	ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 S種	φ 600×L6000 切管用	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 90° NS形	φ 600	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 22° 1/2 NS形	φ 600	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 挿し受片落管 NS形	φ 900×φ 600	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 短管2号 NS形	φ 600 GF形	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ NS形	φ 600	個					1	
	ダクタイル鋳鉄管 切管用 挿口リング NS形	φ 600 リベットタイプ	個					1	
	鋼板製割T字管メカ型	φ 600×φ 600	基					1	
	バタフライ弁	φ 600弁体離脱型	基					1	
	不斷水切替弁	φ 600	基					1	
排水工 (材 料)	(材 料) φ 300								
▶	ダクタイル鋳鉄管 直管 NS形 1種	φ 300×L6000 切管用	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 90° NS形	φ 300	本					1	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 45° NS形	φ 300	本					2	
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ NS形	φ 300	個					1	

配水管工(発進側) 数量集計表

3

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
	ダクタイル鋳鉄管 切管用 挿リング NS形	φ 300 タッピンねじタイプ	個				1	
	ダクタイル鋳鉄管 接合材 NS形	φ 300	組				1	
	ソフトシール弁	φ 300 NS形(受挿し形)	基				1	
▶	ダクタイル鋳鉄管 直管 K形 3種	φ 300×L6000	本				3	
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 45° K形	φ 300	個				2	
	ダクタイル鋳鉄管 短管 1号 K形	φ 300	個				1	
	両F短管鋼管	300A×L1000	本				1	
	両Fエルボ鋼管	300A	個				2	
	片Fエルボ鋼管	300A	個				1	
	フランジ接合材	300A	組				4	
▶	仕切弁BOX							
	鋳鉄製蓋受枠共	φ 900×600 H=110	組	2	2		4	
	調整金具	φ 900 H=25mm用	組	2	2		4	
	調整リング	φ 900 H=100	個	2			2	
	斜壁ブロック	φ 900 H=300	個	2	2		4	
	直壁ブロック	φ 900 H=600	個	2			2	
	直壁ブロック	φ 900 H=900	個		2		2	
	連結直壁ブロック	φ 900 H=300	個	2	2		4	
▶	仕切弁BOX							
	仕切弁筐	D32 H=200	個				1	

配水管工(発進側) 数量集計表

4

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分				合 計	摘 要
	中間Bブロック	32B20 H=200	個					1	
	中間Cブロック	32C30凹 H=300	個					1	
	最下段Cブロック	45C H=300	個					1	
	スラブ	100 H=85	個					1	
	管表示テーパー 埋設タイプ	150cm	m	3条分 34.86	3条分 32.99	3条分 18.24	2条分 38.43	124.53	
	管明示テーパー	50cm	m	11.62	11.00	6.08	19.22	47.91	
	マーカ MK-1W		本	11	3	3	2	19	
配水管工				φ 900	φ 800	φ 600	排水工 φ 300		
(労 務)	φ 900								
▶	ダクタイル鋳鉄管据付工	φ 900 NS形	m					13.3	
	鋳鉄管継手接合 NS形	φ 900	口					7	
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 900	口					1	
	鋳鉄管継手接合 NS形 継ぎ輪用特殊割押輪	φ 900	口					2	
	挿口加工 NS形	φ 900 リベットタイプ	口					3	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 900	口					3	
配水管工				φ 900	φ 800	φ 600	排水工 φ 300		
(労 務)	φ 800								
▶	ダクタイル鋳鉄管据付工	φ 800 NS形	m					11.3	
	鋳鉄管継手接合 NS形	φ 800	口					3	

配水管工(発進側) 数量集計表

5

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 800	□				1	
	鋳鉄管継手接合 NS形 継ぎ輪用特殊割押輪	φ 800	□				2	
	挿口加工 NS形	φ 800	□				2	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 800	□				2	
	フランジ継手接合	φ 800	□				1	
	不断水分岐工	φ 800×φ 800	箇所				1	
	不断水工	インサートバルブ φ 800	箇所				1	
配水管工				φ 900	φ 800	φ 600		排水工 φ 300
(労 務)	φ 600							
▶	ダクタイル鋳鉄管据付工	φ 600 NS形	m				6.3	
	鋳鉄管継手接合 NS形	φ 600	□				3	
	鋳鉄管継手接合 NS形 ライナ	φ 600	□				1	
	挿口加工 NS形	φ 600	□				1	
	鋳鉄管切断・溝切り加工 NS形	φ 600	□				1	
	フランジ継手接合	φ 600	□				1	
	不断水分岐工	φ 600×φ 600	箇所				1	
	不断水工	インサートバルブ φ 600	箇所				1	
(労 務)	仕切弁BOX設置工		箇所				4	

配水管工(発進側) 数量集計表

6

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
	铸铁製蓋受枠共	φ 900 H=110	組		2		4	
	調整金具	φ 900 H=25mm用	組		2		4	
	調整リング	φ 900 H=100	個		2		2	
	斜壁ブロック	φ 900 H=300	個		2		4	
配水管工				φ 900	φ 800	φ 600 排水工 φ 300		
	直壁ブロック	φ 900 H=600	個		2		2	
	直壁ブロック	φ 900 H=900	個			2	2	
	連結直壁ブロック	φ 900 H=300	個		2	2	4	
排水工(労務)	φ 300							
▶	ダクタイル铸铁管据付工	φ 300 NS形	m				6.7	
	铸铁管継手接合 NS形 ライナ φ 300		口				1	
	铸铁管継手接合 NS形 異形管 φ 300		口				5	
	挿口加工 NS形	φ 300	口				1	
	铸铁管切断・溝切り加工 NS形 φ 300		口				1	
	仕切弁設置工	φ 300 NS形(受挿し形)	基				1	
▶	ダクタイル铸铁管据付工	φ 300 K形	m				12.7	
	铸铁管継手接合 K形	φ 300	口				6	
	铸铁管切断加工 K形	φ 300	口				2	
	鋼管据付工	300A	m				3.7	
	フランジ継手接合	300A	口				4	

配水管工(発進側) 数量集計表

7

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分				合 計	摘 要
▶	仕切弁BOX設置工		個					5	
	蓋付枠	D32 H=200	組					1	
	中間Bブロック	32B20 H=200	個					1	
	中間Cブロック	32C30凹 H=300	個					1	
	最下段Cブロック	45C H=300	個					1	
	スラブ	100 H=85	個					1	
(労 務)	▶ ポリエチレンスリーブ被覆	φ 900	m					11.70	
	ポリエチレンスリーブ被覆	φ 800	m					11.74	
	ポリエチレンスリーブ被覆	φ 600	m					6.75	
	ポリエチレンスリーブ被覆	φ 300	m					20.19	
	管表示テープ 埋設タイプ	150cm	m	3条分 34.86	3条分 32.99	3条分 18.24	2条分 38.43	124.53	
	管明示テープ	50cm	m	11.62	11.00	6.08	19.22	47.91	

DIP φ 900mm 材料表 配水管 (発進側)

No.1

測 点	区間延長 (平面) m	追加延長 (平面) m	実延長 m	追加延長 m	直 管 NS形 φ 900 (6,000)	切 管 NS形 φ 900				曲 管 NS形						両受曲管 NS形				二受 T字管 NS形 φ 900 × φ 900	排水 T字管 NS形 φ 900 × φ 300 形式2	継ぎ輪 NS形 φ 900	ライナ NS形 φ 900	備 考		
						甲切	乙切	甲切	乙切	90° φ 900 (2,360)	45° φ 900 (1,340)	22° 1/2 φ 900 (1,230)	11° 1/4 φ 900 (1,225)	5° 5/8 φ 900 (1,225)	90° φ 900 (1,910)	45° φ 900 (0,890)	22° 1/2 φ 900 (0,510)									
TNO1発進工	0.255	0.255	0.255	0.255																						
TNO1発進工	2.173	2.428	2.352	2.607																						
	5.953	8.381	5.953	8.560																						
	4.760	13.141	4.760	13.320																						
計	13.141	m	m	m (本数)→																						
			13.320 (延長)→																							

配水管 (発進側)

DIP φ900mm 労務表

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	ダクタイル 鋳鉄管掘付 NS形 φ900	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ900	鋳鉄管 継手接合 NS形ライナ φ900	鋳鉄管 継手接合 継ぎ輪用 φ900	鋳鉄管 挿口加工 NS形 φ900	鋳鉄管 鋳鉄管 切断・溝切 NS形 φ900							ポリエチレン スリーブ被覆 φ900	埋設標識 テープ 巾15cm	識別 マーカ―	管表示 テープ 幅50mm	備 考
	m	m	m	m	m	口	口	口	口	口	口						m	m	個	m	
TNO1発進工	0.255	0.255	0.255	0.255	0.255	1													3		
TNO1牽連工	2.173	2.428	2.352	2.607	2.352	2			1	1							0.983	0.908	2	0.908	
	5.953	8.381	5.953	8.560	5.953	2	1		1	1							5.953	5.953	4	5.953	
	4.760	13.141	4.760	13.320	4.760	2		2	1	1							4.760	4.760	2	4.760	
計	13.141	m	13.320	m (本数)→	13.320	7	1	2	3	3							11.696	11.621 × 3 条	11	11.621	

DIP φ 800mm 材料表 配水管 (発進側)

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	直 管 NS形 φ 800 (6,000)	切 管 NS形 φ 800				曲管 NS形							両受曲管		継ぎ輪 NS形 φ 800 (0.305)	短管2号	ライナ NS形 φ 800 (0.070)	切管用 挿入リング NS形 φ 800	継ぎ輪用 特殊型挿輪 NS形 φ 800	備 考
						甲切	乙切	甲切	乙切	90° φ 800 (2.015)	45° φ 800 (1.105)	22° 1/2 φ 800 (1.055)	11° 1/4 φ 800 (1.055)	5° 5/8 φ 800 (1.055)	45° φ 800 (0.800)	22° 1/2 φ 800 (0.470)								
		m	m	m		甲切	乙切	甲切	乙切														(有効長)	
900Tから	6.175	6.175	6.175	6.175			1		4.300			1						1			1	2		
	3.216	9.391	3.481	9.656		1				1		0.820						0.305		1				
不排水分岐	2.930	12.321	2.930	12.586		2.016				1.160		0.235						1		0.070				
										0.855								0.750						
計	12.321	m	m	m (本数)→		1		1		1		1						1	1	1	2	2		
				12.586 (延長)→		2.016			4.300		2.015		1.055					0.305	0.750	0.070				

207

DIP φ800mm 労務表 配水管 (発進側)

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	ダクタイル 鋳鉄管据付 NS形 φ800	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ800	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ800	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ800	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ800	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ800	鋳鉄管 継手接合 NS形 φ800	フランジ 継手接合 φ800	不斷水 分岐工 φ800×φ800	不斷水 切替弁 φ800	ポリエチレン スリーブ被覆 φ800	埋設標識 テープ 巾15cm	識別 マーカ―	管表示 テープ 幅50mm	備 考
	m	m	m	m	m	口	口	口	口	口	口	口	箇所	箇所	m	m	個	m	
900Tから	6.175	6.175	6.175	6.175	1	1	2	1	1	1	1				6.175	6.175	2	6.175	
	3.216	9.391	3.481	9.656	1	1		1	1	1					3.481	3.216	1	3.216	
不斷水分岐	2.930	12.321	2.930	12.586	1	1					1		1	1	2.080	1.605		1.605	
計	12.321	m	12.586	m (本数)→	3	1	2	2	2	2	2	1	1	1	11.736	10.996 × 3 条	3	10.996	

[illegible]

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	切 管				曲管 NS形				挿し受 片落管 NS形 φ500×φ600	継ぎ輪 NS形 φ600	短管2号 NS形 φ600	ライナ NS形 φ600	切管用 挿し受 NS形 φ600	備 考					
					NS形 φ600				NS形										NS形		NS形 φ600	NS形 φ600	NS形 φ600
					直 管	甲切	乙切	乙切	45°	22° 1/2	11° 1/4	5° 5/8							45°	22° 1/2			
		m	m	m	直 管 NS形 φ600 (6.000)	甲切	甲切	乙切	乙切	90° φ600 (1.555)	45° φ600 (0.875)	22° φ600 (0.815)	11° φ600 (0.810)	5° φ600 (0.810)	45° φ600 (0.630)	22° φ600 (0.380)	1 1.080	(0.260)	(0.750)	(0.068)	リベット タイプ (有効長)		
900Tから	1.705	1.705	1.705	1.705		1				1		0.625					1			1			
	2.970	4.675	3.214	4.919		2.056				0.900		0.190							1	0.068			
不断水分岐	2.484	7.159	2.484	7.403						0.655									0.750				

[illegible]

DIP φ 600mm 労務表

配水管 (発進側)

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長 m	ダクタイル 鋳鉄管継手 NS形 φ 600	鋳鉄管 継手 NS形 φ 600	鋳鉄管 継手 NS形 φ 600	鋳鉄管 継手 NS形 φ 600	鋳鉄管 継手 NS形 φ 600	鋳鉄管 継手 NS形 φ 600	鋳鉄管 継手 NS形 φ 600	フランジ 継手 φ 600	不斷水 分岐工 (1) φ 600 × φ 600	不斷水工 切替弁 (1) φ 600	ポリエチレン スリーブ被覆	埋設標識 テープ 巾15cm	識別 マーク	管表示 テープ 幅50mm	備 考
	m	m	m	m	□	□	□	□	□	□	□	□	箇所	箇所	m	m	個	m	
900Tから	1.705	1.705	1.705	1.705	1										1.705	1.705	2	1.705	
	2.970	4.675	3.214	4.919	1	1					1				3.214	2.970	1	2.970	
不斷水分岐	2.484	7.159	2.484	7.403	1							1	1		1.834	1.405		1.405	
計	7.159	m	7.403	m (本数)→	3	1					1	1	1	1	6.753	6.080 × 3 条	3	6.080	

[illegible]

DIP φ 300mm 材料表 (発進側) 排水工

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長 (平面)	追加延長 m	直 管 NS形 φ 300 (6,000)	切 管 NS形 φ 300		曲 管 90° NS形 φ 300 (0.730)		曲 管 45° NS形 φ 300 (0.460)		ライナ NS形 φ 300 (0.053)	切管用 掃ロリング NS形 φ 300 タッピン ねじタイプ	接合材 NS形 φ 300	ソフトラール 弁受挿し NS形 φ 300 (0.725)	直 管 K形 φ 300 (6,000)	切 管 K形 φ 300		曲 管 45° K形 φ 300 (0.827)	1号短管 K形 φ 300 (0.170)	備 考
						甲切	乙切	90° NS形 φ 300	45° NS形 φ 300								甲切	乙切			
排水工 DIP NS	1.015	1.015	1.015	m		1		1	0.465												
DIP NS	2.343	3.358	3.313	4.328		1		0.265		1		1	1								
DIP NS	1.185	4.543	1.185	5.513						1				1	0.725						
DIP NS	1.930	6.473	1.930	7.443			1.800			0.130											
DIP K	0.337	6.810	0.337	7.780																	
DIP K	9.827	16.637	9.827	17.607																	
DIP K	2.580	19.217	2.580	20.187																	
SP	2.828	22.045	3.742	23.929																	
計	22.045	m	m	23.929 (本数)→		1	1.800	1	0.730	2	0.920	1	1	1	0.725	1	6,000	2	1	1.654	0.170

DIP φ 300mm 労務表 (発進側) 排水工

測 点	区間延長 (平面)	追加延長 (平面)	実延長	追加延長	ダクタイル 鋳鉄管継手 NS形 φ 300	鋳鉄管 継手 NS形 φ 300	鋳鉄管 継手 NS形 φ 300	鋳鉄管 継手 NS形 φ 300	鋳鉄管 継手 NS形 φ 300	鋳鉄管 継手 NS形 φ 300	仕切弁 設置工 NS形 φ 300	ダクタイル 鋳鉄管継手 K形 φ 300	鋳鉄管 継手 K形 φ 300	鋳鉄管 継手 K形 φ 300	鋼管 据付 300A	フランジ 継手 300A	ポリエチレン スリーブ被覆 φ 300	埋設標識 テープ 巾15cm	識別 マーク カー	管表示 テープ 幅50mm	備 考
排水工 DIP NS	1.015	1.015	1.015	1.015	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.015	1.015	1	1.015	
DIP NS	2.343	3.358	3.313	4.328	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3.313	2.343	1	2.343	
DIP NS	1.185	4.543	1.185	5.513	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.185	1.185	1	1.185	
DIP NS	1.930	6.473	1.930	7.443	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.930	1.930	1	1.930	
DIP K	0.337	6.810	0.337	7.780								0.337	1	1			0.337	0.337	1	0.337	
DIP K	9.827	16.637	9.827	17.607								9.827	3	3			9.827	9.827	1	9.827	
DIP K	2.580	19.217	2.580	20.187								2.580	2	2			2.580	2.580		2.580	
SP	2.828	22.045	3.742	23.929											3.742	4					
計	22.045	m	23.929	m (本数)→ (延長)→	1	5	1	1	1	1	1	12.744	6	2	3.742	4	20.187	19.217 × 2 条	2	19.217	

217

配水管2(発進側)土工・土留工・付帯工 数量集計表

1

工種	種別細別	規格	単位	数量区分		合計	摘要
配水管工	土工・土留工・付帯工 (管路土工)	(発進側)					
	機械掘削	バックホウ H $\leq$ 0.5m	m3	16.2	排水工	16.2	
	管路掘削	バックホウ	m3	411.7		411.7	
	管路掘削	バックホウ	m3		18.6	18.6	
	埋戻し	再生砕石RC-40 最大埋戻幅 1m $\leq$ W1<4m	m3	222.1		222.1	
	埋戻し	再生砕石RC-40 最大埋戻幅 W1>1m	m3		10.5	10.5	
	埋戻し	埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1<1m	m3	125.6		125.6	
	埋戻し	埋戻し用砂 最大埋戻幅 W1>1m	m3		5.1	5.1	
	発生土処理		m3	411.7		411.7	
	発生土処理		m3		18.6	18.6	
				不断水 ϕ 600	不断水 ϕ 800		
	基面整正	人力	m2	33.7	46.2	79.9	
	(基礎工)			不断水 ϕ 600	不断水 ϕ 800		
	基礎コンクリート	18-8-40BB	m3	8.42	13.87	22.29	
	型枠	無筋構造物	m2	0.55	0.60	1.15	
	基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2	33.68	46.24	79.92	
	(管防護工・固定コンクリート)			不断水 ϕ 600 2箇所分	不断水 ϕ 800 2箇所分		
	管防護コンクリート	18-8-40BB	m3	3.92	7.96	11.88	
	型枠	無筋構造物	m2	13.32	20.92	34.24	

配水管2(発進側)土工・土留工・付帯工数量集計表

2

工種	種別細別	規格	単位	数量区分		合計	摘要
	差し筋	SD345 D16 L=800	本	18	18	36	
	管固定コンクリート	18-8-40BB	m3	1.22	1.66	2.88	
	型枠	無筋構造物	m2	7.72	10.04	17.76	
	差し筋	SD345 D16 L=800	本	6	6	12	
	(土留工)						
	(鋼矢板圧入・引抜き)						
	鋼矢板圧入工	SP-III型 L=5.50m 圧入長=5.00m Nmax≤25	枚			38	
	鋼矢板圧入工	SP-III型 L=6.00m 圧入長=5.50m Nmax≤25	枚			48	
	鋼矢板圧入工	SP-III型 L=6.50m 圧入長=6.00m Nmax≤25	枚			48	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=5.50m 引抜き長=5.00m	枚			38	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=6.00m 引抜き長=5.50m	枚			48	
	鋼矢板引抜き工	SP-III型 L=6.50m 引抜き長=6.00m	枚			48	
	(親杭H形鋼圧入・引抜き)						
	H形鋼圧入工	H-250×250 L=5.50m 圧入長=5.00m Nmax≤25	本			2	
	H形鋼圧入工	H-250×250 L=6.00m 圧入長=5.50m Nmax≤25	本			2	
	H形鋼圧入工	H-250×250 L=6.50m 圧入長=6.00m Nmax≤25	本			2	
	H形鋼引抜き工	H-250×250 L=5.50m 引抜き長=5.00m	本			2	
	H形鋼引抜き工	H-250×250 L=6.00m 引抜き長=5.50m	本			2	
	H形鋼引抜き工	H-250×250 L=6.50m 引抜き長=6.00m	本			2	

配水管2(発進側)土工・土留工・付帯工 数量集計表

3

工種	種別細別	規格	単位	数量区分	合計	摘要
	(機械据付・解体)					
	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入時 圧入(N _{max} ≤25)	回		1	
	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き時	回		1	
	サイレントバイラー設置・撤去		回		1	
	H鋼チャック取付け・取外し		回		1	
	(横矢板設置・撤去)					
	横矢板設置工	木 50	m2		90	
	横矢板撤去工		m2		90	
	(鋼製支保工設置・撤去)					
	切梁・腹起し設置工		kg		22193	
	切梁・腹起し撤去工		kg		22193	
	(仮設工)					
	桁材・桁受け材設置・撤去	H形鋼	kg	2128 2321	4449	
	吊り金具取付撤去	φ 600用	箇所	3 3	6	
	吊り金具取付撤去	φ 800用	箇所	3 3	6	
	(土留工) 排水工					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m	m		17.77	
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m	m		17.77	
	支保工設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート1段	m		17.77	調整長770~1300(程度)
	(土留工) 鋼矢板工法					

配水管2(発進側)土工・土留工・付帯工数量集計表

4

工種	種別細別	規格	単位	数量区分	合計	摘要
	(賃料) 普通鋼矢板	SP-Ⅲ型 L=5.50m	枚		38	
		SP-Ⅲ型 L=6.00m	枚		48	
		SP-Ⅲ型 L=6.50m	枚		48	
		全質量	kg		48540	
		(内訳) 撤去数量 L	kg		48540	
	(賃料) 親杭H形鋼	H-250×250×9×14 L=5.50m	本		2	
		H-250×250×9×14 L=6.0m	本		2	
		H-250×250×9×14 L=6.5m	本		2	
		全質量	kg		2585	
		(内訳) 撤去数量 L	kg		2585	
	(損料) 横矢板	松厚板 t=5cm L=1100・1250	m ³		4.51	横矢板設置工に
	(鋼製支保工)					
	(賃料) H形鋼 山留主部材 腹起し	H-250×250×9×14	kg		5846	
	H形鋼 山留主部材 腹起し	H-300×300×10×15	kg		7973	
	H形鋼 山留主部材 腹起し	H-350×350×12×19	kg		3570	
	H形鋼 山留主部材 切梁	H-250×250×9×14	kg		224	
	副部材(A)		kg		3875	
	副部材(B)		kg		705	
	(吊り防護工)			不断水φ600 不断水φ800	22193	

配水管2(発進側)土工・土留工・付帯工 数量集計表

5

工種	種別細別	規格	単位	数量区分		合計	摘要
	(賃料・損料)						
	吊り桁・桁受材	H-300×300×10×15 リーズ材	kg	2046	2232	4278	
	副部材(B)		kg	82	89	171	
	吊り金具	レバーブロック(金具付) φ600用	箇所	3	3	6	
	吊り金具	レバーブロック(金具付) φ800用	箇所	3	3	6	
配水管工	(材料) (保護)			φ600	φ800		
	漏水防止金具	FCD φ600mm	個	9		9	
	漏水防止金具	FCD φ800mm	個		7	7	
				φ600	φ800		
	(管路土工)			9箇所	7箇所		
	機械掘削	バックホウ	m3	24.2	17.8	42.0	
	人力掘削	人力	m3	15.5	14.6	30.1	
	埋戻し	再生砕石RC-40	m3	25.8	19.2	45.0	
	埋戻し	埋戻し用砂	m3	13.9	13.2	27.1	
	発生土処理		m3	39.7	32.4	72.1	
	(管布設工)						
	メカニカル継手	FCD φ600mm	口	9		9	
	メカニカル継手	FCD φ800mm	口		7	7	

配水管2(発進側)土工・土留工・付帯工 数量集計表

6

工種	種別細別	規格	単位	数量区分	合計	摘要
	(土留工)					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m	m	19.80	34.40	
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m	m	19.80	34.40	
	支保工設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート2段	m	19.80	34.40	調整長1100~1800(程度)
	(付帯工)					
	既設HP管撤去	HP φ 600	式		1.0	
	仮設排水管	コルゲートノブパイプ φ 600 t=1.6mm	m		10.2	
	道路横断暗渠工	台付HP管 φ 600 L=2500	m		5.0	
(附帯工)	舗装撤去工					
	アスファルト切断工	As 厚=15cm以下	m	27.5	27.5	
	アスファルト舗装版取壊し	As 厚=15cm以下	m ²	35.7	35.7	
	アスファルト舗装塊処分	As	m ³	1.79	1.79	
	舗装復旧工					
	上層路盤工	再生砕石RC-40 t=20cm	m ²		35.7	
	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m ²		35.7	
	舗装撤去工(本復旧)					
	アスファルト切断工	As 厚=15cm以下	m		7.0	

配水管その2 (発進側) 土工数量表

No.1

配水管(発進側)

管径 (mm)	外径 (mm)	区間 No.	土工延長 L (m)	土被り Dp (m)	掘削深 H (m)	掘削幅 W (m)	布掘り				掘削		埋戻し①		埋戻し②		備考
							延長 (m)	外側幅 (m)	深さ (m)	掘削土量 (m3)	掘削土量 (m3)	掘削土量 (m3)	埋戻し高 (m)	購入土 (m3)	埋戻し高 (m)	埋戻し用砂 (m3)	
900	939	①-①'	4.700	2.931	3.870	3.200	4.80	0.600	0.500	1.4	58.2		2.731	41.1	1.139	17.1 新管 -3.3	
		②-②'	6.000	2.931	3.870	2.200	13.20	0.600	0.500	4.0	51.1		2.731	36.0	1.139	15.0 新管 -4.2	
800	836	④-④'	4.040	2.982	3.870	2.000	1.20	0.600	0.500	0.4	31.3		2.731	22.1	1.139	9.2 新管 -2.2	
立坑 600	631	⑤-⑤'	3.200	1.855	3.436	1.600	15.20	0.600	0.500	4.6	17.6		1.655	8.5	1.381	7.1 基礎Co+基礎砂石	
		⑤-⑤'	5.600	1.855	3.436	5.100					98.1		1.655	47.3	1.381	39.4 新管 -1.4	基礎Co+基礎砂石
											既設管600 -1.8					既設管2連 -4.9	
											既設管800 -3.1					管固定Co -1.22	
																防護Co -3.92	
立坑 800	836	③-③'	6.400	1.650	3.586	6.700	19.20	0.600	0.500	5.8	153.8		1.450	62.2	1.686	72.3 基礎Co+基礎砂石	
		③-③'	2.800	1.650	3.586	1.200					12.0		1.450	4.9	1.686	5.7 新管 -3.9	基礎Co+基礎砂石
											既設管600 -2.0					既設管2連 -5.5	
											既設管800 -3.5					管固定Co -1.66	
																防護Co -7.96	
計			32.740				53.60			16.2	411.7			222.1		125.6	

土留材 数量表 配水管その2(発進側)

1

施工位置	土留材	延長	鋼矢板Ⅲ型				親杭H-250			横矢板				摘要
			施工延長 (m)	矢板長 L (m)	枚数 (枚)	質量 (kg)	杭長	本数 (本)	質量 (kg)	種別	矢板長 (m)	深さ (m)	施工面積 (m ²)	
①-①'	左側	0.40	0.40	6.50m	1	390.0			71.8kg/m					
	横矢板	1.25								木 50	1.45m	3.87	5.61	
	鋼矢板	0.80	0.80	6.50m	2	780.0								
	鋼矢板	0.40	0.40	6.50m	1	390.0								
	横矢板	1.10								木 50	1.20m	3.87	4.64	
	鋼矢板	3.20	3.20	6.50m	8	3120.0								
②-②'	左側	6.00	6.00	6.50m	15	5850.0								
	鋼矢板	4.80	4.80	6.50m	12	4680.0								
	鋼矢板	2.40	2.40	6.50m	6	2340.0								
④-④'	左側	0.40	0.40	6.50m	1	390.0								
	横矢板	1.78					6.50 m	1	466.70	木 50	1.80m	3.87	6.97	
	横矢板	1.86								木 50	1.90m	3.87	7.35	
	鋼矢板	0.40	0.40	6.50m	1	390.0								
	横矢板	1.78					6.50 m	1	466.70	木 50	1.80m	3.87	6.97	
	横矢板	1.86								木 50	1.90m	3.87	7.35	
	鋼矢板	0.40	0.40	6.50m	1	390.0								
計		28.83	19.20		48	18720.0		2	933.40				38.89	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鋼製支保工 数量表 配水管その2(発進側)

1

施工位置		設置段数	長さ (m)	鋼製支保工				切 梁		摘 要
				H-250×250 (m)	H-300×300 (m)	H-350×350 (m)	H-250×250 (m)	H-300×300 (m)		
①-①'	左側	1段目	4.700	4.575						
		2段目	4.700		4.575					
	右側	1段目	4.700	4.575						
		2段目	4.700		4.575					
	上	1段目	3.200	2.450						
		2段目	3.200		2.350					
	下	1段目	3.200	2.450						
		2段目	3.200		2.350					
②-②'	左側	1段目	6.000	6.250			1.450			
		2段目	6.000		6.250		1.350			
	右側	1段目	6.000	6.250						
		2段目	6.000		6.250					
④-④'	左側	1段目	4.040	4.290						
		2段目	4.040		4.290					
	右側	1段目	4.040	4.290						
		2段目	4.040		4.290					
計				35.130	34.930	0.000	2.800	0.000		

鋼製支保工 数量表 配水管その2(発進側)

施工位置		設置段数	長さ (m)	鋼製支保工				切 梁		摘 要
				腹起し						
				H-250×250 (m)	H-300×300 (m)	H-350×350 (m)	H-250×250 (m)	H-300×300 (m)		
不斷水立坑	左側	1段目	2.800	2.050						
φ 800		2段目	2.800	2.050						
③－③’	上	1段目	1.200	1.200						
		2段目	1.200	1.200						
	下	1段目	1.200	1.200						
		2段目	1.200	1.200						
	左側	1段目	6.400		6.150					
		2段目	6.400			6.150				
	右側	1段目	6.400		6.150					
		2段目	6.400			6.150				
	上	1段目	6.700		5.850					
		2段目	6.700			5.750				
	下	1段目	6.700		5.850					
		2段目	6.700			5.750				
計				8.900	24.000	23.800	0.000	0.000		
合 計	(m)			73.080	79.730	23.800	2.800	0.000		
単位質量	(kg/m)			80 kg/m	100 kg/m	150 kg/m	80 kg/m	100 kg/m		
質 量	(kg)			5846.4	7973.0	3570.0	224.0	0.00		
全質量	(kg)	主部材		17613.4						

名 称	計 算 式	数 量
不断水分岐立坑基礎工 数量計算書		(1式当り)
鋼矢板土留工 φ 600		
土留寸法	長さ × 幅 5600×5100	
	長さ × 幅 3200×1600	
(基礎工)		
基礎コンクリート	18-8-40BB	
	体積 V= 5.60×5.10×0.25 = 7.140	
	V= 3.20×1.60×0.25 = 1.280	
	計 = 8.420	8.42 m3
型 枠	面積 A= 2.20×0.25 = 0.550	0.55 m2
基礎碎石	RC-40 t=15cm	
	面積 A= 5.60×5.10 = 28.560	
	A= 3.20×1.60 = 5.120	
	計 = 33.680	33.68 m2
(基面整正)		
基面整正	人力	
	面積 A= 33.680 m2 = 33.680	33.7 m2
φ 800		
土留寸法	長さ × 幅 6700×6400	
	長さ × 幅 2800×1200	
(基礎工)		
基礎コンクリート	18-8-40BB	
	体積 V= 6.70×6.40×0.30 = 12.864	
	V= 2.80×1.20×0.30 = 1.008	
	計 = 13.872	13.87 m3
型 枠	面積 A= 2.00×0.30 = 0.600	0.60 m2
基礎碎石	RC-40 t=15cm	
	面積 A= 6.70×6.40 = 42.880	
	A= 2.80×1.20 = 3.360	
	計 = 46.240	46.24 m2
(基面整正)		
基面整正	人力	
	面積 A= 46.240 m2 = 46.240	46.2 m2

名 称	計 算 式			数 量		
	φ 600管防護・管固定コンクリート 数量計算書			(1箇所当り)	(1式当り) 2箇所分	単位
(防護工) 管防護 コンクリート	18-8-40BB 体積	$V = 1.30 \times 1.30 \times 1.40$	= 2.366			
	控除 φ 600	$V = -\pi/4 \times 0.631^2 \times 1.30$	= -0.407			
		計	= 1.959	1.96	3.92	m3
型 枠	無筋構造物 面積	$A = 1.30 \times 1.40 \times 4$	= 7.280			
	控除 φ 600	$A = -\pi/4 \times 0.631^2 \times 2$	= -0.625			
		計	= 6.655	6.66	13.32	m2
差し筋	SD345 D16 L=800	$W = 0.80 \times 1.56\text{kg/m} = 1.248\text{kg/本}$ N= 9 本	= 9.000	9	18	本
(管固定) 管固定 コンクリート	18-8-40BB 体積	$V = 1.10 \times 0.50 \times 1.40$	= 0.770			
	控除 φ 600	$V = -\pi/4 \times 0.631^2 \times 0.50$	= -0.156			
		計	= 0.614	0.61	1.22	m3
型 枠	無筋構造物 面積	$A = 1.10 \times 1.40 \times 2$	= 3.080			
		$A = 0.50 \times 1.40 \times 2$	= 1.400			
	控除 φ 600	$A = -\pi/4 \times 0.631^2 \times 2$	= -0.625			
		計	= 3.855	3.86	7.72	m2
差し筋	SD345 D16 L=800	$W = 0.80 \times 1.56\text{kg/m} = 1.248\text{kg/本}$ N= 3 本	= 3.000	3	6	本

名 称	計 算 式			数 量		
	φ 800管防護・管固定コンクリート 数量計算書			(1箇所当り)	(1式当り) 2箇所分	単位
(防護工) 管防護 コンクリート	18-8-40BB 体積	$V = 1.70 \times 1.70 \times 1.70$ $V = -\pi/4 \times 0.836^2 \times 1.70$	$= 4.913$ $= -0.933$			
		計	= 3.980	3.98	7.96	m3
型 枠	無筋構造物 面積	$A = 1.70 \times 1.70 \times 4$ $A = -\pi/4 \times 0.836^2 \times 2$	$= 11.560$ $= -1.098$			
		計	= 10.462	10.46	20.92	m2
差し筋	SD345 D16 L=800 N= 9 本	$W = 0.80 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.248 \text{kg/本}$	$= 9.000$	9	18	本
(管固定) 管固定 コンクリート	18-8-40BB 体積	$V = 1.30 \times 0.50 \times 1.70$ $V = -\pi/4 \times 0.836^2 \times 0.50$	$= 1.105$ $= -0.274$			
		計	= 0.831	0.83	1.66	m3
型 枠	無筋構造物 面積	$A = 1.30 \times 1.70 \times 2$ $A = 0.50 \times 1.70 \times 2$ $A = -\pi/4 \times 0.836^2 \times 2$	$= 4.420$ $= 1.700$ $= -1.098$			
		計	= 5.022	5.02	10.04	m2
差し筋	SD345 D16 L=800 N= 3 本	$W = 0.80 \times 1.56 \text{kg/m} = 1.248 \text{kg/本}$	$= 3.000$	3	6	本

名 称	計 算 式	数 量
	不断水分岐工 φ 600 吊り防護工 数量計算書	(2箇所当り)
吊り防護工 (賃料)	DC φ 600 DC φ 800	
吊り桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 7.00×2 本 = 14.00 m 質量 W= 14.00×93.0kg/m = 1302	
桁受け材	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 4.00×2 本 = 8.00 m 質量 W= 8.00×93.0kg/m = 744	
	鋼材計 Σ W= 1302+744 計 = 2046	2046 kg
副部材(B)	質量 W= 2046×0.04 = 82	82 kg
	合 計 Σ W= 2046+82 計 = 2128	2128 kg
(損料)		
吊り金具	レバーブロック(金具付)、ナイロンスリング φ 600用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所
吊り金具	レバーブロック(金具付)、ナイロンスリング φ 800用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所
(設置撤去工)		
桁材・桁受け材 設置撤去工	H形鋼 質量 W= 2128 kg = 2128	2128 kg
吊り金具取付撤去	φ 600用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所
吊り金具取付撤去	φ 800用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所

名 称	計 算 式	数 量
	不断水分岐工 φ 800 吊り防護工 数量計算書	(2箇所当り)
吊り防護工 (賃料)	DC φ 600 DC φ 800	
吊り桁	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 8.00×2 本 = 16.00 m 質量 W= 16.00×93.0kg/m = 1488	
桁受け材	H形鋼 リース材 H-300×300×10×15 延長 L= 4.00×2 本 = 8.00 m 質量 W= 8.00×93.0kg/m = 744	
	鋼材計 ΣW= 1488+744 計 = 2232	2232 kg
副部材(B)	質量 W= 2232×0.04 = 89	89 kg
	合 計 ΣW= 2232+89 計 = 2321	2321 kg
(損料)		
吊り金具	レバーブロック(金具付)、ナイロンスリング φ 600用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所
吊り金具	レバーブロック(金具付)、ナイロンスリング φ 800用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所
(設置撤去工)		
桁材・桁受け材 設置撤去工	H形鋼 質量 W= 2321 kg = 2321	2321 kg
吊り金具取付撤去	φ 600用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所
吊り金具取付撤去	φ 800用 箇所数 N= 3 箇所 = 3.000	3 箇所

No. I

管 径	測 点	土工延長 L (m)	土被り Dp (m)	掘削深 H (m)	掘削幅 W (m)	舗装切断		舗装取壊し		舗装塊処分 体積 ($\pi \cdot r^3$)	掘 削 掘削土量 (m^3)	埋戻し①		埋戻し用砂②		備 考							
						厚 (m)	箇所数 (箇所)	切断延長 (m)	幅 (m)			取壊し面積 (m^2)	舗装厚 (m)	埋戻し高 (m)	購入土 (m^3)		埋戻し高 (m)	埋戻し用砂 (m^3)					
300																開削土留工							
	外径 (mm)	No.																					
	323	+0.000																					
																As舗装部							
		+3.358	3.358																				
		+3.358																					
		+14.098	10.740	1.200	1.523	0.700	別途計上				11.1	0.750	5.6	0.523	3.1								
		+14.098																					
		+21.131	7.033	1.200	1.523	0.700																	
		+21.131														未舗装部							
		+22.045	0.914																				
																吐口							
計																							

土留工数量計算書

No.1

軽量鋼矢板建て込み工 配水管(発進側)排水工

施工箇所	管 径 (mm)	土工延長 L (m)	掘削幅 W (m)	掘削深 H(m)	軽量鋼矢板 矢板長L						支 保 工			備 考	
					2.00 (m)	2.50 (m)	3.00 (m)	3.50 (m)	4.00 (m)	1段	2段	3段			
										H=2.0m以下 (m)	H=3.5m以下 (m)	H=4.0m未満 (m)			
排水工	φ 300	3.358	0.000	0.000											
		10.740	0.700	1.523	10.74						10.74				
		7.033	0.700	1.523	7.03						7.03				
		0.914	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
		0.000	0.000	0.000											
合 計		22.045			17.77	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.77	0.00	0.00	0.00	

名 称	計 算 式			箇所当り数量	数 量
	漏水防止金具取付φ600 数量計算書			(1箇所当り)	施工箇所数
呼び径	既設铸铁管	φ 600mm			9 箇所 (6箇所)
施工寸法	掘削平面寸法	掘削幅1300 × 掘削延長2000			
	掘削深	掘削深= 土被り+管外径+継手掘り H= 1.855+0.631+0.300 = 2.786 m			
	未舗装				
(土 工)					
機械掘削	BH	管天30cmまで			
	体積	V= 1.30×1.555×2.00 = 4.043	4.04 m3	24.2 m3	
人力掘削	人力				
	体積	V= 1.30×1.231×2.00 = 3.201			
	管控除	V= -π/4×0.631 ² ×2.00 = -0.625			
		計 = 2.576	2.58 m3	15.5 m3	
埋戻し①	購入土				
	体積	V= 1.30×1.655×2.00 = 4.303	4.30 m3	25.8 m3	
埋戻し②	埋戻し用砂	管天20cmまで			
	体積	V= 1.30×1.131×2.00 = 2.941			
	管控除	V= -π/4×0.631 ² ×2.00 = -0.625			
		計 = 2.316	2.32 m3	13.9 m3	
残土処分	体積	V= 4.043+2.576 = 6.619	6.62 m3	39.7 m3	
(材 料)					
漏水防止金具	FCD φ 600mm	N= 1 個 = 1	1 個	9 個	
(労 務)					
メカニカル継手	FCD φ 600mm	N= 1 口 = 1	1 口	9 口	
(土留工)					
軽量鋼矢板 建て込み工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m 両側分 延長	L= 2.00+1.30 = 3.300	3.30 m	19.80 m	
支保工 設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート 2段 延長	L= 2.00+1.30 = 3.300	3.30 m	19.80 m	

名 称	計 算 式			箇所当り数量	数 量
	漏水防止金具取付φ800 数量計算書			(1箇所当り)	施工箇所数
呼び径	既設铸铁管	φ800mm			7 箇所 (4箇所)
施工寸法	掘削平面寸法	掘削幅1650 × 掘削延長2000			
	掘削深	掘削深= 土被り+管外径+継手堀り H= 1.650+0.836+0.300 = 2.786 m			
(土 工)	未舗装				
機械掘削	BH	管天30cmまで			
	体積	V= 1.65×1.350×2.00 = 4.455	4.46 m3	17.8 m3	
人力掘削	人力				
	体積	V= 1.65×1.436×2.00 = 4.739			
	管控除	V= -π/4×0.836 ² ×2.00 = -1.098			
	計	= 3.641	3.64 m3	14.6 m3	
埋戻し①	購入土				
	体積	V= 1.65×1.450×2.00 = 4.785	4.79 m3	19.2 m3	
埋戻し②	埋戻し用砂	管天20cmまで			
	体積	V= 1.65×1.336×2.00 = 4.409			
	管控除	V= -π/4×0.836 ² ×2.00 = -1.098			
	計	= 3.311	3.31 m3	13.2 m3	
残土処分	体積	V= 4.455+3.641 = 8.096	8.10 m3	32.4 m3	
(材 料)					
漏水防止金具	FCD φ800mm	N= 1 個 = 1	1 個	7 個	
(労 務)					
メカニカル継手	FCD φ800mm	N= 1 口 = 1	1 口	7 口	
(土留工)					
軽量鋼矢板 建て込み工	Ⅲ型 巾333mm L=3.00m 両側分				
	延長	L= 2.00+1.65 = 3.650	3.65 m	14.60 m	
支保工 設置・撤去	軽量金属支保+水圧式サポート 2段				
	延長	L= 2.00+1.65 = 3.650	3.65 m	14.60 m	

名 称	計 算 式			数 量
	既設HP管 φ 600撤去 数量計算書			(1式当り)
施工延長	延長	$L = 5.00$	$= 5.000$	5.0 m
(土 工)	土工図は仮設配水管と同様。			
機械掘削	バックホウ	$V = 1/2 \times (2.10 + 1.20) \times 0.90 \times 5.00$	$= 7.425$	
	体積 控除	$V = -\pi/4 \times 0.70^2 \times 5.00$	$= -1.924$	
		計	$= 5.501$	5.5 m3
埋戻し	流用土			
	体積	$V = 1/2 \times (2.10 + 1.20) \times 0.90 \times 5.00$	$= 7.425$	7.425 m3
山土	購入土			
	体積	$7.425 - 5.501 = 1.924 \times 1.33$	$= 2.56$	2.6 m3
(撤去工)				
HP管撤去	φ 600			
	撤去延長	$L = 5.00$	$= 5.000$	5.0 m
殻運搬	φ 600	$1.924 - 1.413$	$= 0.511$	0.5 m3

名 称	計 算 式	単位当り数量	数 量
	仮設排水管CP φ 600布設・撤去 数量計算書	(10.0m当り)	(1式当り)
施工延長	延長 L= 10.20 m = 10.20		10.2 m
(土 工)			
布設時			
機械掘削	バックホウ 体積 V= 1.49m ³ /m ×10.00 = 14.900	14.90 m ³	15.2 m ³
埋戻し	流用土 体積 V= 1.20m ³ /m ×10.00 = 12.000	12.00 m ³	12.2 m ³
残土処分	掘削土ー埋戻し土 体積 V= 14.90－12.00 = 2.900	2.90 m ³	3.0 m ³
基面整正	人力 面積 A= 0.600×10.00 = 6.000	6.00 m ²	6.1 m ²
撤去時			
機械掘削	バックホウ 体積 V= 1.20m ³ /m ×10.00 = 12.000	12.00 m ³	12.2 m ³
埋戻し	購入土 体積 V= 1.49m ³ /m ×10.00 = 14.900	14.90 m ³	15.2 m ³
山土	購入土 体積 14.9×1.33 = 19.8	19.8 m ³	20.2 m ³
残土処分	掘削土 体積 V= 12.00 = 12.000	12.00 m ³	12.2 m ³
(仮設管)			
仮設排水管 損料	コルゲートパイプ φ 600 t=1.6mm L=1020 延長 L= 10.00 = 10.000	10.00 m	10.2 m
布設・撤去	コルゲートパイプ φ 600 t=1.6mm L=1020 延長 L= 10.00 = 10.000	10.00 m	10.2 m

名 称	計 算 式	単位当り数量	数 量
	道路横断暗渠工 台付HP管 φ 600 数量計算書	(10.0m当り)	(1式当り)
施工延長	延長 L= 5.00 m = 5.00	10 m	5.0 m
(土 工)			
機械掘削	バックホウ 体積 V= $1/2 \times (2.45 + 1.25) \times 1.203 \times 10.00$ = 22.256	22.26 m3	11.1 m3
埋戻し	流用土 体積 V= $1.62\text{m}^3/\text{m} \times 10.00$ = 16.200	16.20 m3	8.1 m3
残土処分	掘削土－埋戻し土 体積 V= $22.26 - 16.20$ = 6.060	6.06 m3	3.0 m3
基面整正	人力 面積 A= 0.650×10.00 = 6.500	6.50 m2	3.3 m2
(付帯物)			
道路横断 暗渠	台付HP管 φ 600 L=2500 個数 N= $10.00 / 2.500$ = 4.0	4.0 個	2.0 個
敷モルタル	1:3 体積 V= $0.450 \times 0.02 \times 10.00$ = 0.090	0.09 m3	0.05 m3
基礎材	切込碎石RC-40 t=15cm 面積 A= 0.650×10.00 = 6.500	6.50 m2	3.3 m2

名 称	計 算 式	数 量
	仮舗装工 (発進側) 数量計算書	(1式当り)
仮舗装工		
(舗装工)		
上層路盤工	再生碎石RC-40 t=20cm 面積 A= 35.70 m2 図面参照 = 35.700	35.7 m2
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm 面積 A= 35.70 m2 図面参照 = 35.700	35.7 m2

名 称	計 算 式	数 量
	本舗装工(発進側) 数量計算書	(1式当り)
本舗装工		
(舗装取壊し)		
アスファルト 切断工	As 厚=15cm以下 延長 $L = 3.40 + 3.60 = 7.000$	7.0 m
アスファルト 舗装版取壊し	As 厚=15cm以下 面積 $A = 121.47 \text{ m}^2$ 図面参照 $= 121.470$	121.5 m ²
アスファルト 舗装塊処分	As 厚=5cm 体積 $V = 121.47 \times 0.05 = 6.074$	6.07 m ³
(舗装工)		
不陸整正	補足材 3cm 再生碎石RC 40 面積 $A = 121.47 \text{ m}^2$ 図面参照 $= 121.470$	121.5 m ²
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=5cm 面積 $A = 121.47 \text{ m}^2$ 図面参照 $= 121.470$	121.5 m ²

汚水管布設替え工 数量集計表

1

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
排水管工	汚水管布設替え工 開削工					
	(管路土工)					
	掘 削	バックホウ	m ³		305.8	
	埋戻し	再生砕石RC-40	m ³		187.2	
	発生土処理		m ³		305.8	
	(排水管布設工)					
▶	塩化ビニル管布設工	φ 350	m		131.6	(材工共)
	(材 料)					
▶	ゴム輪受口片受直管	VURR φ 350×L4000 下水用 K1	本		31	29 + 2 = 31
	プレーンエンド直管	VU φ 350×L4000 下水用 K1	本		1	
	ゴム輪受口バンド管	VURR φ 350×60°	個		1	
	ゴム輪受口バンド管	VURR φ 350×30°	個		1	
	ゴム輪受口バンド管	VURR φ 350×11° 1/4	個		1	
	接着受口カラー	VU φ 350	個		1	
	RR継手工	φ 350	口		34	
	TS継手工	φ 350	口		2	
	塩化ビニル管切断	φ 350	口		4	
	石綿管継手取外し	φ 350	口		2	
	埋設標識シート	巾15cm	m		131.6	1条分

汚水管布設替え工 数量集計表

2

工 種	種 別 細 別	規 格	単 位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	(マンホール工)					
	1号組立マンホール設置工	マンホール深3.0m以下	箇所		3	
	マンホール可とう継手	φ 350 塩ビ管用	個		4	
	マンホール可とう継手	φ 350 石綿管用	個		2	
▶	1号組立マンホール					
	铸铁製蓋	φ 600 T-25 (受枠共)	組		3	
	無収縮早強性モルタル	12.5kg	袋		1	
	調整リング	φ 600 H-50	個		1	
	調整リング	φ 600 H-100	個		2	
	斜壁ブロック	φ 600/φ 900 H-450	個		2	
	斜壁ブロック	φ 600/φ 900 H-600	個		1	
	管取付壁 (底板一体型)	φ 900 H-900	個		2	
	管取付壁 (底板一体型)	φ 900 H-1200	個		1	
	底部工	1号用 インバート+基礎砕石	箇所		3	
	削孔費	1号 φ 350	箇所		3	
	(管基礎工)					
	管基礎工	砂基礎	m3		113.6	

汚水管布設替え工 数量集計表

3

工 種	種 別 細 別	規 格	単位	数 量 区 分	合 計	摘 要
	(土留工)					
	軽量鋼矢板建込工	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m 両側分	m		136.4	
	軽量鋼矢板引抜工	Ⅲ型 巾333mm L=2.00m 両側分	m		136.4	
	支保工設置	軽量金属支保 + 水圧式サポート 1段	m		86.4	23.94 + 62.44 = 調整長770~1300(程度)
	支保工撤去	軽量金属支保 + 水圧式サポート 1段	m		86.4	23.94 + 62.44 = 調整長770~1300(程度)
	支保工設置	軽量金属支保 + 水圧式サポート 1段	m		50.0	50 調整長1500~2200(程度)
	支保工撤去	軽量金属支保 + 水圧式サポート 1段	m		50.0	50 調整長1500~2200(程度)
	軽量鋼矢板賃料	L=2.0m	式		1.00	W=1000
	支保材賃料	腹起し	式		1.00	W=1000
	支保材賃料	水圧式パイプサポート	式		1.00	W=1000
	支保材賃料	水圧ポンプ	式		1.00	W=1000
	軽量鋼矢板賃料	L=2.0m	式		1.00	W=2100
	支保材賃料	腹起し	式		1.00	W=2100
	支保材賃料	水圧式パイプサポート	式		1.00	W=2100
	支保材賃料	水圧ポンプ	式		1.00	W=2100
	(既設管撤去)					
	既設石綿管取外し	φ 350mm カラー継手	口		35	
	既設石綿管吊り上げ積み込み	φ 350mm	m		136.4	
	発生土運搬費	石綿管	回		31	
	建設廃棄物受入れ料金	石綿管	t		12	

	計 算 式	数 量
	底部工 (1号組立マンホール) 数量計算書	3箇所当り
砕石	再生砕石RC-40 t=20cm 面積 $A = \pi/4 \times 1.050^2 = 0.866$	2.60 m2
インバート コンクリート	18-8-40BB 体積 $V = \pi/4 \times 0.900^2 \times \text{平均高さ} (0.170 + 0.175 + 0.010) = 0.226$ 控除 $V = -\pi/8 \times 0.350^2 \times 0.900 = -0.043$ 控除 $V = -0.816 \times 0.020 = -0.016$ 計 0.167	0.50 m3
モルタル 上塗り	1:2 厚さ2cm 面積 $A = \pi/4 \times 0.900^2 - 0.350 \times 0.900 = 0.321$ $A = \pi/2 \times 0.350 \times 0.900 = 0.495$ 計 0.816	2.45 m2

土留工数量計算書

No.1

施工箇所	管 径 (mm)	土工延長 L (m)	掘削幅 W (m)	掘削深 H(m)	軽量鋼矢板 矢板長L						支 保 工			備 考	
					2.00 (m)	2.50 (m)	3.00 (m)	3.50 (m)	4.00 (m)	1段 H=2.0m以下 (m)	2段 H=3.5m以下 (m)	3段 H=4.0m未満 (m)			
図面 (その1)	VU φ 350	23.940	1.000	1.755	23.94						23.94			調整長770～1300(程度)	
		50.000	2.100	1.670	50.00						50.00			調整長1500～2200(程度)	
		62.440	1.000	1.570	62.44						62.44			調整長770～1300(程度)	
合 計		136.380			136.38						136.38				

名 称	計 算 式			数 量
	既設污水管撤去工 数量計算書			(1式当り)
施工延長	延長 (1)	L= 74.70	= 74.700	
	延長 (2)	L= 61.70	= 61.700	
			計 = 136.400	136.4 m
	延長 (1) :	污水管布設時に撤去		
	延長 (2) :	本配水管布設時に撤去		
(既設管撤去工)				
既設管撤去 取外し	石綿管 φ 350	カラー継手		
	延長 (1)	N= 74.70 / 4.00	= 19	
	延長 (2)	N= 61.70 / 4.00	= 16	
			計 = 35	35 口
既設管吊り上げ 積み込み	石綿管 φ 350			
	延長 (1)	L= 74.70	= 74.700	
	延長 (2)	L= 61.70	= 61.700	
			計 = 136.400	136.4 m
現場発生品運搬費				31 回
建設廃棄物受入れ料金 処分費	石綿管 φ 350	136.4m×88kg	= 12.0032	12 t

試掘工数量集計表

1

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量 区 分			合 計	摘 要
試掘工				NO.1	NO.2	NO.3-1-2		
				1箇所	1箇所	2箇所		
(土 工)	アスファルト舗装切断	As厚=15cm以下 市道	m	6.0			6.0	
	アスファルト舗装取壊し	As厚=15cm以下 市道	m ²	2.0			2.0	
	アスファルト塊処分	As	m ³	0.10			0.10	
	機械掘削	バックホウ	m ³	1.9	1.5		3.4	
	人力床掘	人力	m ³	0.9	0.9		1.8	
	埋戻し	管基礎砂	m ³	0.9	0.9		1.8	
	埋戻し	RC-40	m ³	2.0	1.5		3.5	
	残土処理		m ³	2.8	2.4		5.2	
(仮舗装工)	表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m ²	2.0			2.0	
(土 工)	夜間施工							
	アスファルト舗装切断	As厚=15cm以下 国道歩道	m			12.0	12.0	
	アスファルト舗装取壊し	As厚=15cm以下 国道歩道	m ²			4.0	4.0	
	アスファルト塊処分	As	m ³			0.12	0.12	
	機械掘削	バックホウ	m ³			3.4	3.4	
	人力床掘	人力	m ³			1.8	1.8	
	埋戻し	管基礎砂	m ³			1.8	1.8	
	埋戻し	RC-40	m ³			3.4	3.4	

名 称	計 算 式			単位当り数量	数 量
	試掘工 NO1 数量計算書			(1箇所当り)	(1式当り)
施工延長	延長	$L = 2.00 \text{ m}$	$= 2.00$	2.0 m	1.0 箇所
(土工)					
アスファルト 舗装切断	As厚=5cm 延長	$L = (1.00 + 2.00) \times 2$	$= 6.00$	6.0 m	6.0 m
アスファルト 舗装取壊し	As厚=5cm 面積	$A = 1.00 \times 2.00$	$= 2.00$	2.0 m ²	2.0 m ²
アスファルト 塊処分	As厚=5cm 体積	$V = 2.00 \times 0.05$	$= 0.10$	0.10 m ³	0.10 m ³
機械掘削	バックホウ 体積	$V = 1.00 \times (1.00 - As \ 0.05) \times 2.00$	$= 1.90$	1.9 m ³	1.9 m ³
人力床掘	人力 体積	$V = 1.00 \times 0.45 \times 2.00$	$= 0.90$	0.9 m ³	0.9 m ³
埋戻し	管基礎用砂 体積	$V = 1.00 \times 0.45 \times 2.00$	$= 0.90$	0.9 m ³	0.9 m ³
埋戻し	碎石 体積	$V = 1.00 \times 1.00 \times 2.00$	$= 2.00$	2.0 m ³	2.0 m ³
残土処理	体積	$1.90 + 0.9$	$= 2.8$	2.8 m ³	2.8 m ³
(仮舗装工)					
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm 面積	$A = 1.00 \times 2.00$	$= 2.00$	2.0 m ²	2.0 m ²

名 称	計 算 式			単位当り数量	数 量
	試掘工 NO2 数量計算書			(1箇所当り)	(1式当り)
施工延長	延長	$L = 2.00 \text{ m}$	$= 2.00$	2.0 m	1.0 箇所
(土 工)					
機械掘削	バックホウ 体積	$V = 1.00 \times 0.75 \times 2.00$	$= 1.50$	1.5 m3	1.5 m3
人力床掘	人力 体積	$V = 1.00 \times 0.45 \times 2.00$	$= 0.90$	0.9 m3	0.9 m3
埋戻し	管基礎用砂 体積	$V = 1.00 \times 0.45 \times 2.00$	$= 0.90$	0.9 m3	0.9 m3
埋戻し	碎石 体積	$V = 1.00 \times 0.75 \times 2.00$	$= 1.50$	1.5 m3	1.5 m3
残土処理	体積	$1.5 + 0.9$	$= 2.4$	2.4 m3	2.4 m3

名 称	計 算 式			単位当り数量	数 量
	試掘工 NO3 -1 -2 数量計算書			(1箇所当り)	(1式当り)
施工延長	延長	$L = 2.00 \text{ m}$	$= 2.00$	2.0 m	2.0 箇所
(土 工)	国道 歩道				
アスファルト 舗装切断	As厚=3cm 延長	$L = (1.00 + 2.00) \times 2$	$= 6.00$	6.0 m	12.0 m
アスファルト 舗装取壊し	As厚=3cm 面積	$A = 1.00 \times 2.00$	$= 2.00$	2.0 m ²	4.0 m ²
アスファルト 塊処分	As厚=3cm 体積	$V = 2.00 \times 0.03$	$= 0.06$	0.06 m ³	0.12 m ³
機械掘削	バックホウ 体積	$V = 1.00 \times (0.90 - A_s 0.03) \times 2.00$	$= 1.74$	1.7 m ³	3.4 m ³
人力床掘	人力 体積	$V = 1.00 \times 0.45 \times 2.00$	$= 0.90$	0.9 m ³	1.8 m ³
埋戻し	管基礎用砂 体積	$V = 1.00 \times 0.45 \times 2.00$	$= 0.90$	0.9 m ³	1.8 m ³
埋戻し	碎石 体積	$V = 1.00 \times 0.87 \times 2.00$	$= 1.74$	1.7 m ³	3.4 m ³
残土処理	体積	$1.74 + 0.90$	$= 2.6$	2.6 m ³	5.3 m ³
(仮舗装工)					
表層工	再生密粒度アスコン(13) t=3cm 面積	$A = 1.00 \times 2.00$	$= 2.00$	2.0 m ²	4.0 m ²

立坑鋼材質料(鋼矢板Ⅲ型)
(発進)

245 (日)

TNo1発進立坑
鋼矢板Ⅲ型質料

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a×A×m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t/回)	修理及び損耗費 N×A×C (円)	計 F (円)
鋼矢板Ⅲ型	L=9.50m	245 (日)	26.460			1			
計									

全体	L=	9.00	m ×	56 枚					
損料	L=	9.00	m ×	49 枚 ×	0.0600	t/m	=	26.460 t	
撤去	L=	2.985	m ×	7 枚 ×	0.0600	t/m	=	1.254 t (L1)	
残置	L=	6.015	m ×	7 枚 ×	0.0600	t/m	=	2.526 t (L2)	
不足弁分償費									
L1			円/t	×	1.254 t		=		円
L2			円/t	×	2.526 t		=		円
計									円

立坑鋼材質料(支保工)
(発進)

TNo1発進立坑
支保工

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a × A × m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及びび損耗費 C (円/t)	修理及びび損耗費 N × A × C (円)	計 F (円)
支保工(1段目)	腹起1段 H-350 × 350	245 日	3.000			1			
支保工(2段目)	腹起2段 H-400 × 400	245 日	3.960			1			
切 梁	切 梁 H-300 × 300	245 日	0.420			1			
	副部材(A) 22%	245 日	1.624			1			
	副部材(B) 4%		0.295						
計			9.299	(9.004) ()は運搬					

鋼材質料(覆工板)
(到達)

TNo2到達立坑
覆工板

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a × A × m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t)	修理及び損耗費 N × A × C (円)	計 F (円)
覆工板	1000 × 2000 × 200	4 ヶ月	16 m2			1			
受桁	H-300 × 300 × 10 × 15	105 日	2,000			1			

立坑鋼材質料(鋼矢板Ⅲ型)
(不斷水)

105 (日)

T-NO.3不斷水分岐立坑、T-NO.4不斷水分岐立坑
鋼矢板Ⅲ型質料

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a×A×m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t/回)	修理及び損耗費 N×A×C (円)	計 F (円)
鋼矢板Ⅲ型	L=6.00m	105 (日)	22.320			1			
計									

全体	L=	6.00	m ×	68 枚					
損料	L=	6.00	m ×	62 枚 ×	0.0600	t/m	=	22.320 t	
撤去	L=	1.700	m ×	6 枚 ×	0.0600	t/m	=	0.612 t (L1)	
残置	L=	4.300	m ×	6 枚 ×	0.0600	t/m	=	1.548 t (L2)	
不足弁分償費									
	L1		円/t	×	0.612 t		=		円
	L2		円/t	×	1.548 t		=		円
	計								円

立坑鋼材質料(支保工)

(不斷水)

T-NO.3不斷水分岐立坑、T-NO.4不斷水分岐立坑

支保工

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a × A × m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t)	修理及び損耗費 N × A × C (円)	計 F (円)
支保工(1段目)	騰起1段 H-300 × 300	105 日	2.760			1			
	副部材(A) 22%	105 日	0.607			1			
	副部材(B) 4%		0.11						
計			3.477 (3.367)	()は運搬					
覆工板	1000 × 2000 × 200	4 ヶ月	48 m ²			1			
受桁	H-300 × 300 × 10 × 15	105 日	3.096			1			
桁受	H-300 × 300 × 10 × 15	105 日	2.292			1			

仮設材賃料

鋼板 IP25～IP29 開削工 144 m2
敷鉄板賃料

22×1524×3048

75 枚 (リース材)

供用日数

67 日

賃料

円/枚・日

1 現場当り修理費及び損耗費

円/枚

75 枚 ×

円/枚・日 ×

67 日 +

75 枚 ×

円/枚 =

円

立坑鋼材質料(鋼矢板Ⅲ型)
(配水管工発進側)

配水管工発進側立坑
鋼矢板Ⅲ型質料

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a×A×m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t/回)	修理及び損耗費 N×A×C (円)	計 F (円)
鋼矢板Ⅲ型	L=5.50m	180 (日)	12.540			1			
鋼矢板Ⅲ型	L=6.00m	180 (日)	17.280			1			
鋼矢板Ⅲ型	L=6.50m	180 (日)	18.720			1			
			48.540						
H形鋼H250	L=5.50m	180 (日)	0.790			1			
H形鋼H250	L=6.00m	180 (日)	0.862			1			
H形鋼H250	L=6.50m	180 (日)	0.933			1			
計			2.585						

鋼矢板Ⅲ型	L=	5.50	m ×	38 枚 ×	0.0600	t/m	=	12.540 t
	L=	6.00	m ×	48 枚 ×	0.0600	t/m	=	17.280 t
	L=	6.50	m ×	48 枚 ×	0.0600	t/m	=	18.720 t
H形鋼H250	L=	5.50	m ×	2 本 ×	0.0718	t/m	=	0.790 t
	L=	6.00	m ×	2 本 ×	0.0718	t/m	=	0.862 t
	L=	6.50	m ×	2 本 ×	0.0718	t/m	=	0.933 t

立坑鋼材質料(支保工)
(配水管工発進側)

配水管工発進側立坑
支保工

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a × A × m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t)	修理及び損耗費 N × A × C (円)	計 F (円)
支保工	腹起 H-250×250	180 日	2.810			1			
	腹起 H-300×300	180 日	3.493			1			
切 梁	切 梁 H-250×250	180 日	0.224			1			
	副部材(A) 22%	180 日	1.436			1			
	副部材(B) 4%		0.261						
支保工	腹起 H-250×250	180 日	2.324			1			
	腹起 H-300×300	180 日	2.080			1			
	副部材(A) 22%	180 日	0.969			1			
	副部材(B) 4%		0.176						
支保工	腹起 H-250×250	180 日	0.712			1			
	腹起 H-300×300	180 日	2.400			1			
	腹起 H-350×350	180 日	3.570			1			
	副部材(A) 22%	180 日	1.47			1			
	副部材(B) 4%		0.267						
計			22.192	(21.488)	()は運搬				

桁材・桁受け材質料

配水管工(発進側)

支保工

種別	規格	供用日 a (日)	質量 A (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a × A × m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理及び損耗費 C (円/t)	修理及び損耗費 N × A × C (円)	計 F (円)
桁材・桁受け材	H-300 × 300 × 10 × 15	180 日	4.278			1			
	副部材(B) 4%		0.171						
計			4.449 (4.278)	()は運搬					

【観測井算定書】

掘進深（改良深+1.0m） 1本当り深さ

立坑1個所当り2本設置する。

設置位置は、立坑より10m以内とする。

番号	1	2	3	4	5	6	7	
対象立坑	T-NO.1	T-NO.2	0	0	0	0	0	合計
	発進立坑	到達立坑	0	0	0	0	0	
土質	坑口～底盤改良	0	0	0	0	0	0	
シルト・粘土	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00
砂質土	8.99 + 1.00 9.99	6.83 + 1.00 7.83	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	17.82
礫質土	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00
玉石混り土	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00 + 0.00 0.00	0.00
計	9.99	7.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.82
合 計	2箇所計上	2箇所計上						

ウエルポイント数値計算書 (1)

設置間隔@2m

2

3

ホンフ。

1

40

[illegible]~~275~~

ウエルポイント設置・撤去工

39.00 本

ウエルポイント工機料

ジェット装置損料(供用日数)

$$x = 1.05 \text{ 日}$$

- ・ウエルポイント損料(複合)

本 163.4 日・本

- ・ヘッダーライン損料(複合)

m	163.4	日・m
---	-------	-----

ウエルポイント数値計算書 (2)

設置間隔@2m

2

3

ホップ。

1

40

ホンフ。	1	台
------	---	---

[illegible]

ウエルポイントポンプ設置・撤去工

1.00 組

ウエルポイント工機料

ウエルポイントポンプ運転費

161.20 日

- ・ウエルポイントポンプ撹料(複合)

163.4 $\text{E} \cdot \text{m}$ 組
1

単位数量計算書					市単独工事	
細 別	役務費	規 格	1 式当り			
名 称	算 式		単位	数 量		
借地料	土地価格 円/㎡ ×	=	63	円/㎡/月 75,600		
	借地面積 × 円/㎡/月 ×	月数 ×	75,600 円			

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	☒ 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。 ☒ 本工事は津市契約規則、津市建設工事執行規則、津市建設工事執行に関する要綱及び監督員の指示により執行する。 ☒ 「施工プロセス」のチェックリストにより、仕様書、契約書等に基づき、施工・手続き等が適切に行われているかを監督員と共有し確認すること。
		☒ 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めない工種は、監督員との協議による。 ☒ 作業主任者等の選任を必要とする作業においては、必要な資格者一覧を施工計画書に記載するとともに、その資格者証の写しを添付し提出するものとする。 ☒ 工事中の安全確保については、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業者など）の一覧を施工計画書に記載するとともに、その資格者証の写しを添付し提出するものとする。
		☒ 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えけるとともに、その写しを書面で監督員に提出すること。
	工事測量	☒ 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に書面にて報告するものとする。 ☒ 工事測量については、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-38工事測量」に基づき行うものとし、工事区間内の境界等については、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、管理を行うこと。また、調査資料の写しを監督員へ1部提出するものとする。
		☒ 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。
工程	施工	☒ 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 ☐ 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
		☒ 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。 ☒ 受注者は、施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、監督員と協議を行い、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。
	関係機関協議	☒ 試掘調査を行う場合は、事前に各管理者と調整を行い、地下埋設物の確認については各管理者と監督員の立会のもと、実施するものとする。
		☒ 施工箇所付近に占用物件が予想される場合には、工事施工に先立って受注者の責任において三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に基づき、地下埋設（上空占用を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、監督員に調査資料の写しを提出するとともに、各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。
	地下埋設物及び上空占用物を誤って切断した場合は、受注者の責任において三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に基づき対応するものとし、緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。	☒ その他（
官公庁への手続き等	官公庁への手続き等	☒ 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分		中区分	小区分（条件及び内容）
用地・補償関係	事業損失		☐ 設計書に明示した箇所の事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 ☐ 家屋調査については、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、調査に従事するもの（補助者を除く）として、建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士に定める資格を有するものとする。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有するものと認められたものについては、これをもって足りる。身分証明書の交付については身分証明書交付願を契約締結後速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後家屋調査にかかるものとする。 ☒ 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-30 事故報告書」に「発注者への報告」に基づき、補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。
		民地の保全	☒ 受注者は施工前に現地を確認し、官民若しくは住民の境界を示すもの（杭、鋲、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 ☒ 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、受注者の責任において工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。
			☒ 受注者は、施工箇所が通学路であった場合は、監督員と協議を行った上で、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 ☒ 周辺の交通状況を考慮して、資機材の搬出入等は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難い場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 ☒ 工事施工時は地山掘削・床掘等の際に既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。 また、施工時に影響が及ぶ可能性があると考えられる場合には、事前調査を行い、写真を撮っておくなど適切な処置を講じるものとする。
安全対策			☒ 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 ☒ 工種（全工種）について、施工日の即日開放を原則とする。 ☒ 工種（区画線工）について、事前に（津警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 ☒ 現場において設置する保安施設や仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員が求めた際には提示すること。 ☒ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	交通安全管理		☒ 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとし、設計図書に基づき事前に監督員と協議を行うものとする。
			☒ 交通誘導警備員は、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-33交通安全管理」に基づき配置するものとする。交通誘導警備員のうち1人有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者）または、有資格者の配置ができない場合は監督員の承諾を得て交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 ☒ 受注者は、交通誘導警備員を配置する際は、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に關する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分		中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	環境対策	☒ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に防塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及びび人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。
			☒ 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。
			☒ 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。
			☒ 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	提出書類	☒ 三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に関する書類については、監督員が指示した場合、提示又は提出するものとする。
			☒ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）
			☒ 工事完成報告書の提出部数は2部とする。様式については津市ホームページに掲載のものとする。
			☒ 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 なお、提出の際は使用材料一覧表に使用する材料を記載し、インデックス等で整理して材料の品質証明書を添付するものとする。 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
支払いに関する事項	部分下請負通知書 前金支払いに関する事項	部分下請負通知書	☒ 受注者は、工事の一部分において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者が当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。
			☒ 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。
			☒ 本工事の部分払いは、津市工事請負契約約款37条に基づき、その請求に応じてこれを支払うが、部分払のできる回数は津市建設工事執行規則に基づき、5回以内とする。ただし、当該年度の年割額の範囲内とし、鉄鋼管材、弁類は部分払いの対象（津市工事請負契約約款37条2項）とする。なお、本工事における継続費の年度別割合は下記のとおりとする。 令和4年度 0%程度 令和5年度 100%程度

(注) 上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
その他	名札	☒ 受注者は、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-10 施工体制台帳」に基づき、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。 <名札の例> 主任・監理技術者 写真 2cm×3cm 程度 氏名 〇〇 〇〇 工事名 〇〇〇〇工事 工期 自〇〇年〇〇月〇〇日 会社 〇〇建設株式会社 印 注 1）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注 2）所属会社の社印とする。
	部分使用	☐ 部分使用箇所（ ☐ 部分使用時期（ ☐ 部分使用目的（
	部分引渡し	☐ 部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ☐ 部分引渡し時期（
	巡回	☒ 当工事（修繕）は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。
	その他	☐

（注）上記条件及び内容の印刷当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（下水道推進工事編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
工事施工関係	推進工	☒ 本工事は、掘削土質が砂質土であり、泥濘式推進工法で、地下水を抑えながら安全に管渠を布設するものである。
		☒ 推進機は、土質に適した完全な土留めができ、泥水圧に対して十分安全でかつ能率的な構造、機種とする。又、受注者は本体並びに附属する機械設備の設計図、仕様書等を提出し監督員の承認を得るものとする。
		☒ 泥水の加圧は、事前に土質と地下水位を十分把握して、切羽の状態に合わせて最も適した圧力とする。
		☒ 滑材注入は、管と地山との空隙に推進と併せて特殊グラウトを注入して地盤沈下を防止して、かつ管の摩擦を減少させ、接合部の漏水防止を図り、常に土圧バランスを満足させるものとする。
		☒ 注入に当たっては、注入目的を達成させるため、標準配合を検討し予め監督員の承認を受けるものとする。
		☒ 注入機械は、注入量及び注入圧に対し余裕のあるものを使用するものとする。また、注入器具は、注入中故障のないよう、整備点検を確実にしておくものとする。
		☒ 推進工事の施工においては、推進工事技士を配置するものとする。また、推進工事技士資格者証の写しを提出するものとする。
		☒ 管の押し込みに対する推進機構及び支圧壁は、押込力をよく検討し、安全で十分余裕のあるものとする。検討書については施工前に監督員に提出し承認を得ること。
		☒ 管の押し込みにあたっては、立坑の発進口及び到達口に坑口工を設け、土砂及び地下水の流出、注入材の漏れがないよう施工するものとする。
		☒ 推進機の掘削にあたっては、切羽部周辺の地盤を緩めないように、掘削の状況を常に把握し、適切な推進速度で施工するものとする。
		☒ 推進掘削に先立ち、地上に沈下測点を設け、推進中及び推進前後の一定期間定期的に沈下量を測り、記録し、その結果を監督員に報告すること。
		☒ 残土、泥水及び泥土処理に当たっては、周辺へ飛散しないよう留意すると共に、廃液の貯留設備を完備し速やかに処理するものとする。
		☐ 泥水処理システムの設計製作にあたっては、1日の掘削量、地質に適した安全確実で能率的な構造と設備を有するものとし、その製作図、諸機能の詳細図を提出し監督員の承認を受けるものとする。なお、騒音振動については、低減構造とする。
	立坑工	☒ 「道路土工 各種指針」、「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針解説」を遵守し、立坑構造及び推進工事において、周辺に損害を与えないよう適切に管理を行うものとする。
地盤改良工	立坑工	☒ 立坑施工に当たっては、地下埋設物その他施設の調査に基づき、監督員と協議のうえ位置を決定するものとする。但し、止むを得ずこれら施設の移設又は撤去の必要が生じた場合は、関係機関と協議しその指示に従うものとする。
		☒ 立坑の土留め工法に関しては任意とするが、工事着手前に工法、強度計算書等その他必要書類を提出し、監督員の承認を受けた後施工するものとする。
		☐ 立坑の施工の際、沿道の家屋等に損害を与えないよう十分に検討するとともに、必要に応じ交通誘導警備員を配置させ事故防止に努めるものとする。
		☒ 立坑部の薬液注入は、地質その他施工条件を検討の上、十分な地盤改良を行うものとする。また、薬液注入工は、二重管複相タイプ溶液型とする。
	地盤改良工	☒ 工事着手前、工事中及び完了後において、地下水位、水質の調査を「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」の規定に基づき、既設井戸又は観測井戸で調査を行い、影響が出ないよう十分調査をして、影響が出るようであれば対策を講じるものとする。
調査計画等	調査計画等	☒ 工事施工に先立ち、地域の環境、地質その他施工条件を十分検討し、綿密な施工計画を立て監督員の承認を受けるものとする。
		☒ 発進、到達立坑及び作業区域には、適正なフェンス及び門扉等を設け、関係者以外の者は作業区域内に立ち入り出来ない措置を講ずるものとする。
その他	その他	☐

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

工 事 仕 様 書

本工事の仕様書は、三重県公共工事共通仕様書、水道工事標準仕様書(公益社団法人日本水道協会)、国土交通省道路工事占用工事共通仕様書、及び水道工事施工管理基準(津市上下水道事業局)に基づき施工するものとするが、特記仕様書がある場合はそれを優先する。

また、施工前、施工過程を問わず疑義等が生じた場合は監督員の指示によるものとする。

【講習会等修了者の配置に関する事項】

受注者は工事期間中において、配管作業を安全かつ確実に施工するため、上下水道事業局が指定する講習会等を修了した者(以下「配管接合技能指導員」という。)を現場に配置すること。

また、配管接合技能指導員選任届に講習会等修了証等の写しを添付し、監督員に提出すること。

配管接合技能指導員は、以下の業務を行うものとする。

- 1 継手接合に従事する者の技術上の指導。
- 2 継手接合に係るチェックシートの必要事項の確認。
- 3 監督員が現場立会等を求めた時は、その指示に従うこと。

[上下水道事業局が指定する講習会等]

- 1 口径500mm以上の配水管布設工事
 - (1)公益社団法人日本水道協会の配水管工技能講習会大口径管
 - (2)一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会の継手接合研修会(耐震管口径500mm以上)
- 2 口径450mm以下の配水管布設工事
 - (1)公益社団法人日本水道協会の配水管工技能講習会(小口径管)又は配水管工技能講習会 I
 - (2)一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会の継手接合研修会(耐震管口径450mm以下)
- 3 ひとつの工事で口径500mm以上と口径450mm以下がある配水管布設工事は、1及び2の講習会等を修了した者を配置すること。

特 記 仕 様 書

【水道工事一般事項】

1 早期契約及び着手

本工事実施にあたっては、落札後直ちに工事請負契約を締結して、関係機関の許可等を得た後に、監督員と協議を行うと共に工事の目的を理解し、工程計画を検討して、速やかに工事に着手しなければならない。

2 支給材料の受領

支給材料の受領については、事前に監督員と打合せを行い受領する材料を所定の受領書に記載の上、監督員に提出するものとし、事務手続きを待って、材料の受領を行うものとする。(監督員は、受領書により庫出伝票の発行をする。)

3 路面復旧工事の実施

路面復旧の実施にあたっては、三重県公共工事共通仕様書、アスファルト舗装要綱、及び道路占用許可条件等を遵守し施工するものとし、施工管理記録、品質管理記録等は工事完成後、関係書類として提出するものとする。

4 不断水穿孔工

取出し口径75mm以上の不断水穿孔工については、津市上下水道事業局が指定する業者(大成機工株式会社・コスモ工機株式会社・株式会社水研)で施工すること。

5 サドル分水栓及び不断水分水栓の穿孔工

サドル分水栓及び不断水分水栓の穿孔は、本管に水圧が掛かった状態で切粉等が管内に入らないように施工すること。なお、施工上等やむを得ず空管状態で穿孔する場合は監督員の承諾を得ること。

6 特殊押輪の接合

締付けトルクの出来形管理表(チェックリスト)の提出は、口径400mm以上とするが、他の配管においても締め過ぎ等に注意するものとする。

7 耐震管の布設

受注者は耐震管の接合作業(NS形継手等)において知識、経験の有する者が行い、その都度必要事項をチェックシートに記入し、配管接合技能指導員が確認した上で提出するものとする。

8 鋳鉄管の接合

配管作業に従事する配管工は、豊富な実務経験と知識を有するもので、工事着手前に工事経歴書を監督員に提出しなければならない。

9 石綿管の撤去及び処分

石綿管の撤去及び処分については、石綿障害予防規則及び関係法令に基づき行うこと。

10 明示シール及び明示鋳の設置について

給水切替及び給水連絡箇所について、明示シール又は明示鋳を官民境界付近の官地側に設置すること。設置箇所は原則、官民境界に設けられている側溝及び縁石等とするが、設置が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、明示シール及び明示鋳は発注者より材料を支給する。

11 マーカーの設置について

マーカー設置箇所について、図面の設置位置を基本(本管直線部は40m毎、及び本管変化点部に設置する。)とし、他の占用物等で図面通り配管できない場合は、監督員との協議によるものとする。

受注者は、材料検収時にマーカーの動作確認を、段階確認としてマーカー反応検査を竣工時まで監督員の確認を受けること。

また、マーカー全本数の出来高管理を行い、マーカー設置位置と管天までの距離を写真管理すること。

なお、竣工図書として、本管理設位置確認図(本管オフセット図)に設置位置及び数量を明示すること。

12 管基礎用砂(埋戻し用砂)の規格について

管基礎用砂(埋戻し用砂)は、0.075mmふるいの通過百分率が0～20%以下、最大粒径は20mm以下を標準とする。

【工事の立会いに関する事項】

受注者は以下の事項に関し、監督員の立会いを求めること。

1 現場説明

工事に先立ち、当該工事設計図書、配管図により工事实施の目的と工事現場周辺の配管状況、直近の弁開閉状況、上水の流向等、及び工事に必要な情報を確認するため監督員に立会いを求めること。

2 既設配水管との連絡(接続)工事

連絡工事を実施する場合、工事日時、安全作業手順書を提出し、それに基づき、工事箇所付近の配管、直近の弁の開閉状況の確認を行うため監督員の立会いを求めること。

3 既設配水管の栓(蓋)の取り外し

栓の取り外し作業については、現場付近の配管状況を十分調査し、当該作業開始までに事前に配水管の圧力及び残水の状態を確認するため監督員の立会いを求めること。なお、既設配水管内に正圧の存在や残水を確認した場合は監督員と請負事業者双方で作業方法等について協議を行い、受注者において、一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会発行の接合要領書に基づき安全作業手順書を作成しこれに基づき作業を行うこと。

4 不明管の撤去、切断

作業中に不明管を発見した場合は、速やかに監督員に報告し立会いを求め、その指示に従うこと。

5 不断水穿孔

穿孔は、既設管に割T字管及び必要な仕切弁を基礎上に受け台を設けて設置し、所定の水圧試験を行い漏水のないことを確認するため監督員の立会いを求めること。

6 立会の実施方法

立会の実施にあたっては、津市建設工事執行に関する要綱に記載されている第6号様式「工事打合簿」により行うこと。

ただし、不明管の確認、処理事項については、処理後、工事打合簿により報告するものとする。

【竣工図書に関する事項】

受注者は、竣工図書として本管理設位置確認図(バルブ・本管・消火栓・空気弁オフセット図)を作成すること。また、管理箇所及び作成方法について監督員と協議を行い、承認を受けること。

なお、作成した図書及び工事写真帳を、水道工事施工管理基準に基づく他の竣工図書と併せ、電子データ(工事写真帳はPDF)で提出するものとする。

【使用材料の品質証明に関する事項】

受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料のうち、「津市上下水道事業局指定材料規格一覧表」に記載する材料については、省略できるものとする。

津市上下水道事業局指定材料規格一覧表

品 名	形 状 及 び 種 類	形 状 寸 法	規 格	摘 要
ダクタイル鋳鉄管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	K形1種管	Φ75～Φ350	JIS G5526	
	K形2種管	Φ400以上	JWWA G113 G112	
	NS形1種管	Φ75～Φ250	JWWA G120	
	GX形1種管	Φ75～Φ450		
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ粉体樹脂塗装)	K形1種管	Φ75～Φ350	JIS G5527	
	K形2種管	Φ400以上	JWWA G114	
	NS形1種管	Φ75～Φ250	JWWA G121	
	GX形1種管	Φ75～Φ450		
ダクタイル鋳鉄管及び異形管接合部品	K形・NS形・GX形	Φ75～	JIS G5526 G5527 JWWA G113 G114 JWWA G120 G121	
特殊押輪	メカニカル形		規格外	
ポリエチレン二層管		Φ13～Φ50	JIS K6762	
硬質塩化ビニール管		Φ13～Φ50	JIS K6742	
硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-VA	Φ13～Φ100	JWWA K116	
	SGP-VD	Φ13～Φ100		
ポリエチレン管継手		Φ13～Φ50	JWWA B116準拠	ワンタッチ方式(分解可)
硬質塩化ビニール管継手	TS・HI	Φ13～Φ50	JIS K6743	
エポキシ樹脂コーティング管継手	SGP-VA	Φ13～Φ100	JWWA K117	
	SGP-VD	Φ13～Φ100		
スリースバルブ(ゲート)	1. 0MPa	Φ25～Φ100	JIS B2011	丸ハンドル
砲金製 仕切弁	1. 0MPa	Φ13～Φ50		丸ハンドル
ソフトシール弁	FCD 0. 74MPa	Φ75～Φ300	JWWA B120(ショート型)	K形 右開き
		Φ350・Φ400	JWWA B120	
耐震型ソフトシール弁	FCD 0. 74MPa	Φ75～Φ300	JWWA B120 G114 準拠	GX形、NS形 右開き
		Φ350・Φ400	JWWA B120 G114 準拠	
甲止水栓		Φ13～Φ25	JWWA B108準拠	逆流防止機能型
直結止水栓(Tハンドル離脱式)	伸縮・盗水防止型	Φ13～Φ25	JWWA B108準拠	逆流防止機能型・T型ハンドル共
特殊継手		Φ75～Φ300		CAジョイント
特殊継手		Φ75～Φ200		VAジョイント
特殊継手		Φ75～Φ200		VCジョイント
特殊継手		φ13～φ50		SKソケット
ポリエチレンスリーブ		Φ75～Φ800	JWWA K158	
埋設標識シート	ダブル折り	幅150		
インサートコア	銅	Φ20・Φ25		サドル付き分水栓と同メーカー
サドル付き分水栓	FCD	本管×Φ13～Φ25	JWWA B117	
サドル付き分水栓		本管×Φ13～Φ25	JWWA B136	
不断水丁字管分水栓	内ネジ式	本管×Φ50		
不断水T字管	FCD・バルブ付・全周パッキン			
不断水T字管	FCD・全周パッキン			
不断水仕切弁	FCD・全周パッキン			
消火栓(ステンレス製 浅層対応)	SUS 0. 74MPa	単口地下式		
消火栓(内外面粉体塗装)	FCD 0. 74MPa	単口地下式	JWWAB103	
消火栓(内外面粉体塗装 浅層対応)	FCD 0. 74MPa	単口地下式	JWWAB103	
消火栓弁	FCD 0. 74MPa	φ65×90°		仮配管用
排気弁付消火栓(内外面粉体塗装)	FCD 0. 74MPa	単口地下式		
空気弁(粉体塗装)	FCD 0. 74MPa	単口φ13～φ25	JWWA B137	
空気弁(粉体塗装)	FCD 0. 74MPa	双口75・100	JWWA B137	
補修弁(内外面粉体塗装) (レバー式)	FCD 0. 74MPa	φ75×100～400	JWWA B126	
仕切弁筐・排泥弁筐	蓋FCD	24型・32型	JWWA B132	
仕切弁スラブ		60・80・100		
仕切弁ブロック		(25～32)B-1～30		
仕切弁ブロック		(25～45)C-10～30(凹)		
消火栓筐	蓋FCD	35×55、丸型	JWWAB133	
消火栓ブロック		B-1～20、丸型用中部壁		
消火栓ブロック		C-20・30、丸型用下部壁		
消火栓スラブ		90、丸型用スラブ		
止水栓筐		φ75×300・600		
フランジボルトナット	SUS403	M16～M30		

*鉛の新基準に適合した認証品を使用すること。

設計図書等の単位及び記号

本工事の設計図書は、下記の項目について統一するため、十分理解し完成図書等においても統一を図ること。

(単位の統一)

- 1 材料規格は、すべてmm単位とする。
- 2 距離、延長は、すべてm単位とする。
- 3 断面等の寸法は、すべてmm単位とする。
- 4 口径は、 ϕ で表す。(数字の前へ記入)

(記号の統一)

名 称	G X 形	N S 形	K 形
ダクタイル鋳鉄管			
受 口			
甲 切 管			
乙 切 管			
三 受 十 字 管			
二 受 丁 字 管			
継 ぎ 輪			
フ ラ ン ジ 形			
曲 管			
フランジ付き丁字管			
受 挿 し 片 落 管			
挿 し 受 片 落 管			
短 管 1 号			
短 管 2 号			
栓			
特 殊 付 属 品			

名 称	
地 下 式 消 火 栓	
特 殊 継 手	
ソ フ ト シ ー ル 弁	
バ タ フ ラ イ 弁	
不 断 水 仕 切 弁	
不 断 水 丁 字 管	
補 修 弁	

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 程 関 係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名:)	☐ 資材等の流用 ☐ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整 ☐ 施工順序の調整 ☐ その他 () ☐ 別途協議 ()
	☐ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☐ 制限する工種名 () 施工時期及び施工時間 () 施工方法 ()
	☐ 工期	☐ 工期は、繰越手続が完了後、() 年 () 月 () 日 までに変更します。 ☐ 協議が必要な機開名 () 協議完了見込み時期 ()
	☒ 他機関との協議が未完了	☒ 占有物件名 () ☒ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他 ()
	☒ 占有物件との工程調整の必要あり その他 ()	☒ その他 (管接合完了後、発注者にて行う洗管及び切替作業については作業に3週間ほど要するので、考慮して施工を行うこと。) ☒ その他 (試掘工については、管の外径を測定するものであり、材料発注のために必要なため、現場着手後すみやかに行うこと。)
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり	☐ 未処理箇所 (☐ 別添図等 ☐ No. ~No.) ☐ 別途協議 ()
	☐ 仮設ヤードの有無	☐ 完了見込み時期 (☐ 令和 () 年 () 月頃 ☐ 別添協議 () ☐ 別途協議 ()
	☐ 仮設ヤードの使用期間	☐ 仮設ヤード (☐ 官有地 ☐ 民有地 ☐ その他 ()) ☐ 別途協議 ()
	☐ 仮設ヤードからの運搬距離 (L = km)	☐ 仮設ヤード使用期間 ()
	☐ 使用条件・復旧方法 () その他 ()	☐ 使用条件・復旧方法 () ☐ 別途協議 ()
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり	☒ 制限項目 (☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他 () ☐ 別途協議 ()
	☐ 施工方法等 (☐ 指定工法名 () ☐ その他 ()) ☐ 別途協議 ()	☐ 施工時期 ()
	☒ 事業損失防止に関する調査あり	☒ 調査項目 (☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☐ 近接家屋の事前・事後調査 ☐ 地盤沈下測定 ☒ 地下水位等の測定 ☒ その他 (試掘工) ☐ 別途協議 ()
	☐ 調査方法 (☐ 別途資料 ☐ その他 ()) ☐ 別途協議 ()	☐ 調査方法 (☐ 別途資料 ☐ その他 ()) ☐ 別途協議 ()
	☐ その他 ()	☐ その他 ()
安全対策関係	☒ 交通安全施設等の指定あり	☒ 交通安全施設等の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 ()) ☒ 別途協議 ()
	☒ 交通安全誘導警備員の配置	☒ 交通安全誘導警備員の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 ()) ☒ 別途協議 () ☒ 指定路線 ☐ 指定路線以外
	☒ 交通安全誘導警備員の配置人員数	☒ 概算人数による算出
	☒ ① 交通安全誘導警備員の人数は、概算数量として算出	☒ 概算延べ人数: 交通安全誘導警備員 A: 115 人 B: 877 人 (注: 交通安全誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。)
	☒ ② 受注者は、工事着手前に配置計画等 (配置人員、期間等) を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通安全誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法について合わせて協議を行うこと。	☒ ③ 交通安全誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 ☐ 積上げによる算出 配置人員数 (人) (うち交通安全誘導警備員A (人)) (注: 配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通安全誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。)
☒ 交通安全誘導警備員の配置時間 (別途協議)	☒ 交通安全誘導警備員の配置期間 (別途協議)	
☒ 交通安全誘導警備員配置の対象工種 (全工種)	☒ 交通安全誘導警備員配置の対象工種 (全工種)	

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件	及 び	内 容
安全対策関係	☒ 近接施設等に対する制限	☒ 既存施設あり ・近接公共施設 (☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☒ 水道 ☐ ガス ☐ その他 ()) ・近接施設 (☐ 擁壁 () ☐ ブロック塀 ☐ 家屋 ☐ その他 ()) ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ・制限を受ける工種 () ・制限内容 () ☐ 安全防護施設等の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 保安要員の配置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 ☒ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。 ☐ その他 ()		
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり ☐ 仮設道路の設置条件あり ☐ その他 ()	☐ 経路及び使用期間の制限内容 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 使用中及び使用後の措置 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 用地及び構造 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 安全施設 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ その他 ()		
仮設備関係	☐ 仮設備の設置条件あり ☒ 水替工（縮切排水工）	☐ 使用期間及び借地条件 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 転用あり (回) ☐ 兼用あり () ☐ その他 () ☐ 施工条件の指定なし ☒ 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 64 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 ☐ その他 () ☐ 構造及び設計条件 (☐ 別添図等 ☐ その他 () ☐ 別途協議) ☐ 施工方法 () ☐ その他 ()		

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設発生土・ 産業廃棄物関係	☐ 建設発生土受入地の指定あり	☐ 受入地の条件（ ☐ 別途図面 ☐ 受入料金なし ☐ 別途協議 ☐ その他（ ☐ ） km）
	☒ 建設発生土受入地未定	☒ 受入地未定につき別途協議する。（ ☒ 暫定運搬距離L＝8 km、 ☐ その他（ ☐ ） km）
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	産業廃棄物の種類（ ☒ コン塊 ☒ アス塊 ☐ 木材 ☒ 汚泥 ☒ その他（石綿管 ☐ ） ☒ 産業廃棄物の処分地（ ☒ 再生処分場（ ☐ ） ☒ 最終処分場（ ☐ ） ☐ 別途協議（ ☐ ） ☐ その他（ ☐ ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ☐ ）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件（ ☐ ）
	☒ 舗装切断時の排水処理	舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切 断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適 正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託 する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
☒ その他（石綿管の撤去及び処分について）	舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 ☒ その他（石綿障害予防規則及び関係法令に基づき行うこと。）	
工 事 支 障 物 件 関 係	☐ 工事支障物件あり	☐ 支障物件名（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 有線 ☐ その他（ ☐ ） ☐ 移設時期（ ☐ 令和 ☐ 年 ☐ 月 ☐ 日 ☐ 別途協議） ☐ 防護（ ☐ ） ☐ その他（ ☐ ）
	☐ その他	
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件（ ☐ ） ☐ 設計孔数（ ☐ ） ☐ 工法関係（ ☐ ） 材料種類（ ☐ ） 施工範囲（ ☐ ）
	☐ 提出書類あり	工法区分（ ☐ ） 注入量（ ☐ ） 材料種類（ ☐ ） その他（ ☐ ）
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	材料関係（ ☐ ） その他（ ☐ ）
	☐ その他（ ☐ ）	
再生材使用関係	☒ 再生材使用の指定あり	☒ 再生材の種類（ ☒ 再生Asコン ☐ 再生路盤材 ☒ 再生クラッシュラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂（ ☐ ） ☒ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☐ 新材に変更 ☐ その他（ ☐ ） ☒ 別途協議（ ☐ ）
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく 認定製品の使用について	☐ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 （認定製品の品名： ☐ 盛土材 ☐ 埋戻し材 ☐ サンドクッション材 ☐ 上層路盤材 ☐ コンクリート二次製品 ☐ グレーチング ☐ その他（ ☐ ）
	☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： ☐ 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板）	☐ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： ☐ 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板） ☐ その他（ ☐ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
そ の 他	☐ 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	☐ 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）
	☐ 現場発生日あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）
	☐ 支給品あり	☐ 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） その他（ ）
	☐ 盛土材等工事間流用あり	☐ 時期（令和 年 月 日） その他（ ）
	☐ 現場環境改善費適用工事	☐ 運搬方法（ ☐ 受注者で運搬 ☐ 受注者以外で運搬 ☐ 別途協議 ☐ その他（ ）
適 用 条 件	☐ 現場環境改善費適用工事	☐ 引渡場所（ ☐ 別途協議 ☐ その他（ ）
	☐ その他（ ）	☐ 数量（ ） 運輸距離（L = km）
適 用 条 件	☒ 適用条件	☒ 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和4年7月1日）） ☒ 三重県公共工事共通仕様書 1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印が不要な手段により」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われたものを有効とする。」と読み替えるものとする。 ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案）編」を適用 ☒ 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 ☐ 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示ー（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているもので、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制点検、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者：
	☒ 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。	☒ 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黑板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること
	☒ デジタル工事写真の電子小黑板を使用する場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黑板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること	☒ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること
	☒ その他（ ）	☐ その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
監督の区分 共通仕様書 第3編3-1-1-4 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)	☒ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となっ た場合は、全ての工種を重点監督とする。）	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種名を記入すること。】 ☐ 全ての工種に適用する。 ☐ 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
	☐ 電子納品	☐ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 ☒ 電子媒体の提出部数は、（ ☐ 2部 ☐ （ ）部）とする。 ☐ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和 4年 7月改訂）を適用 ☐ 検定及び登録機関（一般財団法人国土情報センター（https://ngic.or.jp/）） ☐ 検定料金の計上（ ☐ A検定 ☐ B検定 ） （注：受注後、これにより難しい場合は設計変更の対象とする。）
	地質調査の 電子成果品等	☐ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日 までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を 超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
産業廃棄物税	☒ 産業廃棄物税	
コリンズ 作成・登録	☒ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設 発生土情報交換シ ステム	☒ 建設副産物情報交換システム ☐ 建設発生土情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 ☐ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	☐ 下請企業の次数制限	☐ 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
特例監理技術者の 設置	☐ 特例監理技術者の設置	☐ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、 追加特記仕様書「特例監理技術者等の配置」に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参 照）
配慮依頼事項	☒ 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用 ☒ 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製 品の使用 ☒ 建設機械、機器等の借入れ ☒ 使用人等において市民の活用	☒ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等に おいて市内本店事業者を活用することに配慮すること。 ☒ 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮するこ と。 ☒ 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。 ☒ 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
津市公契約条例	☒ 津市公契約条例に関する特記	締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の事務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場に おける合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務 所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査 その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。

（注） 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市公契約条例		2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について「承認し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。」 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関からは正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
社会保険等未加入対策	社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	法定福利費を明記した標準見積書の活用	法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。 (津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照)
暴力団等の不当介入の排除等	暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。 1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 (1) 入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。

明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。

別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	☒ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記	☒ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「3つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、3つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 5 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講じること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 6 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。
ワンデーレスポンス	☒ ワンデーレスポンスの実施	☐ この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。 3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。 4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設業退職金共済 制度に係る事務手 続き	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。 1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定定人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいですが、これにより難い場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。 4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就業状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。 5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに「掛金充当実績総括表」を作成し、工事担当課へ提示していただき。この時、掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認していただき。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその関連書類の提示を求めめる場合がある。 6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下、CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就業状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就業状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。
津市工事請負の 地元調整	☒ 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	☒ 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生しました。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。 3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
		(3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。 4 工事説明の進め方 (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関する内容を、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関する内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じて地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。 (6) 受注者は、対応に当たるとする。 (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。 5 不当要求行為等 (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。 (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておくなければならない。
その他	☒ 最終変更設計図面・竣工図面 ☐ その他	☒ 延長、使用材料、舗装復旧面積等に変更が生じた場合は、監督員の指定する方法で当初図面の修正を行い、指定する日時までに提出すること。また、最終変更設計書図面(変更が生じなかった場合は当初図面)及び竣工図を監督員の確認を受けた後、トレーニングペーパー(A2)及びCD-R(メディア)本体に工事名、工期及び請負業者名を記入)をTIFファイル及び当初図面を修正したファイルで工事完了後7日以内に提出すること。 ☐ その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

労働環境の確保に係る誓約事項

津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。

また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。

記

- 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。
- 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。
- 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。
- 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。
- 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。
- 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。
- 7 市長等が行う施策に協力すること。
- 8 労働報酬下限額の運用について
 - (1) 受注者は、運用対象契約（以下「対象契約」という。）の受注関係者（下請業者等）及び労働者（以下「対象労働者」という。）に、当該運用について周知を徹底するとともに、労働状況台帳を津市へ提出することについて、同意を得ること。
 - (2) 対象契約について、受注関係者から労働環境の確保に係る誓約書を提出させること。
 - (3) 対象労働者には労働報酬下限額以上の賃金を支払うこと。
 - (4) 津市が指定する期日までに対象契約に係る労働状況台帳を提出すること。
 - (5) 津市が行う労働報酬下限額の運用に係るアンケート調査について協力すること。
 - (6) 受注者は、受注関係者の労働環境の確保に係る誓約書（写）、労働状況台帳及びアンケート調査を取りまとめ、津市が指定する期日までに提出すること。
 - (7) (1)から(6)に掲げるもののほか、その他労働報酬下限額の運用に関して行う事務は、津市公契約条例労働報酬下限額運用マニュアルに基づき、適切に履行すること。
 - (8) 労働報酬下限額の運用に関する津市からの案内、通知及び指導には、誠実に対応すること。

令和4年度津市労働報酬下限額

労働報酬下限額	940円
---------	------